

# 一般会計の概要

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課						
	01	01	01	03	議会だより発行経費			議会事務局						
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額						
27年度	4,600,000					△ 71,000	4,529,000	4,005,283						
26年度	4,685,000					△ 14,000	4,671,000	4,153,708						
増減額	△ 85,000		0		0	△ 57,000	△ 142,000	△ 148,425						
【事業概要】							平成27年度決算額							
<p>開かれた議会を目指し、市民に議会や議員の「意思」や「活動状況」等を分かりやすく伝え、市議会への関心を高めるため、定例会ごとに議会だよりを編集・配布し、議会活動の啓発をする。</p> <p>手にとってもらい、気づきを与える議会だよりづくりを目指し、平成25年2月1日号からカラー化を含めた紙面のリニューアルを行った。今後も見やすく、分かりやすく、親しみやすい紙面構成にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行部数 25,450部</li> <li>発行回数 年4回</li> </ul> <p>【事業実績及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年5月1日発行 25,450部 21.9円 24頁 3月定例会</li> <li>平成27年8月1日発行 25,450部 21円 20頁 6月定例会</li> <li>平成27年11月1日発行 25,450部 21円 20頁 9月定例会</li> <li>平成28年2月1日発行 25,450部 21円 20頁 臨時会、12月定例会</li> </ul> <p>議会だよりを発行することにより、定例会・臨時会の内容及び議会活動を市民に周知することができた。</p>							節の内訳	金額						
							11 需用費	2,349,943						
							12 役務費	1,608,674						
18 備品購入費	46,666													
	計						4,005,283							
							決算内訳	金額						
							国庫支出金							
							都支出金							
							地方債							
							その他							
							一般財源	4,005,283						
							計	4,005,283						

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課						
	01	01	01	06	議場映像配信事業経費			議会事務局						
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額						
27年度	1,100,000					5,000	1,105,000	1,089,324						
26年度	1,100,000					0	1,100,000	1,090,224						
増減額	0		0		0	5,000	5,000	△ 900						
【事業概要】							平成27年度決算額							
<p>議会への関心と理解を図る目的から議案の情報や議論の経過など、本会議の様子を庁舎内モニターテレビを利用し、生中継で視聴ができる環境を整える。さらに、インターネットによる映像配信システムを利用し、広く視聴できるようにすることで、市民にとって議会がわかりやすく、身近に感じられる存在となるよう取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎内モニターテレビでの生中継(平成18年度から)</li> <li>インターネットによる録画配信(平成19年度から)</li> </ul> <p>【事業実績及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本会議開催日に市民課及び市民コーナーのモニターテレビで生中継を行った。</li> <li>インターネットによる録画配信を行った。(録画中継年間アクセス数2,045件)</li> </ul> <p>録画配信及び庁舎内モニターテレビ生中継により、議場に来れない市民に対し、本会議の内容を発信することができた。</p>							節の内訳	金額						
							12 役務費	178,344						
							13 委託料	910,980						
	計						1,089,324							
							決算内訳	金額						
							国庫支出金							
							都支出金							
							地方債							
							その他							
							一般財源	1,089,324						
							計	1,089,324						

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	02	01	02	01		市長公室		
	広報関係経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	16,760,000		736,000				17,496,000	17,227,891
26年度	16,275,000		857,000				17,132,000	16,901,470
増減額	485,000		△121,000		0	0	364,000	326,421
【事業概要】						平成27年度決算額		
<p>広報紙「広報あきる野」を月に2回(1日、15日)発行し、行政情報などの提供を行っている。</p> <p>広報紙の配布は、新聞折込による配布を原則としているが、より多くの市民に情報を提供するため、平成24年7月から新聞購読をしていない世帯や事業所に対する個別配布を開始し、情報提供の公平性と利便性の向上に努めている。平成27年度は、新聞未購読世帯への個別配布サービスを周知徹底するため、納税通知書や国保の被保険者証の更新用封筒に案内を刷り込むよう担当課と調整するほか、広報紙等でも随時お知らせする。</p> <p>また、運用財源としている広告の募集方法を、平成26年度から導入している広告代理店方式を引き続き継続することで、安定した収入を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行部数 29,900部(計画)</li> <li>発行回数 月2回(毎月1日及び15日)</li> </ul>						節の内訳		金額
						09 旅費		
11 需用費			9,920,286					
12 役務費			4,559,843					
13 委託料			2,605,896					
14 使用料及び賃借料			116,700					
19 負担金補助及び交付金			24,000					
		計		17,227,891				
【事業実績及び評価】						決算内訳		
<p>広報紙の購読者数を増やすため、新聞折込のほか広報紙や転入者へ個別配布サービスの周知を行った。また、市税(市民税、固定資産税、軽自動車税)の納税通知書、国保の保険証更新通知、後期高齢者の納入通知書、臨時福祉給付金通知書、子育て世帯臨時特例給付金通知書の封筒裏面にお知らせ文を刷り込み、市内全世帯に申し込み方法等の周知を図った。これにより、個別配布の登録者数が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別配布者数 2,633件(前年度末比358件増)</li> <li>発行部数 28,300部</li> </ul>						節の内訳		金額
						国庫支出金		
都支出金								
地方債								
その他			2,513,764					
一般財源			14,714,127					
		計		17,227,891				

科目	事業				事業名	主管課		
	02	01	02	02		市民課		
	市民相談事業経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,695,000						1,695,000	1,693,108
26年度	1,695,000						1,695,000	1,685,106
増減額	0		0		0	0	0	8,002
【事業概要】						平成27年度決算額		
<p>市民生活上の悩みや問題を解決するため、弁護士による法律相談、税理士による税務相談などを毎月実施する。また、人権擁護委員及び行政相談委員の活動を支援する。</p>						節の内訳		金額
						08 報償費		
09 旅費			17,816					
11 需用費			18,792					
19 負担金補助及び交付金			194,100					
		計		1,693,108				
【事業実績及び評価】						決算内訳		
<p>1 法律相談 実施回数36回 相談件数235件</p> <p>2 税務相談 実施回数12回 相談件数54件</p> <p>3 行政相談 実施回数13回 相談件数4件</p> <p>4 人権身の上相談 実施回数13回 相談件数19件</p> <p>5 交通事故相談 実施回数12回 相談件数17件</p> <p>6 登記相談 実施回数12回 相談件数27件</p> <p>7 相続・遺言など暮らしの手続相談 実施回数12回 相談件数54件</p> <p>各種専門相談員による市民相談を実施することにより、市民生活上の悩みの解消や問題解決のための手段を導き、市民サービスの向上に努めることができた。</p>						節の内訳		金額
						国庫支出金		
都支出金								
地方債								
その他			1,693,108					
一般財源			1,693,108					
		計		1,693,108				

(単位:円)

科目	事業				事業名	主管課		
	02	01	02	03		市長公室		
	広聴関係経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	10,000						10,000	820
26年度	10,000						10,000	1,169
増減額	0		0		0	0	0	△349
【事業概要】						平成27年度決算額		
「市長への手紙」などを通じて市民から直接意見等を受け、積極的に市政に反映させることで、市民と行政との協働関係を築いていく。 ホームページで投稿されたものはメールで回答を返信し、手紙で受け付けたものは回答文書を郵送する。						節の内訳		金額
						12 役務費		820
【事業実績及び評価】						決算内訳		金額
						国庫支出金		
「市長への手紙」について、ホームページで投稿されたものはメールで回答を返信し、手紙で受け付けたものは回答文書を郵送した。 「市長への手紙」受付件数 66件						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		820
						計		820

科目	事業				事業名	主管課		
	02	01	02	05		市長公室		
	ホームページ関係経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	4,173,000						4,173,000	4,171,488
26年度	6,876,000						6,876,000	6,754,425
増減額	△2,703,000		0		0	0	△2,703,000	△2,582,937
【事業概要】						平成27年度決算額		
ホームページを通じて行政情報などを周知するとともに、緊急時の情報発信手段として「あきる野安心メール」を運用し、市内で発生した火災の出火報と鎮火報、台風や集中豪雨などによる土砂災害や河川災害の警戒情報、迷い人のお知らせなどを配信している。 さらに、平成26年度からは、イベント情報などの発信手段として「サンちゃんメール」の運用も開始している(平成26年12月1日現在の全登録者数12,500件)。 ホームページは、平成26年9月にリニューアルさせ、ウェブアクセシビリティ(誰もが情報サービスを支障なく操作又は利用できる機能)の向上やスマートフォンへの対応、FAQシステムの充実により、利便性を向上させ、より身近な行政情報の伝達手段としての運用をする。 ホームページにはバナー広告の掲載枠を設けて、運用経費に充てる財源としているが、平成25年度から導入した広告代理店方式を平成27年度も引き続き継続することで、安定した広告収入を確保する。						節の内訳		金額
						12 役務費		16,224
【事業実績及び評価】						14 使用料及び賃借料		4,155,264
						計		4,171,488
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		1,532,520
						一般財源		2,638,968
						計		4,171,488

科目	事業				事業名	主管課		
	02	01	02	06		市民課		
	地域人権啓発活動活性化事業経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	51,000						51,000	27,720
26年度	51,000						51,000	27,180
増減額	0		0		0	0	0	540
【事業概要】						平成27年度決算額		
児童が協力して、花を種から栽培し、それを観察することで、相手の立場を考えること、協力と感謝することの大切さを学び、思いやりの心、かけがえのない命を大切にすること人権思想を育む。 ・平成27年度は南秋留小学校と草花小学校の2校で実施。						節の内訳		金額
						11 需用費		27,720
【事業実績及び評価】						決算内訳		金額
						国庫支出金		
南秋留小学校3年生31人と草花小学校5・6年生23人が百日草・マリーゴールド・サルビアの花を種から栽培した。 栽培を通して、植物を育てる難しさや継続することの大切さを学び、また、花が咲く喜びの中に優しさや思いやりの気持ちの大切さを考えることができ、人権思想を育むことができた。						都支出金		27,720
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						計		27,720

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	02	01	06	53		国際化推進事業経費	生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	4,173,000		△ 2,098,000			0	2,075,000	468,171
26年度	4,159,000		0			△ 30,000	4,129,000	3,062,439
増減額	14,000		△ 2,098,000		0	30,000	△ 2,054,000	△ 2,594,268
【事業概要】					平成27年度決算額			
<p>国際姉妹都市であるアメリカ合衆国マールボロウ市への市立中学校生徒の派遣及びマールボロウ市ウィットコム・スクールから市立中学校への受け入れを行う。</p> <p>派遣事業は、国際的視野を持つ人材育成を目的として、概ね10日間滞在し、ホームステイ先の家族や学校での交流活動を行う。派遣事業経験者等で組織する「あきる野市国際化推進青年の会」の会員が派遣の際に同行したり、派遣前の事前研修で英会話レッスンや受入事業でのイベント企画を行うなど人材育成の効果が出ている。平成26年度においても8名の生徒を派遣し、ホームステイを通じて国際理解を深めた。</p> <p>受入事業は、ウィットコム・スクールからの生徒を概ね10日間受け入れ、異文化交流や、国際理解を深める。過去に受け入れを経験した家庭等で組織する「あきる野ホストファミリークラブ」が来日の際の歓迎式典や、受入及び派遣事業の際の通訳や同行も行うなど、市民レベルでの交流も広がりを見せている。</p>					節の内訳		金額	
					08 報償費	80,000		
09 旅費	14,928							
11 需用費	206,372							
12 役務費	36,474							
13 委託料								
14 使用料及び賃借料	130,397							
19 負担金補助及び交付金								
							計	468,171
【事業実績及び評価】					決算内訳			
<p>1 派遣事業については、マサチューセッツ州の教育施設内への立ち入りに必要な予防接種の規定で学校施設への入れなくなったことにより、マールボロウ市側の受け入れができなくなったため、平成27年度は中止とした。</p> <p>2 受入事業については、10月30日から11月10日の間、マールボロウ市ウィットコム・スクールの生徒8人及び引率者3人が来訪し、「あきる野ホストファミリークラブ」及び「あきる野市国際化青年の会」との協働により、ホームステイや学校での受け入れを行い交流活動を実施した。</p>					国庫支出金			
					都支出金			
					地方債			
					その他			
					一般財源		468,171	
							計	468,171

科目	事業				事業名	主管課					
	02	01	06	55		市制施行20周年記念事業経費	企画政策課				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額			
27年度	10,589,000		△ 3,075,000				7,514,000	7,269,793			
26年度	3,996,000		△ 1,721,000				2,275,000	1,979,552			
増減額	6,593,000		△ 1,354,000		0	0	5,239,000	5,290,241			
【事業概要】					節の内訳						
<p>平成27年9月に市制施行20周年を迎えるに当たり、この節目の年を契機として、市の更なる発展につながるよう、「記念式典」を始め、「秋川渓谷ウォークラリー」や「出張!なんでも鑑定団inあきる野」等の記念事業を実施する。</p>					08 報償費		203,300				
【事業実績及び評価】					11 需用費		675,755				
<p>1 秋川渓谷ウォークラリー 4月2日から19日まで(水曜日を除く)実施 参加者621人</p>					12 役務費		54,070				
<p>2 「出張!なんでも鑑定団inあきる野」公開収録 7月5日実施 観覧者618人(観覧希望数3,777人) メイン看板製作委託料 56,160円</p>					13 委託料		5,791,608				
<p>3 第14回小和田花火大会 8月15日実施 来場者約1,100人 委託料 ・小和田花火大会観覧会場設営委託料 918,000円 ・特設観覧会場設営関係業務委託料 434,160円</p>					14 使用料及び賃借料		545,060				
<p>4 あきる野市制施行20周年記念式典 8月30日実施 出席者約450人 委託料 ・メイン看板製作委託料 56,160円 ・会場設営委託料 50,328円 ・映写機材設置等委託料 358,560円</p>					計 7,269,793						
<p>5 あきる野市政施行20周年記念誌 作成部数 5,000部 記念誌作成業務委託料 3,888,000円 広く市民に参加を呼びかけイベント等を実施することで、市全体で市制施行20周年を祝う気運を醸成した。</p>					国庫支出金						
					都支出金		1,438,000				
					地方債						
					その他						
					一般財源		5,831,793				
							計	7,269,793			

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課
	02	01	07	07	防犯灯設置等に要する経費			建設課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,550,000						2,550,000	2,545,089
26年度	2,550,000						2,550,000	2,122,521
増減額	0		0		0	0	0	422,568
【事業概要】 道路利用者の安全を確保するため、防犯灯の設置及び維持管理を行う。 <平成27年度の事業内容> ・修繕料(防犯灯修繕単価契約) ・防犯灯設置工事(単独防犯灯設置) ・防犯灯設置工事(共架防犯灯設置)							平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 ・防犯灯(共架灯)の設置 11基 ・防犯灯(共架灯)の修繕 21件 防犯灯等のLED化に伴い、修繕件数は減少したものの、新設要望は毎年あることから、管理数は増加している。今後も本事業の経費は、増加傾向が続くと推定されることから、いずれLEDの更新時期が来たときの更新費用が危惧される。							節の内訳	
							11 需用費	1,899,196
							15 工事請負費	645,893
							計	2,545,089
							決算内訳	
							国庫支出金	
							都支出金	400,000
							地方債	
							その他	
							一般財源	2,145,089
							計	2,545,089

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課
	02	01	07	08	防犯対策事業経費			地域防災課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	4,641,000						4,641,000	4,561,027
26年度	4,645,000						4,645,000	4,623,095
増減額	△4,000		0		0	0	△4,000	△62,068
【事業概要】 犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯協会の防犯啓発活動への参画、支援などの防犯啓発事業を行い、市民生活の安全に関する意識の高揚を図る。また、市民、来訪者の安全性の向上と防犯対策を強化するため設置している防犯カメラについて、常に安定した運用ができるように維持管理を行う。							平成27年度決算額	
・防犯カメラ運用台数 11台							節の内訳	
【事業実績及び評価】 1 防犯カメラ維持管理経費 管理する11台の保守点検費用 現在、駅前自転車等駐車場を中心に設置し運用している防犯カメラについて、保守点検を行うことで、市民や来訪者の安全性の向上、防犯対策の強化につながった。							01 報酬	76,000
2 防犯協会等負担金 犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、福生・五日市各警察署管内の防犯協会等へ負担金補助を行うことで、防犯啓発活動や各種事業が円滑にかつ活発に展開することができた。							09 旅費	14,492
防犯協会等負担金(福生警察署管内防犯協会外3団体) 2,347,050円							11 需用費	115,922
							12 役務費	387
							13 委託料	299,376
							14 使用料及び賃借料	1,707,800
							19 負担金補助及び交付金	2,347,050
							計	4,561,027
							決算内訳	
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	4,561,027
							計	4,561,027

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	02	01	08	01	社会保障・税番号制度関係経費		情報システム課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	33,659,000		△ 3,751,000				29,908,000	28,156,029	
26年度	15,750,000		4,706,000				20,456,000	19,675,360	
増減額	17,909,000		△ 8,457,000		0	0	9,452,000	8,480,669	
【事業概要】							平成27年度決算額		
番号制度は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤(インフラ)を整備するため、システム改修等を行う。							節の内訳		金額
							13 委託料		
【事業実績及び評価】							14 使用料及び賃借料		2,072,709
							19 負担金補助及び交付金		5,586,000
全国一斉に進められている準備事務に遅れることなく、平成29年度7月の本格稼働に向け、情報連携のための新規システムの構築、既存システムの改修、行政間の情報連携基盤となる中間サーバ構築に係る負担金支出の業務を行うとともに、市民への個人番号カード交付に要する機器の導入などを実施した。							計		28,156,029
							決算内訳		金額
							国庫支出金		20,178,000
							都支出金		
							地方債		
							その他		7,978,029
							一般財源		
							計		28,156,029

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	02	01	09	09	交通安全対策事業経費		地域防災課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	23,745,000						23,745,000	133,453,822	
26年度	22,425,000						22,425,000	22,183,170	
増減額	1,320,000		0		0	0	1,320,000	111,270,652	
【事業概要】							平成27年度決算額		
交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、交通安全協会の交通安全啓発活動への参画、支援などを行い、市民生活の安全に関する意識の高揚を図る。また、市内5駅の周辺における自転車等の駐車秩序を確立することにより、駅周辺の道路の安全な利用を確保するとともに、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐車場の維持管理を行う。さらに、循環型社会構築のため、使用可能な放置自転車の再活用を推進する。平成27年度は、交通安全協会の制服等に破損や劣化があることから、新たな購入について補助金を交付す							節の内訳		金額
							09 旅費		6,114
【事業実績及び評価】							11 需用費		530,157
							12 役務費		825,216
1 東秋留駅南口第2自転車等駐車場整備工事 工事箇所：あきる野市野辺466-1 東秋留駅南口に新たに用地を取得し、東秋留駅南口第2自転車等駐車場を整備した。 ・用地買収費 94,047,840円 ・整備工事費 13,975,200円							13 委託料		10,516,149
							14 使用料及び賃借料		3,844,416
2 交通安全協会負担金補助及び交付金 ・交通安全協会負担金(福生交通安全協会外2団体) 3,659,185円 ・交通安全関係団体補助金(福生交通安全協会秋川支部外1団体) 4,049,545円 ・交通安全協会制服購入補助金(福生交通安全協会秋川支部外1団体) 2,000,000円 交通安全協会各支部が使用している制服について、長期間使用しているため、制服購入補助金を交付することにより更新が図られた。							15 工事請負費		13,975,200
							17 公有財産購入費		94,047,840
							19 負担金補助及び交付金		9,708,730
							計		133,453,822
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		4,700,000
							地方債		80,000,000
							その他		891,118
							一般財源		47,862,704
							計		133,453,822

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	02	01	11	01	循環バス関係経費		地域防災課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	12,142,000						12,142,000	12,012,166
26年度	12,345,000						12,345,000	11,013,380
増減額	△203,000		0		0	0	△203,000	998,786
<b>【事業概要】</b> 循環バス「るのバス」の運行に対する補助等を行い、市内における公共交通不便地域の解消及び市民の公共施設等への交通手段を確保する。 現在、秋川駅を起終点にし、1台のバスで、秋川コースと五日市コースを運行している。							平成27年度決算額	
<b>【事業実績及び評価】</b> ・運行日数 248日(臨時運行4日含む) ・運行回数 2,728回(11回/日) ・乗車人員 36,967人 ・1日当たりの平均乗車人員 149.1人 ・1便当たりの平均乗車人員 13.6人							節の内訳	
							11 需用費	25,166
							13 委託料	
							14 使用料及び賃借料	27,000
							19 負担金補助及び交付金	11,960,000
							計	12,012,166
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	12,012,166
							計	12,012,166

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	02	01	11	02	盆堀地域交通対策事業経費		地域防災課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,672,000						1,672,000	1,397,516
26年度	1,670,000						1,670,000	1,436,095
増減額	2,000		0		0	0	2,000	△38,579
<b>【事業概要】</b> 「あきる野市循環バス等地域公共交通検討委員会」で交通空白地域として位置付けられた盆堀地域において、交通弱者対策事業を実施している。 事業内容は、地域交通(ワゴン車)が戸倉バス停と盆堀林道の採石場間の運行を行うもので、盆堀地域在住の交通弱者及び児童の五日市小学校への通学に利用する。							平成27年度決算額	
<b>【事業実績及び評価】</b> ・運行経費 1,397,516円 ・運行日数 244日 ・乗車人員 578人(往路426人、復路152人)							節の内訳	
							07 賃金	648,600
							11 需用費	143,684
							14 使用料及び賃借料	605,232
							計	1,397,516
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	690,000
							地方債	
							その他	0
							一般財源	707,516
							計	1,397,516



(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課					
	02	01	11	07		地域防災課					
	生活バス路線関係経費										
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額			
27年度	16,990,000						16,990,000	15,192,312			
26年度	16,990,000						16,990,000	14,914,362			
増減額	0		0		0	0	0	277,950			
<b>【事業概要】</b> 人口の減少等により乗車人員が減少し、バス路線の継続が困難となっている事業者に対し、運行維持のための補助を行うことにより、地域住民の交通手段を確保する。 ・対象路線：武蔵五日市駅・秋川溪谷瀬音の湯經由上養沢路線 武蔵五日市駅・上養沢路線 数馬線(国庫補助金あきる野市負担分) 藤倉線(国庫補助金あきる野市負担分)					平成27年度決算額						
					節の内訳			金額			
					09 旅費						
					11 需用費			4,553			
12 役務費			719								
19 負担金補助及び交付金			15,187,040								
			計		15,192,312						
<b>【事業実績及び評価】</b> ・バス路線維持費補助金(上養沢・瀬音の湯線) 11,994,000円 ・生活交通路線維持関係事業補助金(数馬・藤倉線) 3,193,040円					決算内訳			金額			
					国庫支出金						
					都支出金						
					地方債						
その他											
一般財源					15,192,312						
			計		15,192,312						

科目	事業				事業名	主管課					
	02	01	11	13		地域防災課					
	町内会・自治会関係経費										
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額			
27年度	44,394,000		2,500,000				46,894,000	45,893,995			
26年度	46,779,000		17,500,000				64,279,000	62,290,920			
増減額	△2,385,000		△15,000,000		0	0	△17,385,000	△16,396,925			
<b>【事業概要】</b> 市内の84町内会・自治会に対し、運営費や会館の維持、建設費等に対する補助を行うことなどにより、町内会・自治会が円滑かつ自立した活動を行えるように支援する。また、町内会・自治会連合会の活動支援を行う。 平成27年度は、網代自治会の会館建て替え工事費と、小宮町内会の会館建設費に対する補助を行った。 ・町内会・自治会連合会運営費補助金 ・町内会・自治会運営費補助金 ・町内会館・自治会館維持費補助金 ・町内会館・自治会館建設費等補助金 ・掲示板建築費等補助金 ・地域生活環境整備推進事業補助金					平成27年度決算額						
					節の内訳			金額			
					09 旅費			23,438			
					11 需用費			20,659			
13 委託料			4,089,928								
19 負担金補助及び交付金			41,759,970								
			計		45,893,995						
<b>【事業実績及び評価】</b> ・町内会・自治会連合会運営費補助金 1件 3,134,700円 ・町内会・自治会運営費補助金 85件 21,490,270円 ・町内会館・自治会館維持費補助金 83件 4,482,000円 ・町内会館・自治会館建設費等補助金 7件 9,868,000円 ・掲示板建築費等補助金 6件 265,000円 ・地域生活環境整備推進事業補助金 0件					決算内訳			金額			
					国庫支出金						
					都支出金			7,300,000			
					地方債						
その他											
一般財源					38,593,995						
			計		45,893,995						

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	02	01	11	14		地域防災課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	7,500,000						7,500,000	6,033,000
26年度	7,500,000						7,500,000	6,567,000
増減額	0		0		0	0	0	△ 534,000
【事業概要】					平成27年度決算額			
<p>コミュニティの中心的な役割を果たしている町内会・自治会が実施する、住民同士の親睦や生活環境の維持等の活動、高齢者の見守り、こどもの安全対策等の取組みなど、地域の課題を解決し、住みよいまちづくりを進める事業に必要な経費の一部を交付し、または貸し付ける。</p> <p>&lt;コミュニティ事業交付金&gt;</p> <p>地域活動の担い手である町内会・自治会が行う地域の課題を解決するための取組を推進し、「地域力」の向上を図る事業に対して支援を行う。</p> <p>&lt;町内会・自治会活動支援資金貸付金&gt;</p> <p>町内会・自治会が、地域の課題を解決するために取り組む事業を対象とし、東京都地域の底力再生事業助成金の交付見込額の概算払請求額を除いた額を限度に貸し付けを行う。</p>					節の内訳		金額	
					19 負担金補助及び交付金		4,283,000	
					21 貸付金		1,750,000	
					計		6,033,000	
【事業実績及び評価】					決算内訳		金額	
					国庫支出金			
					都支出金			
					地方債			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ事業交付金 35件 4,283,000円</li> <li>・町内会・自治会活動支援資金貸付金 4件 1,750,000円</li> </ul>					その他		1,750,000	
					一般財源		4,283,000	
計		6,033,000						

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	02	01	11	17		地域防災課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	3,708,000						3,708,000	3,570,783
26年度	3,532,000						3,532,000	3,438,624
増減額	176,000		0		0	0	176,000	132,159
【事業概要】					平成27年度決算額			
<p>地域コミュニティを形成し、美しいまちづくりを推進するため、町内会・自治会、ボランティア団体が行う花苗の植付けにおいて、花苗の購入費の補助を行うとともに、花いっぱい運動推進協議会を設置し、花壇コンクールの実施などを行う。また、花や緑あふれる個人宅の庭を紹介するオープンガーデンマップの作成を行う。</p> <p>・平成27年度花いっぱい運動参加町内会・自治会 43団体 ボランティア団体 4団体</p>					節の内訳		金額	
					08 報償費		105,300	
					09 旅費		2,400	
					11 需用費		940,067	
12 役務費		13,940						
13 委託料		43,200						
19 負担金補助及び交付金		2,465,876						
計		3,570,783						
【事業実績及び評価】					決算内訳		金額	
					国庫支出金			
					都支出金			
					地方債			
<p>1 花いっぱい運動参加事業費補助金</p> <p>町内会・自治会 43件 1,898,876円</p> <p>ボランティア団体等 3件 162,000円</p> <p>五日市明るい社会づくりを進める会 1件 405,000円</p> <p>2 支援花壇認定(町内会・自治会)</p> <p>春季 8件 植付株数 3,127株</p> <p>秋季 10件 植付株数 4,540株</p> <p>3 オープンガーデン 14件</p> <p>4 花めぐりウォーキング</p> <p>開催日 4月22日、5月11日、5月20日、5月22日</p> <p>参加人数 28人</p> <p>5 花いっぱい運動推進協議会</p> <p>花壇コンクール 参加数 24件</p>					その他		3,570,783	
					一般財源		3,570,783	
計		3,570,783						

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	02	01	12	01	男女共同参画啓発事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	336,000						336,000	258,211
26年度	336,000						336,000	278,045
増減額	0		0		0	0	0	△ 19,834
【事業概要】							平成27年度決算額	
男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発事業として、市民実行委員による実行委員会企画運営するフォーラムを開催し、男女共同参画社会へ向けた意識の啓発に取り組む。							節の内訳	金額
【事業実績及び評価】							08 報償費	217,664
「第19回女と男のライフフォーラムinあきる野」を開催							11 需用費	14,947
日時 平成28年2月6日							14 使用料及び 賃借料	25,600
テーマ 共に生きる社会へ							計	258,211
実行委員 8人							決算内訳	金額
参加者数 92人							国庫支出金	
男女共同参画社会へ向けた意識啓発の推進を図った。							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	258,211
							計	258,211

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	02	01	13	01	土地開発公社清算事業経費		財政課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,790,000,000						1,790,000,000	1,790,000,000
26年度	0						0	0
増減額	1,790,000,000		0		0	0	1,790,000,000	1,790,000,000
【事業概要】							平成27年度決算額	
公共用地の先行取得の優位性がなくなったことなどから、第三セクター等改革推進債を活用し、市が金融機関に代位弁済することで、あきる野市土地開発公社を解散する。							節の内訳	金額
H26末簿価残高 : 1,799,166,585円							22 補償補填 及び賠償金	1,790,000,000
起債額 : 1,790,000,000円							計	1,790,000,000
借入区分 : 銀行等引受資金							決算内訳	金額
【事業実績及び評価】							国庫支出金	
平成27年10月9日に第三セクター等改革推進債17億9千万円を借り入れ、同日、土地開発公社の負債を代位弁済した。その後事務手続を進めた結果、平成28年1月18日付けで東京都知事より土地開発公社解散の認可が下り、以降清算手続を行っている。							都支出金	
※第三セクター等改革推進債借入条件							地方債	1,790,000,000
起債額：17億9千万円 借入先：八十二銀行八王子支店 償還期間：10年							その他	
借入方法：証書借入 償還方法：半年賦元金均等割賦償還固定金利							一般財源	
借入利率：0.435%							計	1,790,000,000

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課	
	03	01	01	01		社会福祉委員関係経費	生活福祉課
区分	当初予算額	補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	15,875,000				0	15,875,000	15,516,424
26年度	15,843,000				38,000	15,881,000	15,419,860
増減額	32,000	0		0	△ 38,000	△ 6,000	96,564
【事業概要】						平成27年度決算額	
<p>地域福祉の増進を図るため、市民の立場に立って様々な相談に応じ、必要な助言等を行う民生委員・児童委員の地域活動に対し、支援を行う。また、社会福祉行政の円滑な運営を図るため、社会福祉に関する調査・研究、関係機関への協力等を行う社会福祉委員の活動支援を行う。</p> <p>なお、民生委員法及び児童福祉法により、民生委員は児童委員を兼ねている。また、社会福祉委員は、民生委員・児童委員の職にある者に委嘱している。</p> <p>・民生委員・児童委員定数 70人</p>						節の内訳	金額
						01 報酬	6,300,000
08 報償費	7,608,000						
09 旅費	47,666						
11 需用費	643,509						
12 役務費	188,680						
14 使用料及び賃借料	168,569						
19 負担金補助及び交付金	560,000						
						計	15,516,424
【事業実績及び評価】						決算内訳	金額
<p>民生委員・児童委員の主な活動状況(延べ数)</p> <p>相談件数 1,911件</p> <p>行事・事業・会議への参加等 2,700回</p> <p>民児協運営・研修参加 2,927回</p> <p>訪問活動 12,058回</p> <p>連絡調整 9,996回</p> <p>様々な課題を抱えている人や支援を求めている人への相談や訪問、実態把握等を行う民生委員活動や、あきる野市民生児童委員協議会における各種会議、研修等の活動に対する支援を行い、民生委員・児童委員が活動しやすい環境をつくった。</p>						国庫支出金	
						都支出金	8,428,000
						地方債	
						その他	
						一般財源	7,088,424
						計	15,516,424

科目	事業				事業名	主管課	
	03	01	01	05		社会を明るくする運動・保護司関係経費	生活福祉課
区分	当初予算額	補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,098,000					2,098,000	1,955,054
26年度	2,081,000					2,081,000	1,937,076
増減額	17,000	0		0	0	17,000	17,978
【事業概要】						平成27年度決算額	
<p>犯罪をなくして社会を明るくするため、保護司が主体となって実施する社会を明るくする運動(犯罪の防止と犯罪者の矯正及び更生保護についての正しい理解を深め、進んでこれらの活動に協力するよう呼びかける啓発活動)等に対し、その活動支援を行う。</p> <p>・平成27年12月1日現在 保護司数 29人</p>						節の内訳	金額
						08 報償費	1,171,500
						09 旅費	19,554
						11 需用費	93,100
						19 負担金補助及び交付金	670,900
						計	1,955,054
【事業実績及び評価】						決算内訳	金額
<p>保護司の活動(社会を明るくする運動)</p> <p>実施日 平成27年7月3日 午前7時から8時まで</p> <p>実施場所 JR市内4駅(武蔵五日市駅・武蔵増戸駅・秋川駅・東秋留駅)</p> <p>参加者数 213人</p> <p>法務省が主唱する「社会を明るくする運動」の啓発活動につて、準備段階から実施に向けて支援を行った。啓発には多くの参加者があり、運動の趣旨の周知や、特に啓発活動に参加した中学生への理解を深めることができた。</p>						国庫支出金	
						都支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	1,955,054
						計	1,955,054

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課			
	03	01	01	14		生活福祉課			
					社会福祉法人指導検査等事業経費				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	984,000						984,000	335,709	
26年度	989,000						989,000	487,514	
増減額	△ 5,000		0		0	0	△ 5,000	△ 151,805	
【事業概要】						平成27年度決算額			
適正な法人運営と円滑な社会福祉事業の経営の確保を図るため、主たる事業所が市の区域内にある社会福祉法人に対して指導検査を実施する。						節の内訳		金額	
						01 報酬			310,000
【事業実績及び評価】						08 報償費			
						09 旅費			23,674
市が実施する社会福祉法人に対する指導検査は、原則2年に1回実施しており、平成27年度は、所管する13法人中、6法人について実施した。このうち、指導検査を効率的・効果的に実施するため、施設等検査を実施する東京都と日程調整ができた4法人については同日検査を実施し、指導検査基準に基づき、適正に実施することができた。						11 需用費			
						12 役務費			2,035
また、定款変更2件、基本財産担保提供承認1件について申請があり、認可及び承認手続きを速やかに行った。						計		335,709	
						決算内訳		金額	
						国庫支出金			
						都支出金			158,000
						地方債			
						その他			
						一般財源			236,709
						次年度清算額	△59,000		
						計		335,709	

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	03	01	01	16		生活福祉課		
					行旅病人及び行旅死亡人取扱経費			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	872,000						872,000	368,901
26年度	852,000						852,000	461,089
増減額	20,000		0		0	0	20,000	△ 92,188
【事業概要】						平成27年度決算額		
行旅病人(救護者のいない旅行中の傷病者)及び行旅死亡人(引取者のいない旅行中の死亡者)を救護し、必要な対応を行う。 主に、警察からの通報を受け、該当者及びその所持品を引き取り、官報への掲載等を行うとともに、対応に要した費用の支払いを行う。						節の内訳		金額
						12 役務費		
【事業実績及び評価】						13 委託料		
						計		368,901
1 行旅死亡人取扱委託 葬祭日 平成27年8月16日 身元判明者1体 葬祭日 平成27年8月26日 身元不明者1体 2 行旅死亡人官報掲載 掲載号 9月7日号 死亡人に対する引き取り人がいないため、行旅病人及び行旅死亡人取扱法第7条(行旅死亡人の埋葬・火葬)の規定に基づき火葬を行った。費用については、東京都知事に弁償請求を行った。						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金	368,901	
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						計		368,901

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課			
	03	01	01	17		生活福祉課			
					生活資金貸付事業経費				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,600,000					0	1,600,000	1,220,000	
26年度	1,000,000					42,000	1,042,000	1,042,000	
増減額	600,000		0		0	△ 42,000	558,000	178,000	
【事業概要】						平成27年度決算額			
生活保護法による被保護者を除く生活困窮者が、補助的な生活資金で生計がたてられるよう、生活資金の貸付を行う。  ・貸付金額 1世帯8万円以内(無利子) ・償還方法 貸付月の翌月から2月を経過した後、1年以内の毎月定額償還						節の内訳		金額	
						21 貸付金			1,220,000
【事業実績及び評価】						計		1,220,000	
						決算内訳		金額	
貸付件数 17件 貸付金額 1,220,000円 短期的な生活資金を必要とする者に対して資金の貸付を行うことで、生活の支援を行った。また、貸付決定者を生活困窮者自立支援事業の支援対象者とし、相談支援を行うと同時に、償還の相談も行ったことで償還義務の意識向上が図れた。						国庫支出金			
						都支出金			
						地方債			
						その他			831,000
						一般財源	389,000		
						計		1,220,000	

(単位：円)

科目	事業名				主管課	
	03	01	01	19		
	住宅支援給付事業経費				生活福祉課	
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,257,000				1,257,000	342,000
26年度	4,588,000				4,588,000	2,605,726
増減額	△3,331,000	0	0	0	△3,331,000	△2,263,726
<b>〔事業概要〕</b> 離職者に対し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うため、住宅支援給付の支給や就労支援員による就労支援を行う。 なお、本事業は、平成27年4月から生活困窮者自立支援事業の住居確保給付金に移行するため、平成27年3月までに給付決定した者に対して、最大、平成27年12月まで支給する。  ・住宅支援給付支給額 単身世帯 月額53,700円以内 複数世帯 月額69,800円以内  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 平成26年度中に給付決定した2人に対し、就労支援を行うとともに、平成27年11月までの給付期間延べ9か月分の住宅支援給付を行い、生活の安定に繋げることができた。 なお、本制度は、平成27年度から生活困窮者自立支援制度の住居確保給付金事業に移行した。	平成27年度決算額					
	節の内訳					金額
	20 扶助費					342,000
	計					342,000
	決算内訳					金額
国庫支出金					342,000	
都支出金						
地方債						
その他						
一般財源						
計					342,000	

科目	事業名				主管課	
	03	01	01	22		
	低所得者・離職者対策事業経費				生活福祉課	
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	3,500,000				3,500,000	3,500,000
26年度	3,500,000				3,500,000	3,500,000
増減額	0	0	0	0	0	0
<b>〔事業概要〕</b> 東京都が実施する低所得者・離職者対策事業で、学習塾、各種受験対策講座、通信講座、補習教室の受講料、高校や大学などの受験料の捻出が困難な一定所得以下の世帯に必要な資金の貸付を行い、子ども達の学習意欲をサポートする。 なお、業務については、あきる野市社会福祉協議会へ委託する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> ・学習塾等受講料貸付 29件(中学3年:23件・高校3年:6件) ・受験料貸付 27件(中学3年:16件・高校3年:11件) 市では、ホームページへの掲載や生活困窮者相談窓口及び教育委員会窓口パンフレットを設置するとともに、市内6中学校にパンフレットの設置を依頼し、利用者の増加につなげた。	平成27年度決算額					
	節の内訳					金額
	13 委託料					3,500,000
	計					3,500,000
	決算内訳					金額
国庫支出金						
都支出金					3,500,000	
地方債						
その他						
一般財源						
計					3,500,000	

科目	事業名				主管課	
	03	01	01	23		
	生活困窮者自立支援事業経費				生活福祉課	
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	6,569,000				6,569,000	3,971,279
26年度	1,991,000				1,991,000	1,270,328
増減額	4,578,000	0	0	0	4,578,000	2,700,951
<b>〔事業概要〕</b> 生活困窮者に対し、生活保護至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、自立相談支援事業の実施や住居確保給付金の支給等の自立相談支援事業を行う。 ・自立相談支援事業-就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等の実施 ・住居確保給付金-離職により住宅を失った生活困窮者に対し家賃相当の「住居確保給付金」を支給  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 相談件数 355件(新規142件・継続213件) ・住居確保給付金 5件(843,000円) ・就労支援 28件(うち住居確保給付金対象5件) ・就労決定 10件(うち住居確保給付金対象4件) 生活困窮者自立支援法施行に伴い、相談支援窓口を開設した。相談窓口では、経済的な相談や就労支援だけでなく生活上の相談にも対応し、活用できる他制度につなげるなど、関係機関と連携を図りながら包括的な相談支援を行った。	平成27年度決算額					
	節の内訳					金額
	01 報酬					1,806,000
	07 貸金					1,014,099
	09 旅費					69,520
	11 需用費					221,660
	12 役務費					17,000
	20 扶助費					843,000
	計					3,971,279
	決算内訳					金額
国庫支出金					4,926,000	
都支出金						
地方債						
その他						
一般財源					992,820	
次年度清算額					△1,947,541	
計					3,971,279	

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課			
	03	01	02	02					
	身体障害者・知的障害者相談員事業経費					障がい者支援課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	157,000						157,000	152,160	
26年度	194,000						194,000	152,160	
増減額	△ 37,000		0		0	0	△ 37,000	0	
【事業概要】						平成27年度決算額			
<p>身体障害者相談員と知的障害者相談員をそれぞれ2名づつ、地域の身近な相談員として設置する。</p> <p>主な取組として、障がい者の地域活動の推進、更生援護に関する相談・指導、知的障がい者の家庭における療育、生活などに関する相談・指導・助言、各種サービスの利用手続等の支援を行うとともに、障がい者に対する市民の認識と理解を深める。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>身体・知的障害者相談員の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養育に関すること 2件</li> <li>・生活に関すること 1件</li> <li>・施設等入所に関すること 3件</li> <li>・就職に関すること 2件</li> <li>・サービス利用に関すること 1件</li> </ul> <p>家庭における療育、地域生活などの障がい者や家族からの相談に応じ、安心して生活できるように必要な支援や助言を行った。</p>						節の内訳		金額	
						08 報償費			152,160
						11 需用費			
						計	152,160		
						決算内訳		金額	
						国庫支出金			
						都支出金			
						地方債			
						その他			
						一般財源	152,160		
						計	152,160		

科目	事業				事業名	主管課			
	03	01	02	04					
	心身障害者福祉手当支給経費					障がい者支援課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	212,250,000						212,250,000	209,827,000	
26年度	210,246,000						210,246,000	208,110,000	
増減額	2,004,000		0		0	0	2,004,000	1,717,000	
【事業概要】						平成27年度決算額			
<p>心身に障がい有する方に手当を支給する。</p> <p>&lt;20歳以上の方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身障手帳(1級・2級)及び愛の手帳(1度～3度) 月額 15,500円</li> <li>・脳性麻痺又は進行性筋萎縮症 月額 15,500円</li> <li>・身障手帳(3級・4級)及び愛の手帳(4度) 月額 7,000円</li> </ul> <p>&lt;20歳未満の方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身障手帳(1級～4級)及び愛の手帳(1度～4度) 月額 7,000円</li> <li>・脳性麻痺又は進行性筋萎縮症 月額 7,000円</li> </ul> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>手当支給者数 延べ19,157人 支給額 209,827,000円</p> <p>心身に障がい有する方に手当を支給することで、日常生活の向上を図ることができた。</p>						節の内訳		金額	
						20 扶助費			209,827,000
						決算内訳		金額	
						国庫支出金			
						都支出金	138,043,000		
						地方債			
						その他			
						一般財源	71,784,000		
						計	209,827,000		

科目	事業				事業名	主管課			
	03	01	02	06					
	障害者通所支援施設運営管理経費					障がい者支援課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	11,174,000					0	11,174,000	11,168,259	
26年度	13,004,000					625,000	13,629,000	13,215,809	
増減額	△ 1,830,000		0		0	△ 625,000	△ 2,455,000	△ 2,047,550	
【事業概要】						平成27年度決算額			
<p>障害者総合支援法に基づく法内の事業所として、生活介護事業を実施している。事業は、あきる野市社会福祉協議会を指定管理者としている。</p> <p>※平成29年度末までの5年間の債務負担行為。</p> <p>【3年目/5年間】</p> <p>希望の家及びひばり分室において、生活介護事業(通所)を実施することで、障がいのある方に対し、身体機能及び生活能力の向上のために必要な支援を行うことができた。</p>						節の内訳		金額	
						11 需用費			95,040
						12 役務費			5,219
						13 委託料	11,068,000		
						計	11,168,259		
						決算内訳		金額	
						国庫支出金			
						都支出金			
						地方債			
						その他			
						一般財源	11,168,259		
						計	11,168,259		

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	03	01	02	07	障害児施設給付事業経費		障がい者支援課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	143,094,000		0			0	143,094,000	135,335,004
26年度	72,295,000		21,470,000			1,039,000	94,804,000	94,763,869
増減額	70,799,000		△ 21,470,000		0	△ 1,039,000	48,290,000	40,571,135
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
<p>障がい児の生活能力の向上や集団生活への適応、社会との交流促進等の療育訓練を行い、自立に向けた支援をする。</p> <p>&lt;児童発達支援&gt; 未就学の障がい児に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を行う。</p> <p>&lt;放課後等デイサービス&gt; 就学中の障がい児に、放課後や夏休み等の休日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流促進を行う。</p> <p>&lt;障害児相談支援&gt; 障がい児に関する様々な相談に応じ、必要な情報提供や各機関との調整等を行うとともに、利用する障害児支援サービスの内容等を定めた障害児相談支援計画を作成する。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 児童発達支援 281件 公費負担額 20,698,733円</p> <p>2 放課後等デイサービス 1,625件 公費負担額 110,878,355円</p> <p>3 障害児相談支援 215件 公費負担額 3,460,976円</p> <p>障がいのある未就学児及び就学児に対し、本事業を提供することにより、日常生活における基本的な動作の指導及び知識、技能の付与、集団生活への適用訓練等を行うことができた。</p>							節の内訳	金額
							12 役務費	296,940
							20 扶助費	135,038,064
							計	135,335,004
							決算内訳	金額
国庫支出金	66,745,000							
都支出金	33,372,500							
地方債								
その他								
一般財源	34,056,456							
次年度精算額	1,161,048							
計	135,335,004							



(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	03	01	02	08	在宅障害者福祉事業経費		障がい者支援課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	67,465,000						67,465,000	59,973,590
26年度	65,662,000						65,662,000	60,731,673
増減額	1,803,000		0		0	0	1,803,000	△758,083
[事業概要]							平成27年度決算額	
<p>障がい者(児)が在宅で安定した生活を過ごすことができるよう、また、家族の介護の軽減や費用負担を軽減する目的から各種事業を実施する。</p> <p>&lt;緊急一時保護事業&gt; 保護者の疾病、冠婚葬祭などで介護が困難になった際に、介護人が心身障がい者を一時的に家庭等で保護する。</p> <p>&lt;重度脳性麻痺者介護事業&gt; 20歳以上の身障手帳1級を所持する脳性麻痺者で単独で屋外活動をすることが困難な方を対象に介護する。</p> <p>&lt;重度心身障害者(児)入浴サービス事業&gt; 在宅での入浴が困難な重度心身障がい者(児)を対象に、契約施設の設備を利用した入浴サービスを行う。</p> <p>&lt;重度身体障害者住宅改善費給付事業&gt; 在宅の重度身体障がい者(児)を対象に、日常生活を容易にするため、住宅設備の改善に要する経費を給付する。</p> <p>&lt;心身障害者家庭水道料金助成事業&gt; 住民税非課税の在宅の重度心身障がい者世帯を対象に、水道料金の基本料金相当額を助成する。</p> <p>&lt;心身障害者(児)交通費助成金支給事業&gt; 通院及び生活圏の拡大のために利用する交通機関の運賃及び自家用車のガソリン代の一部を助成する。</p> <p>&lt;心身障害者(児)おむつ等給付事業&gt; 在宅の常時おむつを使用する3歳以上の重度心身障がい者(児)を対象に、おむつ等を給付する。</p>							節の内訳	金額
							08 報償費	7,163,520
12 役務費	58,801							
13 委託料	4,610,286							
20 扶助費	48,140,983							
	計	59,973,590						
							決算内訳	金額
							国庫支出金	1,643,000
	都支支出金	11,841,500						
	地方債							
	その他							
	一般財源	47,573,090						
	次年度精算額	△1,084,000						
	計	59,973,590						
[事業実績及び評価]								
1 緊急一時保護事業								
実績なし								
2 重度脳性麻痺者介護事業								
対象者8人 介護人数8人 延べ介護日数1,092日								
介護人報償費 7,163,520円								
3 重度心身障害者(児)入浴サービス事業								
・あすなろみんなの家 延べ667人 事業委託費 3,001,500円								
・福楽園 延べ109人 事業委託費 409,500円								
・西多摩療育支援センター 延べ172人 事業委託費 774,000円								
合計 延べ948人 事業委託費 4,266,000円								
4 重度身体障害者住宅改善費給付事業								
2件 884,718円								
5 心身障害者家庭水道料金助成事業								
上半期下半期延べ世帯数 100件 647,015円								
6 心身障害者(児)交通費助成金支給事業								
延べ17,714人 42,513,600円								
7 心身障害者(児)おむつ等給付事業								
延べ920人 4,095,650円								
各事業を実施したことで、障がい者(児)が在宅で安定した生活を送ることができ、また、家族の介護や費用負担の軽減を図ることができた。								

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	03	01	02	12		障がい者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	10,573,000		4,320,000				14,893,000	12,829,464
26年度	0		0				0	0
増減額	10,573,000		4,320,000		0	0	14,893,000	12,829,464
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>難病医療費助成制度の対象疾患の拡大に伴い、難病患者が安心して生活できるよう、難病総合相談窓口を設置するとともに、サービス等の利用促進のため周知・啓発をする。</p> <p>また、就労・生活センター「あすく」において、就労支援コーディネーターを配置し、難病患者の就労に向けた適切な支援を行う。</p>						節の内訳		金額
						01 報酬		
<p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 難病医療費助成申請時の面談 131人</p> <p>2 難病療養・生活相談 11人</p> <p>3 家庭等訪問相談 1人</p> <p>4 就労相談 6人</p> <p>5 あきる野市難病患者の方の生活と福祉に関するアンケートの実施 対象者 難病医療費助成制度利用者 553人 回収数 347人 回収率 62.7%</p> <p>6 難病相談支援講演会 参加者数 53人 難病患者が安心して生活するため、難病の周知・啓発や相談支援等により、心身の軽減を図ることができた。</p>						04 共済費	369,114	
						11 需用費		
						12 役務費	77,676	
						13 委託料		
						計		12,829,464
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源	△ 887,000	
						次年度精算額		

科目	事業				事業名	主管課		
	03	01	02	14		障がい者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	34,896,000		0				34,896,000	32,289,600
26年度	34,832,000		40,000				34,872,000	30,311,620
増減額	64,000		△ 40,000		0	0	24,000	1,977,980
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>&lt;特別障害者手当の支給&gt;</p> <p>20歳以上で、身体又は精神に著しく重度の障がいがあり、日常生活に常時特別の介護を必要とする状態(身障手帳1・2級程度若しくは愛の手帳1・2程度程度の障がい重複又はこれらと同等の疾病又は精神の障がい)にある方を対象に手当を支給する。</p> <p>&lt;障害児福祉手当の支給&gt;</p> <p>20歳未満で、身体又は精神に著しく重度の障がいがあり、日常生活に常時特別の介護を必要とする状態(身障手帳1・2級の一部若しくは愛の手帳1・2程度又はこれらと同等の疾病又は精神の障がい)にある方を対象に手当を支給する。</p> <p>&lt;経過的福祉手当の支給&gt;</p> <p>昭和61年3月31日において20歳以上で、当時の福祉手当受給者であった方のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害基礎年金も支給されない方を対象に経過的措置として手当を支給する。</p>						節の内訳		金額
						01 報酬		
						20 扶助費	32,058,600	
						計		32,289,600
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						計		32,289,600
						〔事業実績及び評価〕		
						1 特別障害者手当 延べ 943人 25,007,800円		
						2 障害児福祉手当 延べ 434人 6,877,720円		
						3 経過的福祉手当 延べ 12人 173,080円		
						合計 延べ1,389人 32,058,600円		
						日常生活において常時特別の介護を必要とする方に対し手当を支給し、障がい者や家族の生活の安定を図ることができた。		

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	03	01	02	15	障害者緊急通報システム事業経費		障がい者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	951,000						951,000	0	
26年度	0						0	0	
増減額	951,000		0		0	0	951,000	0	
[事業概要] ひとり暮らしの重度身体障がい者及び難病患者は、その障害や疾患により、家庭内で急病等の緊急事態に陥る可能性が高い。このため、緊急通報機器を設置し、日常における急病等への不安感を解消するとともに、緊急時においては、その発生を外部に通報することにより、速やかな救助を得ることにより、在宅の重度身体障がい者等の生活の安全を確保する。							平成27年度決算額		
							節の内訳	金額	
							12 役務費		
							13 委託料		
							18 備品購入費		
							計	0	
[事業実績及び評価] 申請がなかったため、実績なし。							決算内訳	金額	
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源		
							計	0	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	03	01	02	16	障害者ふれあいスポーツ交流事業経費		障がい者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	300,000					500,000	800,000	800,000	
26年度	0					0	0	0	
増減額	300,000		0		0	500,000	800,000	800,000	
[事業概要] 2020年東京パラリンピックの開催に向け、障がい者スポーツへの関心を高めるとともに、障がい者が積極的にスポーツ活動に参加する機会を得ることに加え、防災対策の強化や防災意識を醸成するため、災害弱者である障がい者が防災体験等をする機会を得る目的から、スポーツ体験と防災体験を兼ね合わせた「障がい者防災・スポーツフェア」を開催する。							平成27年度決算額		
							節の内訳	金額	
							08 報償費		
							11 需用費		
							19 負担金補助 及び交付金	800,000	
							計	800,000	
[事業実績及び評価] 障害者ふれあいスポーツ交流事業 「あきる野市障がい者防災・スポーツフェア2015」 1 実施日 平成27年9月26日 午前10時から午後1時30分まで 2 場所 秋川体育館、秋留台公園、秋川健康会館 3 協力機関・団体 13団体 4 参加者 2,000人 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ活動への参加促進と気運醸成、東日本大震災を踏まえた防災意識の醸成等を図ることができた。							決算内訳	金額	
							国庫支出金	400,000	
							都支出金	200,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	200,000	
							計	800,000	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	03	01	02	22	地域生活支援事業経費		障がい者支援課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	121,656,000		0				121,656,000	111,299,387
26年度	120,327,000		192,000				120,519,000	108,904,428
増減額	1,329,000		△ 192,000		0	0	1,137,000	2,394,959
<b>〔事業概要〕</b> 地域生活を営むことが困難な障がい者(児)に利用者に応じたサービスを提供することにより、自立と社会参加を促進する。 <障害者地域活動支援センター事業> 地域で生活する精神障がい者の日常生活の支援、日常的な相談への対応や地域交流活動等を行うことで、精神障がい者の社会復帰、社会参加を促進させる。 <手話通訳者等派遣事業> 意思疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者等に対し、手話通訳者及び要約筆記者を派遣することにより、社会生活上の利便性を改善する。 <自動車運転教習費助成事業> 心身障がい者の日常生活の利便及び生活圏を拡大するため、自動車運転免許を取得するための経費の一部を助成する。 <自動車改造費助成事業> 重度身体障がい者が就労等により自動車を取得し、改造する必要がある場合、その改造費用の一部を助成する。 <日常生活用具給付事業> 特殊寝台等の福祉用具を給付することにより、重度障がい者等の日常生活の利便性を改善する。 <移動支援事業> 屋外での移動が困難な障がい者が、外出する際にヘルパーを派遣し、社会参加等に必要外出支援を行う。 <日中一時支援費給付事業> 障がい者の日中活動の場を確保し、一時的な見守りに対する費用を給付することにより、家族の就労支援及び介護に対する負担を軽減する。 <民間賃貸住宅入居支援助成事業> 連帯保証人の確保ができないため民間賃貸住宅への入居が困難な障がい者に対し、民間賃貸住宅への入居支援を行うとともに、民間の保証機関に支払う初回保証委託料の一部を助成することにより、障がい者の安定した居住を確保する。							平成27年度決算額	
							節の内訳	
12	役務費		70,000					
13	委託料		24,894,979					
20	扶助費		86,334,408					
	計		111,299,387					
決算内訳		金額						
	国庫支出金		33,843,000					
	都支出金		22,713,500					
	地方債							
	その他							
	一般財源		55,932,587					
	次年度精算金		△ 1,189,700					
	計		111,299,387					
<b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 障害者地域活動支援センター事業 登録者 144人 相談支援事業 延べ7,186人 グループ活動 実施回数103回 利用者数 828人 生産活動 実施回数237回 利用者数3,879人 オープンスペース 実施回数294回 利用者数2,253人 2 手話通訳者等派遣事業 ・要約筆記 1人 1回 2時間 3,675円 ・手話通訳(社会福祉協議会)10人 27回 56時間5分 159,700円 (東京手話通訳等派遣センター)実績なし 3 自動車運転教習費助成事業 1人 164,800円 4 自動車改造費助成事業 3人 401,700円 5 日常生活用具給付事業 ・ストマ装具 157人 ・紙おむつ 13人 ・その他 47人 6 移動支援事業 ・身体障がい者 71人 ・知的障がい者 155人 ・精神障がい者 18人 ・児童 98人 7 日中一時支援費給付事業 ・身体障がい者 18人 ・知的障がい者 32人 ・精神障がい者 1人 ・児童 12人 8 民間賃貸住宅入居支援助成事業 実績なし 地域生活を営むことが困難な障がい者に対し、日常生活の利便を図ることで、自立した生活と社会参加の促進を図ることができた。								

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	03	01	02	24				
					障害者虐待防止対策事業経費	障がい者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	7,220,000						7,220,000	6,820,000
26年度	7,220,000						7,220,000	6,820,000
増減額	0		0		0	0	0	0
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により、障がい者に対する虐待を防止するため、虐待防止センターを設置し、委託事業により365日・24時間体制で通報受理、相談受付を実施する。						節の内訳		金額
						13 委託料		
〔事業実績及び評価〕						計		6,820,000
虐待通報件数 4件 ・養護者からの虐待 1件 ・福祉従事者等からの虐待 2件 ・使用者からの虐待 1件 関係機関と連携し、対応を図ることにより、虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障がい者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を図ることができた。						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金	1,261,500	
						地方債		
						その他		
						一般財源	3,035,500	
						計	6,820,000	

科目	事業				事業名	主管課		
	03	01	02	27				
					自立支援給付事業経費	障がい者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,351,946,000		15,437,000			0	1,367,383,000	1,268,262,986
26年度	1,298,015,000		8,953,000			△ 1,039,000	1,305,929,000	1,186,388,733
増減額	53,931,000		6,484,000		0	1,039,000	61,454,000	81,874,253
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
日常生活を営むことが困難な障がい者(児)に対し、ホームヘルパーの派遣などの居宅介護や生活訓練などのための施設入所などの必要なサービスを提供することにより、自立と社会参加を促進する。						節の内訳		金額
						12 役務費		
〔事業実績及び評価〕						13 委託料	2,073,600	
1 障害福祉サービス						14 使用料及び賃借料	1,435,320	
						(1) 給付別集計	10,368件	公費負担額
						19 負担金補助及び交付金	37,567,000	
						20 扶助費	1,210,650,997	
						23 償還金利息及び割引料	15,436,545	
						計	1,268,262,986	
						決算内訳		金額
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
2 補装具費								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
3 重症心身障害児(者)通所事業								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
4 療養介護医療費								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
5 高額障害福祉サービス費								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
6 グループホーム等家賃助成								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
7 障害者グループホーム・短期入所の都加算額								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
・グループホーム								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
・短期入所								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
・短期入所歳入調定								
						国庫支出金	565,037,000	
						都支出金	409,125,410	
						地方債		
						その他		
						一般財源	321,029,087	
						次年度精算金	△ 26,928,511	
						計	1,268,262,986	
日常生活を営むのが困難な障がい者(児)に必要なサービスを提供することにより、自立と社会参加を推進し障がい者の福祉の向上を図ることができた。								

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	03	01	02	28		障がい者支援課		
	自立支援医療経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	60,761,000		5,902,000				66,663,000	43,877,382
26年度	70,514,000		15,239,000				85,753,000	54,597,727
増減額	△ 9,753,000		△ 9,337,000		0	0	△ 19,090,000	△ 10,720,345
[事業概要]						平成27年度決算額		
障害や疾患に対して確実な治療効果が期待される医療費を給付することで、安定した治療を継続して受けるために必要な医療の支給を行う。						節の内訳		金額
[事業実績及び評価]						01 報酬		92,400
1 更正医療支給認定状況						12 役務費		13,800
腎臓機能障害(人工透析) 18件						20 扶助費		37,869,773
免疫機能 4件						23 償還金利子及び割引料		5,901,409
2 育成医療支給認定状況						計		43,877,382
肢体不自由 2件						決算内訳		金額
音声・言語・そしゃく機能障害 5件						国庫支出金		20,848,000
心臓機能障害 2件						都支出金		10,131,484
身体の障害を除去・軽減する手術等の治療によって、確実な治療効果が期待できる者に対して提供され、生活の能力を得るために必要な医療の提供を図ることができた。						地方債		
						その他		
						一般財源		15,475,054
						次年度精算額		△ 2,577,156
						計		43,877,382

科目	事業				事業名	主管課		
	03	01	02	29		障がい者支援課		
	地域自立支援協議会運営事業経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,160,000						1,160,000	1,160,000
26年度	590,000						590,000	590,000
増減額	570,000		0		0	0	570,000	570,000
[事業概要]						平成27年度決算額		
相談支援事業を始めとする地域の障害福祉に関するシステムづくりについて、福祉サービス事業者、保健・医療・教育・雇用関係者等により、全体会及び部会等を設置し定期的に協議することにより、障がい者支援を充実する。						節の内訳		金額
[事業実績及び評価]						13 委託料		1,160,000
・全体会 3回						計		1,160,000
・日中活動・入所系サービス事業所部会 3回						決算内訳		金額
・訪問系サービス事業所部会 3回						国庫支出金		
・居住系サービス事業所部会 3回						都支出金		
・障がい児者と親の会・家族会部会 3回						地方債		
・当事者団体部会 3回						その他		
・相談支援部会 6回						一般財源		1,160,000
・就労支援部会 3回						計		1,160,000
・精神保健福祉連絡会 4回								
・こども支援プロジェクト 3回								
・権利擁護プロジェクト 3回								
・地域生活支援プロジェクト 6回								
・合同部会								
日中活動・入所系部会及び就労支援部会 1回								
・全体研修								
講演会「認知の仕組みから来る行動の理解と支援方法」 1回								
参加者数 77人								
地域全体で障がい者を支える力を高め、相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関して、中核的な役割を果たす協議を行うことができた。								

(単位：円)

科目	事業名				主管課	
	03	01	03	01		
	障がい者就労・生活支援センター運営事業経費				障がい者支援課	
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	19,385,000	86,000			19,471,000	19,467,966
26年度	19,335,000	1,217,000			20,552,000	20,526,344
増減額	50,000	△1,131,000	0	0	△1,081,000	△1,058,378
〔事業概要〕 障がい者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、地域における生活の支援を行い、障がい者の自立と社会参加を促進する。					平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 ハローワーク等関係機関と連携し、求職活動の同行・職場見学や面接の同行・会社や家庭との連携・各種事務手続き等の支援を行う。 ・電話相談 2,046件 ・来訪相談 871件 ・訪問相談 922件 など 一般企業等に就労を希望する障がい者に対し、自身にあった職場で安定的に働き続けるための相談、支援を行うことができた。					節の内訳	
					13 委託料	19,335,000
					18 備品購入費	132,966
					計	19,467,966
					決算内訳	
					国庫支出金	
					都支出金	9,667,000
					地方債	
					その他	
					一般財源	9,800,966
					計	19,467,966

科目	事業名				主管課	
	03	01	04	01		
	高齢者福祉一般経費				高齢者支援課	
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	68,845,000	46,000		△679,000	68,212,000	66,371,471
26年度	67,013,000	2,319,000		△83,000	69,249,000	68,124,452
増減額	1,832,000	△2,273,000	0	△596,000	△1,037,000	△1,752,981
〔事業概要〕 高齢者の生活環境の充実を図り、安心して自立した在宅生活を送ることができるよう次に事業を実施する。 <高齢者配食サービス事業> 在宅の調理が困難な高齢者に対し、栄養のバランスのとれた食事を提供する。 <高齢者クラブ助成事業> 高齢者クラブ及び高齢者クラブ連合会が行う活動に係る経費の一部を補助することにより、高齢者福祉を増進する。 <シルバー人材センター事業補助事業> シルバー人材センターが行う事業に係る経費の一部を補助することにより、高齢者の能力を活かした地域社会づくりに寄与する。 <高齢者世帯水道料助成事業> 全員が65歳以上の住民税非課税世帯を対象に、水道料の基本料金相当額を助成する。 <救急医療情報キット事業> 65歳以上の高齢者や災害時などに援護を必要とする障がい者等に対し、町内会・自治会を通じて救急医療情報キットを配布する。 <高齢者福祉電話事業> 市の電話を貸与し維持費を助成、または自己所有電話の維持費を助成することにより、高齢者の安否確認、その他各種の相談を関係機関の協力を得て行い、高齢者の孤独感の解消及び各種サービスの情報を提供する。					平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 1 高齢者配食サービス事業 延べ配食数 14,538人 延べ利用者数 1,014人 2 高齢者クラブ助成事業 クラブ数及び会員数等(平成27年4月1日現在) クラブ数 46クラブ 会員数 3,250人(補助対象人数3,246人) 3 シルバー人材センター事業補助事業 補助金交付金額 36,800,000円 4 高齢者世帯水道料助成事業 助成延べ世帯数1,919世帯 5 救急医療情報キット事業 町内会・自治会への救急医療情報キット配布数 500個 6 高齢者福祉電話事業 定額料金等の維持費助成延べ件数 1,317件 高齢者の生活環境の充実を図るため、各種事業を実施し、安心して自立した在宅生活を送ることができるよう支援できた。					節の内訳	
					09 旅費	29,288
					11 需用費	267,922
					12 役務費	2,538,418
					13 委託料	5,782,650
					14 使用料及び賃借料	2,664,538
					19 負担金補助及び交付金	53,012,887
					20 扶助費	2,029,768
					23 償還金利子及び割引料	46,000
					計	66,371,471
					決算内訳	
					国庫支出金	
					都支出金	20,141,000
					地方債	
					その他	
					一般財源	46,272,471
					次年度精算額	△42,000
					計	66,371,471

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	業名	主管課		
	03	01	04	10	高齢者緊急通報システム事業経費	高齢者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	7,233,000					0	7,233,000	6,377,872
26年度	8,629,000					△300,000	8,329,000	6,659,686
増減額	△1,396,000		0		0	300,000	△1,096,000	△281,814
【事業概要】						平成27年度決算額		
東京消防庁又は民間受信センターに通報するための通報機器(固定機器と携帯用ペンダント)を貸与することにより、住居内で緊急事態に陥ったときに、速やかに通報を行うことができ、より安心した在宅生活を送ることができる。						節の内訳		
・対象者 概ね65歳以上の一人暮らし及び高齢者のみの世帯等であって、身体上、慢性疾患があるなど、日常生活を営む上で常時注意を要する状態にある方						金額		
						11 需用費		
						13 委託料		
						18 備品購入費		
						計 6,377,872		
【事業実績及び評価】						決算内訳		
・利用者(民間方式) 112人						金額		
・利用者(消防方式) 9人						国庫支出金		
・協力員(消防方式) 18人						都支出金		
東京消防庁又は民間受信センターに通報するための通報機器を貸与することにより、住居内で緊急事態に陥ったときに、速やかに通報ができることで、より安心して在宅生活を送られるように支援した。						地方債		
						その他		
						一般財源		
						次年度精算額		
						計 6,377,872		

科目	款	項	目	事業	業名	主管課		
	03	01	04	13	高齢者自立支援日常生活用具等給付事業経費	高齢者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,880,000		2,426,000			894,000	5,200,000	2,598,850
26年度	1,880,000		0			83,000	1,963,000	1,819,276
増減額	0		2,426,000		0	811,000	3,237,000	779,574
【事業概要】						平成27年度決算額		
65歳以上の高齢者で、介護保険制度の要介護認定において非該当(介護保険サービスの対象とならない)となったものの、在宅生活を送る上で不自由である方に対し、必要と認められる日常生活用具や住宅改修の給付を実施する。						節の内訳		
<高齢者自立支援日常生活用具給付事業>						金額		
在宅生活を営む上で必要となる腰掛便座や入浴補助用具などの日常生活用具の給付を行うことにより、自立した生活の確保や日常生活の利便性を改善する。						20 扶助費		
※一部の用具については、介護保険サービスの対象となる方も可能。						計 2,598,850		
<高齢者自立支援住宅改修給付事業>						決算内訳		
在宅生活を営む上で必要となる手すりの取付けや床段差の解消などの住宅改修の給付を行うことにより、在宅生活における日常動作の容易性、行動範囲の確保、転倒予防及び介護の軽減等を図る。						金額		
※一部の改修については、介護保険サービスの対象となる方も可能。						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						次年度精算額		
						計 2,598,850		
【事業実績及び評価】								
1 日常生活用具給付事業								
入浴補助用具 1件								
2 住宅改修給付事業								
便器の洋式化等 1件								
浴槽の取替え及び給湯設備の改修等 8件								
在宅生活を営む上で必要となる日常生活用具や手すりの取付けなどの住宅改修の給付を行い、在宅生活における利便性、日常動作の容易性、行動範囲の確保、転倒予防及び介護の軽減等を図ることができた。								



(単位：円)

科目	款	項	目	事業	業名	主管課	
	03	01	04	15	高齢者施設援護措置経費	高齢者支援課	
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	15,748,000				0	15,748,000	12,868,833
26年度	16,883,000				△ 397,000	16,486,000	13,325,458
増減額	△ 1,135,000		0	0	397,000	△ 738,000	△ 456,625
〔事業概要〕						平成27年度決算額	
原則として65歳以上で、身体的、精神的又は環境上の理由により、居宅で生活することが困難な方が安心して暮らすことのできるよう、養護老人ホームへの入所措置を実施する。						節の内訳	金額
						08 報償費	15,500
〔事業実績及び評価〕						11 需用費	
						12 役務費	34,560
1 入所処置 養護老人ホーム 3施設 延べ72人 特別養護老人ホーム 1施設 延べ5人						20 扶助費	12,818,773
						計	12,868,833
2 費用徴収数の状況 延べ65人 2,607,820円 養護老人ホームへの入所措置を実施することにより、居宅で生活することが困難な方が安心して暮らすことができた。						決算内訳	金額
						国庫支出金	
						都支出金	
						地方債	
						その他	2,607,820
						一般財源	10,261,013
						次年度精算額	
						計	12,868,833

科目	款	項	目	事業	業名	主管課	
	03	01	04	25	敬老の日経費	高齢者支援課	
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	9,033,000				△ 209,000	8,824,000	8,756,984
26年度	8,096,000				397,000	8,493,000	8,326,872
増減額	937,000		0	0	△ 606,000	331,000	430,112
〔事業概要〕						平成27年度決算額	
多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し長寿を祝うとともに、高齢者の福祉への関心と理解を深め、高齢者が自ら生活の向上に努める意欲を高めるため、町内会・自治会が実施する敬老行事に対して経費の一部を補助する。 また、100歳到達者及び最高齢者に対し、記念品等を贈呈する。						節の内訳	金額
						08 報償費	300,000
〔事業実績及び評価〕						11 需用費	34,404
						12 役務費	37,370
1 町内会・自治会敬老行事推進事業 補助金交付団体数 85団体						19 負担金補助及び交付金	8,385,210
						計	8,756,984
2 100歳到達者祝辞と記念品贈呈 対象者28人に祝辞と1万円相当の記念品の贈呈						決算内訳	金額
						国庫支出金	
3 最高齢者祝辞とお祝い金の贈呈 市内に居住する男性、女性の最高齢者2人に祝辞と祝い金(1万円)を贈呈 町内会・自治会が実施する敬老行事に対して経費の一部を補助することなどにより、高齢者を敬愛し長寿を祝うとともに、高齢者の福祉への関心と理解を深め、高齢者が自ら生活の向上に努める意欲を高めることに寄与した。						都支出金	4,317,000
						地方債	
						その他	
						一般財源	4,563,984
						次年度精算額	△ 124,000
						計	8,756,984

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	業名	主管課		
	03	01	04	60	高齢者見守り事業経費	高齢者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,044,000					1,044,000	685,076	
26年度	1,054,000					1,054,000	731,558	
増減額	△10,000		0	0	0	△10,000	△46,482	
<b>〔事業概要〕</b> 高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、様々な高齢者見守り事業を実施する。世帯に異変があった場合には、市や地域包括支援センターへ連絡をし、適切な支援を行う。 <防災・安心地域委員会による見守り事業> 地域から選ばれた見守り協力員が月2回程度、見守りを希望する高齢者世帯を訪問し見守りを行う。 <乳酸菌飲料配達事業> 乳酸菌飲料販売業者が週1回、無償で1本の乳酸菌飲料を手渡しで配達し、安否確認を行う。 <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 防災・安心地域委員会による見守り事業 利用者世帯数 84世帯 協力員数 109人 2 乳酸菌飲料配達事業 配布数 4,679個 各種高齢者見守り事業を実施することにより、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援した。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						13 委託料	355,604	
						19 負担金補助及び交付金	329,472	
						計	685,076	
						決算内訳		金額
国庫支出金								
都支出金	522,000							
地方債								
その他								
一般財源	343,076							
次年度精算金	△180,000							
計	685,076							

科目	款	項	目	事業	業名	主管課		
	03	01	04	63	成年後見制度推進事業経費	高齢者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	9,428,000					9,428,000	9,428,000	
26年度	9,120,000					9,120,000	9,120,000	
増減額	308,000		0	0	0	308,000	308,000	
<b>〔事業概要〕</b> 福祉サービスの利用者等の相談や苦情対応、また、認知症などによる成年後見制度に関する相談が増加し、新たなサポート等が必要となってきたことから、福祉サービスの利用者の支援と成年後見制度の積極的な活用を一体的に推進していく体制を整備する。 <事業内容> 福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを行うとともに、苦情対応や成年後見制度の利用相談などを行う。また、成年後見制度を推進するための機関として「成年後見制度推進機関」を設置し、後見人のサポートや地域ネットワークに活用する。 <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 利用者サポート 160件 2 成年後見活用あんしん生活創造事業 60件 3 専門相談の実施 6回 16件 4 成年後見人等の支援 1回 64人 5 成年後見制度を推進するため、地域の関係者や関係機関との連携を図った。 6 運営委員会の開催 2回 福祉サービスの利用者の支援と成年後見制度の積極的な活用を一体的に推進していく体制を整備し、福祉サービスの利用者等の相談や苦情、また、認知症などによる成年後見制度に関する相談などに対応した。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						13 委託料	9,428,000	
						計	9,428,000	
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
都支出金	4,714,000							
地方債								
その他								
一般財源	4,714,000							
次年度精算金								
計	9,428,000							

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	業名	主管課		
	03	01	04	64	小宮ふれあい交流事業経費	高齢者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,716,000					1,716,000	1,610,690	
26年度	1,595,000					1,595,000	1,528,491	
増減額	121,000		0	0	0	121,000	82,199	
<b>【事業概要】</b> 小宮ふるさと自然体験学校を利用し、65歳以上の方のための憩いの場として、介護にならないことを目指して、趣味活動・レクリエーション・健康相談・介護予防の体操などを行う。 <開催日・時間> 原則として、第1・3週の木曜日及び第2・4週の水曜日 概ね午前9時30分から午後3時まで(送迎時間等を含む目安)  <b>【事業実績及び評価】</b> ・実施回数 46回 ・延べ参加者数 716人 ・医師による健康相談 3回 ・歯科医師による歯科口腔相談 3回 小宮ふるさと自然体験学校を利用し、趣味活動・レクリエーション・健康相談・介護予防の体操などを行うことで、介護予防や地域の交流の推進を図ることができた。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						01 報酬	1,198,080	
						08 報償費	180,000	
						11 需用費	184,770	
12 役務費	27,840							
27 公課費	20,000							
	計		1,610,690					
決算内訳		金額						
国庫支出金								
都支出金								
地方債								
その他	1,475,330							
一般財源	135,360							
次年度精算金								
	計		1,610,690					

科目	款	項	目	事業	業名	主管課		
	03	01	06	01	在宅サービスセンター運営管理経費	高齢者支援課		
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	40,739,000		0		527,000	41,266,000	41,263,694	
26年度	40,392,000		238,000		300,000	40,930,000	40,928,784	
増減額	347,000		△238,000	0	227,000	336,000	334,910	
<b>【事業概要】</b> 家に閉じこもりがちな高齢者及び要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態への進行を予防するため、高齢者在宅サービスセンター(萩野・開戸・五日市)において、高齢者生きがい活動支援通所事業等を指定管理委託により実施する。  <b>【事業実績及び評価】</b> ・萩野センター 高齢者生きがい活動支援通所事業 3,291人 げんき応援事業 1,791人 ・開戸センター 高齢者生きがい活動支援通所事業 3,119人 げんき応援事業 2,125人 ・五日市センター 高齢者生きがい活動支援通所事業 2,867人 げんき応援事業 2,267人 高齢者生きがい活動支援通所事業等を実施することにより、家に閉じこもりがちな高齢者などの社会的孤立感の解消や要介護状態への進行を予防することがで						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						11 需用費	299,160	
						12 役務費	30,134	
						13 委託料	40,934,400	
	計		41,263,694					
決算内訳		金額						
国庫支出金								
都支出金								
地方債								
その他	41,263,694							
一般財源								
次年度精算金								
	計		41,263,694					

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	03	01	09	01				
					臨時福祉給付金給付事業経費	生活福祉課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	104,160,000		342,000				104,502,000	88,462,001
26年度	201,006,000		387,000				201,393,000	156,252,847
増減額	△ 96,846,000		△ 45,000		0	0	△ 96,891,000	△ 67,790,846
【事業概要】						平成27年度決算額		
<p>低所得者に対し、平成26年4月から消費税が8パーセントへ引き上げられた影響を緩和するため、簡素な給付措置を前年度に引き続き行う。</p> <p>・給付対象者 平成27年度分市町村民税(均等割)が課税されない者</p> <p>・給付額 1人6,000円(対象者見込み12,000人)</p> <p>※市町村民税(均等割)が課税されている方の扶養親族等、生活保護制度の被保護者となっている方は対象外</p>						節の内訳		金額
						03 職員手当等		
07 賃金			712,591					
09 旅費			6,444					
11 需用費			570,795					
12 役務費			3,341,088					
13 委託料			17,925,264					
14 使用料及び賃借料			1,168,324					
19 負担金補助及び交付金			63,024,000					
23 償還金利子及び割引料			342,000					
						計	88,462,001	
【事業実績及び評価】						決算内訳		
<p>・申請人数 10,628人</p> <p>・却下・取下げ人数 124人</p> <p>・給付人数 10,504人</p> <p>・給付額 63,024,000円</p> <p>昨年度に続き、制度チラシの全戸配布、該当の可能性がある者への申請書送付、広報やホームページへの掲載などにより、制度の周知に努めた。また、給付金に係る専用ナビダイヤルを設置し、問い合わせの対応にも努めるとともに、申請内容の審査から給付まで当初の計画通り進めることができた。</p>						国庫支出金		93,643,000
						都支出金		
地方債								
その他								
一般財源		342,001						
次年度清算額		△5,523,000						
						計	88,462,001	

科目	事業				事業名	主管課		
	03	02	01	02				
					地域子ども子育て支援事業経費	子育て支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	48,416,000		293,000				48,709,000	44,367,291
26年度	24,412,000		1,605,000				26,017,000	25,254,247
増減額	24,004,000		△ 1,312,000		0	0	22,692,000	19,113,044
【事業概要】						平成27年度決算額		
<p>&lt;一時預かり事業&gt;</p> <p>保護者の疾病等により、一時的に家庭で児童を保育することが困難になった場合、定員に達していない保育所等を活用し保護者に代わって乳幼児を一時的に保育する。</p> <p>&lt;乳幼児ショートステイ事業&gt;</p> <p>保護者の疾病等により、一時的に家庭で児童を保育することが困難になった場合、一時的に保護し必要な保育をする。</p> <p>&lt;子育てひろば事業&gt;</p> <p>地域の子育て家庭を支援するため、子育てひろば事業を実施する施設として市内の保育所を指定し、その機能を活用して子育てに関する相談、育児講座等の啓発活動、子育てサークル等の育成を行う。</p> <p>平成27年度は、あきる野ルビアの空スペースを活用し新設をする。</p> <p>&lt;病後児保育事業&gt;</p> <p>保育所に通所している児童で、病気の回復期にある児童を集団保育が困難な期間に保育所に付設された施設において一時的に預かる。</p>						節の内訳		金額
						09 旅費		
11 需用費			982,640					
12 役務費			23,748					
13 委託料			28,459,270					
14 使用料及び賃借料			3,129,917					
15 工事請負費			7,626,346					
18 備品購入費			3,889,836					
23 償還金利子及び割引料			233,000					
						計	44,367,291	
【事業実績及び評価】						決算内訳		
1 一時預かり事業						国庫支出金		8,778,000
1 2園 利用人数 延べ167人 利用日数 延べ347日						都支出金		28,222,328
2 乳幼児ショートステイ事業						地方債		
東京恵明学園 利用人数 延べ63人 利用日数 延べ151日						その他		
3 子育てひろば事業						一般財源		7,714,963
平成27年8月に子育てひろば るびああきる野っ子を開設した。						次年度清算額		△ 348,000
(1) 実施施設 4施設								計
(にしあきる、秋川あすなろ、いつかいち、るびああきる野っ子)								44,367,291
(2) 子育て相談 延べ333件								
(3) 開設日数 延べ917日								
(4) 利用人数 大人 延べ6,997人 子ども 延べ8,119人								
(5) 講座等 延べ331回								
4 病後児保育事業								
秋川あすなろ保育園 利用人数 3人(実人数) 利用日数 延べ13日								

(単位：円)

科目	款 項 目			事業	事業名		主管課	
	03	02	01		03	子ども・子育て支援事業経費	子ども政策課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	830,000		△ 343,000				487,000	312,584
26年度	3,239,000		0				3,239,000	3,306,389
増減額	△ 2,409,000		△ 343,000		0	0	△ 2,752,000	△ 2,993,805
[事業概要]							平成27年度決算額	
「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年度から31年度までの5年間の「子ども・子育て支援事業計画」の各事業の進捗状況を管理し、「子ども・子育て会議」において調査・研究を行う。							節の内訳	金額
							01 報酬	191,000
[事業実績及び評価]							09 旅費	9,834
							11 需用費	104,569
子ども・子育て会議 2回開催 各事業の進捗状況を把握し、PDCAサイクルの考え方による事業ごとに設定した指標を点検・評価するとともに、子ども・子育て支援に関する施策の実施状況を調査審議することで、子ども・子育て支援施策の充実が図られた。							12 役務費	7,181
							計	312,584
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	312,584
							計	312,584

科目	款 項 目			事業	事業名		主管課	
	03	02	02		01	私立保育所運営事業経費	保育課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,370,982,000		153,137,000				2,524,119,000	2,475,167,073
26年度	2,300,285,000		44,080,000				2,344,365,000	2,333,794,989
増減額	70,697,000		109,057,000		0	0	179,754,000	141,372,084
[事業概要]							平成27年度決算額	
生後3か月から小学校就学前の児童を持つ保護者が、就労や病気などの理由により家庭において十分保育することができない場合に保護者に代わり保育を行う民間保育所に対し、保育の委託及び運営経費の支援を行う。 ・対象施設 市内12施設と市民が通所する市外の保育施設							節の内訳	金額
							13 委託料	2,364,354,807
[事業実績及び評価]							19 負担金補助及び交付金	91,973,326
							23 償還金及び割引料	18,838,940
							計	2,475,167,073
							決算内訳	金額
							国庫支出金	507,942,255
							都支出金	930,620,388
							地方債	
							その他	353,585,419
							一般財源	683,019,011
							計	2,475,167,073

科目	款 項 目			事業	事業名		主管課	
	03	02	02		06	小規模保育所運営事業経費	保育課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	87,468,000		20,509,000			△ 1,204,000	106,773,000	100,831,448
26年度	0		58,674,000			0	58,674,000	58,667,757
増減額	87,468,000		△ 38,165,000		0	△ 1,204,000	48,099,000	42,163,691
[事業概要]							平成27年度決算額	
4月からの「子ども・子育て支援新制度」スタートに合わせ、幼児期の教育・保育を充実するため、小規模保育所を設置した4園に運営を委託する。							節の内訳	金額
							13 委託料	95,846,380
[事業実績及び評価]							19 負担金補助及び交付金	4,980,068
							23 償還金及び割引料	5,000
							計	100,831,448
							決算内訳	金額
							国庫支出金	47,777,595
							都支出金	26,378,798
							地方債	
							その他	
							一般財源	26,675,055
							計	100,831,448

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	03	02	03	01		子育て支援課		
	母子福祉事業経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	27,263,000		△14,411,000				12,852,000	9,952,712
26年度	30,970,000		3,719,000				34,689,000	11,502,717
増減額	△3,707,000		△10,692,000		0	0	△21,837,000	△1,550,005
〔事業概要〕					平成27年度決算額			
<p>&lt;母子・父子(女性)福祉資金の事務費&gt; 東京都の東京都母子(女性)福祉資金貸付事業を実施し、貸付、償還及び調定件数によって事務費が東京都から支払われる。事業の実施資金は雑部会計である。</p> <p>&lt;児童福祉法に基づく援護措置事業&gt; 入院助産措置は、保健上入院して分べんする必要があるにもかかわらず、経済的にその費用を支払うことが困難な妊産婦を助産施設に入所措置する。 母子生活支援施設措置は、母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、母子とともに入所させて保護し、自立促進のための生活支援を行なう。また、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」及び「売春防止法」により、都の女性センターを通して母子・女性を緊急一時保護する。</p>					節の内訳		金額	
					11 需用費			16,774
12 役務費			20,860					
13 委託料								
20 扶助費			8,005,005					
23 償還金利子及び割引料			1,910,073					
					計		9,952,712	
					決算内訳		金額	
					国庫支出金		5,690,424	
					都支出金		2,780,222	
					地方債			
					その他			
					一般財源		1,482,066	
					計		9,952,712	
〔事業実績及び評価〕								
1 母子・父子(女性)福祉資金貸付事業								
実績								
母子貸付件数 16件					貸付額 7,128,000円			
父子貸付件数 1件					貸付額 420,000円			
女性貸付件数 0件					貸付額 0円			
合計 17件					7,548,000円			
事務費								
貸付件数 17件					126,820円			
調定件数 622件					323,440円			
償還件数 558件					362,700円			
均等割額(1市当たり)					449,550円			
合計 1,197件					1,262,510円			
2 児童福祉法に基づく援護措置事業								
入院助産措置人数 3人					1,186,990円			
緊急一時保護(委託料使用) 0件					0円			
母子生活支援施設措置件数 1件(母子4人×9か月)					4,020,015円			
自立支援教育訓練給付 0件					0円			
高等職業訓練促進等給付 4件					2,798,000円			
委託料が発生する緊急一時保護は0件であったが、東京都女性相談センター多摩支所と連携し保護したケース等、年間計4件の対応を行った。								

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	03	02	03	03		子育て支援課		
	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業経費							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	6,267,000		293,000				6,560,000	2,833,490
26年度	6,267,000		98,000				6,365,000	3,626,420
増減額	0		195,000		0	0	195,000	△792,930
〔事業概要〕					平成27年度決算額			
日常生活を営むことに著しく支障があるひとり親家庭に対し、一定の期間ホームヘルパーを派遣し、日常生活の世話等のサービスを行う。 ・派遣回数 月12回以内					節の内訳			
					金額			
					13 委託料		2,540,490	
					23 償還金利子及び割引料		293,000	
					計		2,833,490	
〔事業実績及び評価〕					決算内訳			
利用者件数 4件 延べ日数 385日					金額			
利用希望者の中には、様々な課題を抱えているケースもある。特別な配慮が必要なケースもあるため、子ども家庭支援センターと情報を共有、連携しながらサービスの提供を行った。								
					国庫支出金		2,485,094	
					都支出金			
					地方債			
					一般財源		927,396	
					次年度精算額		△579,000	
					計		2,833,490	

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	03	02	03	08		母子・父子自立支援員・女性相談員事務事業経費	子育て支援課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	119,000						119,000	74,328
26年度	119,000						119,000	66,303
増減額	0		0		0	0	0	8,025
【事業概要】						平成27年度決算額		
母子・父子自立支援員・女性相談員は「母子及び父子並びに寡婦福祉法」及び「売春防止法」に基づき設置され、母子世帯・父子世帯や保護が必要な女性に対して情報提供、施設入所などの援助を行なう。また、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」によりDV被害の母子世帯と父子世帯及び女性に対する支援を行う。						節の内訳		金額
						09 旅費		
【事業実績及び評価】						12 役務費	12,120	
						計		
・母子相談員件数 相談人数262件 相談延べ件数1,076件 ・女性相談員件数 相談人数285件 相談延べ件数635件 ・父子相談員件数 相談人数22件 相談延べ件数25件 家族状況の複雑化の影響もあり、事例も多様化している。以前は相談ケースとして表に出てしていなかった若年層が、ネット社会での問題を通じて表面化した事例があった。						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						計	74,328	

科目	事業				事業名	主管課		
	03	02	04	02		児童扶養手当給付事業経費	子育て支援課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	333,134,000		863,000			0	333,997,000	300,559,927
26年度	336,145,000		1,498,000			△776,000	336,867,000	308,933,228
増減額	△3,011,000		△635,000		0	776,000	△2,870,000	△8,373,301
【事業概要】						平成27年度決算額		
離婚等により、父や母と生計を異にする児童を養育する母子家庭や父子家庭等の生活の安定と自立を促進するため、児童の福祉を増進することを目的として、手当を支給する(所得制限あり)。 <手当の支給額> ・第1子 全部支給 月額42,000円 一部支給 月額41,990円から9,910円 ・第2子 月額5,000円を加算 ・第3子以降 児童1人につき月額3,000円を加算 ※物価スライドによる額の改定あり。 ※一部支給の場合、申請者の所得金額に応じて手当額が変わる。						節の内訳		金額
						01 報酬		
【事業実績及び評価】						07 賃金	376,731	
						09 旅費		
1 受給者数 639人 支給停止者数 94人 2 支給額						11 需用費	16,891	
						12 役務費		
区分 支給人数 支給額 全部支給 延べ1,050人 182,059,780円 一部支給 延べ986人 116,963,340円 合計 延べ2,036人 299,023,120円						20 扶助費	299,023,120	
						23 償還金利子及び割引料		
						計	300,559,927	
						決算内訳		金額
						国庫支出金	100,632,213	
						都支出金		
						地方債		
						次年度精算額	△957,840	
						一般財源	199,927,714	
						計	300,559,927	

科目	事業				事業名	主管課		
	03	02	04	03		児童育成手当給付事業経費	子育て支援課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	253,679,000						253,679,000	240,630,109
26年度	247,977,000						247,977,000	248,647,450
増減額	5,702,000		0		0	0	5,702,000	△8,017,341
【事業概要】						平成27年度決算額		
離婚等により、父や母と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭や父子家庭等の生活安定と自立を助け、児童の福祉を増進するため、育成手当を支給する(所得制限あり)。 また、20歳未満の障害児を養育している方に対し、障害手当を支給する(所得制限あり)。 ・育成手当 対象児一人につき月額13,500円 ・障害手当 対象児一人につき月額15,500円						節の内訳		金額
						01 報酬		
【事業実績及び評価】						09 旅費	2,854	
						12 役務費		
1 受給者数 932人(世帯) 受給児童数 1,373人 2 支給額 ・育成手当 延べ16,456人 延べ222,156,000円 ・障害手当 延べ1,187人 延べ18,398,500円 合計 延べ17,643人 延べ240,554,500円						20 扶助費	240,554,500	
						計		
						決算内訳		金額
						国庫支出金	243,141,500	
						都支出金		
						地方債		
						一般財源	175,609	
						次年度精算額	△2,687,000	
						計	240,630,109	

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課		
	03	02	04	07	児童手当給付事業経費		子育て支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,404,197,000		0				1,404,197,000	1,332,764,809	
26年度	1,414,642,000		65,000				1,414,707,000	1,368,805,989	
増減額	△ 10,445,000		△ 65,000		0	0	△ 10,510,000	△ 36,041,180	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちに資することを目的として、中学校修了前までの児童を養育している方に対して手当を支給する。 <手当の支給額> 所得制限額未満である者 ・3歳未満 月額15,000円 ・3歳以上小学校修了前(第1子・第2子) 月額10,000円 ・3歳以上小学校修了前(第3子以降) 月額15,000円 ・中学生 月額10,000円 所得制限額を超える者 ・年齢等に関係なく 月額5,000円							節の内訳		金額
							07 賃金	627,179	
09 旅費									
11 需用費	72,900								
12 役務費	564,730								
20 扶助費	1,331,500,000								
	計		1,332,764,809						
							決算内訳		金額
							国庫支出金	920,551,666	
都支出金	205,594,833								
地方債									
その他									
一般財源	206,718,698								
次年度精算金	△ 100,388								
	計		1,332,764,809						
〔事業実績及び評価〕									
1 受給者数	6,089人(世帯)		受給児童数		10,300人				
2 支給額									
・3歳未満									
支給児童数	18,945人		支給額		284,175,000円				
・3歳以上小学校修了前(第1子・第2子)									
支給児童数	62,878人		支給額		628,780,000円				
・3歳以上小学校修了前(第3子以降)									
支給児童数	10,008人		支給額		150,120,000円				
・中学生									
支給児童数	23,793人		支給額		237,930,000円				
・所得制限額を超える者									
支給児童数	6,099人		支給額		30,495,000円				
・合計									
支給児童数	121,723人		支給額		1,331,500,000円				

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課		
	03	02	06	01	学童クラブ運営経費		子ども政策課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	125,783,000		780,000				126,563,000	123,283,739	
26年度	98,704,000		9,212,000				107,916,000	100,119,816	
増減額	27,079,000		△ 8,432,000		0	0	18,647,000	23,163,923	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
放課後等に家庭において保護者の適切な監護を受けられない小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全な育成を図るため、学童クラブを運営する。 なお、平成27年度より、保護者の就労形態の多様化等に合わせ、より子育てしやすい環境を整備するため、学童クラブの開所時間を延長した。 学童クラブ数 16クラブ							節の内訳		金額
							01 報酬	74,487,840	
04 共済費	1,543,004								
07 賃金	35,430,608								
09 旅費	202,458								
11 需用費	7,424,230								
12 役務費	1,321,181								
13 委託料	678,311								
14 使用料及び 賃借料	276,255								
18 備品購入費	499,852								
19 負担金補助 及び交付金									
23 償還金利子 及び割引料	1,420,000								
	計		123,283,739						
							決算内訳		金額
							国庫支出金	27,969,000	
都支出金	33,920,000								
地方債									
その他	29,787,500								
一般財源	31,277,239								
精算額(国庫支出金)	330,000								
	計		123,283,739						
〔事業実績及び評価〕									
1 学童クラブ利用人数	144,157人								
2 延長育成利用人数	13,396人								



(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課	
	03	02	07	01		子ども政策課	
	児童館運営管理経費						
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	50,148,000	928,000	1,843,000		52,919,000	48,979,703	
26年度	48,178,000	7,276,000	△1,843,000		53,611,000	52,717,434	
増減額	1,970,000	△6,348,000	3,686,000	0	△692,000	△3,737,731	
〔事業概要〕					平成27年度決算額		
児童に健全な遊びを与え、健康な身体と豊かな情操を養うとともに、児童福祉の向上を図るため、7児童館と1児童館類似施設を運営する。 幼児及び保護者の交流の場である「幼児クラブ」や工作、料理等の各種教室を開催するほか、合同行事として「幼児クラブ合同運動会」、「こども芸術祭(展示の部)(舞台発表の部)」を実施する。					節の内訳		金額
					01 報酬	30,480,020	
〔事業実績及び評価〕 1 各児童館において、小学校児童を対象に様々な事業を実施した。 2 幼児と親を対象とした「幼児クラブ」及び乳児と親を対象とした「よちよちタイム」を実施した。 3 合同行事を実施した。 (1) 幼児クラブ合同運動会 実施日 平成27年10月9日 参加者 129人 (2) 児童館こども芸術祭(展示の部) 実施日 平成27年12月2日から12月5日まで 入場者 788人 (3) 児童館こども芸術祭(舞台発表の部) 実施日 平成28年3月5日 入場者 803人					04 共済費	1,647,226	
					07 賃金	6,982,982	
					08 報償費	1,819,000	
					11 需用費	4,611,526	
					12 役務費	725,133	
					13 委託料	1,577,993	
					14 使用料及び賃借料	624,824	
					16 原材料費	19,376	
					18 備品購入費	491,623	
					計	48,979,703	
					決算内訳		金額
					国庫支出金	1,049,072	
					都支出金	5,800,000	
					地方債		
					その他	178,000	
					一般財源	41,952,631	
					計	48,979,703	

科目	事業				事業名	主管課	
	03	02	08	01		子育て支援課	
	ひとり親家庭等医療費助成経費						
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	44,199,000				44,199,000	39,323,970	
26年度	38,993,000				38,993,000	39,427,556	
増減額	5,206,000	0	0	0	5,206,000	△103,586	
〔事業概要〕					平成27年度決算額		
医療機関で支払う医療費の助成。 医療機関において、受診時に市が発行する医療証を提示することにより、医療費(保険診療の自己負担分)が無料又は1割負担となる。 所得制限があり、本人及び扶養義務者等が制限を超過している場合は、医療証が発行されない。					節の内訳		金額
					09 旅費		
〔事業実績及び評価〕 1 受給者数 1,408人(647世帯) 2 医療費助成件数及び金額 (1) 現物支給 ・国保分 9,341件 21,878,361円 ・社保分 6,434件 14,064,993円 ・後期高齢分 4件 79,880円 計 15,779件 36,023,234円 (2) 現金給付 ・一般分 283件 770,747円 ・高額医療費分 0件 0円 ・柔道整復療養分 638件 1,158,584円 計 921件 1,929,331円 合計 16,700件 37,952,565円					11 需用費	14,580	
					12 役務費	79,138	
					13 委託料	1,277,687	
					20 扶助費	37,952,565	
					計	39,323,970	
					決算内訳		金額
					国庫支出金		
					都支出金	27,588,000	
					地方債		
					その他		
					一般財源	11,735,970	
					計	39,323,970	

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	03	02	08	02	乳幼児医療費助成事業経費		子育て支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	156,157,000						156,157,000	141,612,656	
26年度	159,595,000						159,595,000	141,449,324	
増減額	△ 3,438,000		0		0	0	△ 3,438,000	163,332	
【事業概要】							平成27年度決算額		
医療機関で支払う対象児童(小学校就学前)の医療費の助成。 医療機関において、受診時に市が発行する医療証を提示することにより、医療費(保険診療の自己負担分)が無料となる。							節の内訳		
【事業実績及び評価】							金額		
1 受給者数							07 賃金 353,730		
4,169人(都補助) 125人(市単独) 受給者数計 4,294人							09 旅費		
乳幼児数 4,539人 受給率 94.60%							11 需用費 20,368		
2 医療費助成件数及び金額(都補助)							12 役務費 200,598		
(1) 現物給付							13 委託料 6,222,321		
・国保分 15,023件 25,248,052円							20 扶助費 134,815,639		
・社保分 63,484件 103,878,832円							計 141,612,656		
計 78,507件 129,126,884円							決算内訳		
(2) 現金給付							金額		
・一般分 824件 2,325,863円							国庫支出金		
・柔道整復療養分 44件 41,758円							都支出金 73,851,000		
計 868件 2,367,621円							地方債		
合計 79,375件 131,494,505円							その他		
3 医療費助成件数及び金額(市単独)							一般財源 67,761,656		
(1) 現物給付							計 141,612,656		
・国保分 545件 712,700円									
・社保分 1,636件 2,505,464円									
計 2,181件 3,218,164円									
(2) 現金給付									
・一般分 12件 102,970円									
・柔道整復療養分 0件 0円									
計 12件 102,970円									
合計 2,193件 3,321,134円									

科目	事業				事業名		主管課		
	03	02	08	03	義務教育就学児医療費助成事業経費		子育て支援課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	152,399,000						152,399,000	152,492,268	
26年度	146,066,000						146,066,000	151,178,159	
増減額	6,333,000		0		0	0	6,333,000	1,314,109	
【事業概要】							平成27年度決算額		
医療機関で支払う対象児童(小中学生)の医療費の助成。 医療機関において、受診時に市が発行する医療証を提示することにより、入院、調剤及び訪問看護の医療費に係る保険診療の自己負担分が無料となる。また、通院(柔道整復の施術を含む)の医療費(通院1回あたり)に係る保険診療の自己負担は、200円が上限となる。 所得制限があり、所得を超過している場合は、医療証が発行されない。							節の内訳		
【事業実績及び評価】							金額		
1 受給者数 5,965人 児童数 7,024人 受給率 84.92%							07 賃金 267,565		
2 医療費助成件数及び金額							09 旅費		
(1) 現物給付							11 需用費 31,185		
・国保分 14,298件 29,314,159円							12 役務費 270,171		
・社保分 54,826件 114,929,402円							13 委託料 5,470,846		
計 69,124件 144,243,561円							20 扶助費 146,452,501		
(2) 現金給付							計 152,492,268		
・一般分 491件 1,156,077円							決算内訳		
・柔道整復療養分 1,155件 1,053,361円							金額		
計 1,646件 2,209,438円							国庫支出金 80,811,000		
歳出入 1件 △498円							地方債		
合計 70,769件 146,452,501円							その他		
							一般財源 71,681,268		
							計 152,492,268		

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課			
	03	02	09	01	子ども家庭支援センター事業経費		子育て支援課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	7,864,000		666,000				8,530,000	5,415,783		
26年度	4,088,000		566,000				4,654,000	4,145,301		
増減額	3,776,000		100,000		0	0	3,876,000	1,270,482		
【事業概要】							平成27年度決算額			
<p>子ども家庭支援センター事業は、ケースマネジメントの手法により、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携しながら子どもと家庭を支援するための東京都独自の制度で、地域において中核となって子どもと家庭のニーズに総合的かつきめ細かく対応をするためのシステムである。</p> <p>&lt;事業の主な内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭総合ケースマネジメント事業 (総合相談、在宅サービスの利用調整、情報提供等)</li> <li>地域の組織化事業(講座の実施、子育てグループの育成・活動支援等)</li> <li>要支援家庭サポート事業(見守りサポート事業、養育支援訪問事業)</li> <li>在宅サービス基盤整備事業(養育家庭の普及活動等)</li> <li>専門性の強化事業(虐待対策の強化等)</li> </ul> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 新規の相談件数 390件(年間)</p> <p>2 講座の開催等 49回 参加者1,110人 交流会等 3回 162人</p> <p>3 子育て関連情報の提供 ガイドブック 800部発行 通信誌 1,500部年4回発行</p> <p>4 要保護児童地域対策協議会の開催</p> <p>5 各種連絡会等の開催及び参加 165回</p> <p>新規の相談件数については、センターの周知等を積極的に行ってきたことから、増加の一途をたどっていたが、390件と一定の推移で留まった。グループ育成を目的とした講座について、ひろば事業が充実し、参加人数が減少している。</p>							節の内訳		金額	
							01 報酬			3,522,702
							04 共済費			389,796
							08 報償費			81,000
							09 旅費			41,710
							11 需用費			197,526
							12 役務費			319,924
							13 委託料			138,320
							14 使用料及び賃借料			44,405
							23 償還金利子及び割引料			664,000
27 公課費			16,400							
							計	5,415,783		
							決算内訳	金額		
							国庫支出金	105,000		
							都支出金	2,530,000		
							地方債			
							その他			
							一般財源	2,780,783		
							計	5,415,783		

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課								
	03	02	10	01	ファミリー・サポート・センター事業経費		子育て支援課								
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額							
27年度	3,302,000						3,302,000	2,944,651							
26年度	3,304,000						3,304,000	3,056,429							
増減額	△ 2,000		0		0	0	△ 2,000	△ 111,778							
【事業概要】							平成27年度決算額								
<p>地域において市民が相互に行う一時預り等の育児に関する援助活動を支援するため、ファミリー・サポート・センターを設置し、センター会員の募集や登録、講習会や交流会の実施、援助活動の調整などを行い、仕事と育児の両立ができる環境を整備し、地域住民の子育て支援と児童福祉の向上を図る。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 平成28年3月31日現在会員登録者数 708人 提供会員(援助を行う者) 201人 依頼会員(援助を受ける者) 486人 両方会員(提供会員と依頼会員の両方に登録している者) 21人</p> <p>2 年間活動件数 1,492件</p> <p>3 提供会員講習会、事業説明会及び開設10周年イベントの開催</p> <p>4 会報誌の発行、広報等による周知活動の実施</p> <p>開設10年が経過し、会員登録者の人数が初めて前年度末715人から708人と下回った。特に依頼会員の減少については、当初より登録していた児童が一定年齢に達し、また、他制度の充実に伴い退会したことが要因と思われる。提供会員については、微増で推移している。</p>							節の内訳		金額						
							01 報酬			2,286,848					
							08 報償費			78,000					
							09 旅費			10,580					
							11 需用費			68,907					
							12 役務費			402,999					
							14 使用料及び賃借料			97,317					
														計	2,944,651
														決算内訳	金額
														国庫支出金	981,000
							都支出金	1,430,000							
							地方債								
							その他								
							一般財源	533,651							
							計	2,944,651							

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	03	02	11	01	子育て世帯臨時特例給付金給付事業経費		子育て支援課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	40,058,000		0				40,058,000	35,764,844
26年度	103,326,000		12,000,000				115,326,000	104,705,557
増減額	△ 63,268,000		△ 12,000,000		0	0	△ 75,268,000	△ 68,940,713
【事業概要】							平成27年度決算額	
消費税率上げの影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特例的な給付措置を前年度に引き続き行う。 ・給付額 児童一人あたり3,000円							節の内訳	金額
【事業実績及び評価】							03 職員手当等	186,114
1 申請件数 6,370人(対象児童数10,824人)							07 賃金	1,342,063
2 支給決定数 6,037人(対象児童数10,290人)							09 旅費	
3 不支給決定 333人(対象児童数534人)							11 需用費	270,270
							12 役務費	931,437
							13 委託料	1,119,960
							19 負担金補助及び交付金	30,870,000
							23 償還金利子及び割引料	1,045,000
							計	35,764,844
							決算内訳	金額
							国庫支出金	34,798,000
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	1,045,844
							次年度精算金	△ 79,000
							計	35,843,844

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	03	03	01	07	就労支援員事務事業経費		生活福祉課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,040,000						1,040,000	1,020,000
26年度	1,040,000						1,040,000	1,030,000
増減額	0		0		0	0	0	△ 10,000
【事業概要】							平成27年度決算額	
被保護者に対し、就労に関する専門的な助言及び指導を行うことにより、被保護者の就労を促進し、経済的自立を図るため、生活保護就労支援員を配置する。							節の内訳	金額
【事業実績及び評価】							01 報酬	1,020,000
就労支援員とケースワーカーとの連携により、被保護者56人に対して面接・相談等の就労支援を行うとともに、対象者のうち11人をハローワークが実施する生活保護受給者等就労自立促進事業につなげた。その結果、就労支援を行った56人のうち21人を就労につなげることができた。							計	1,020,000
							決算内訳	金額
							国庫支出金	780,000
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	255,000
							次年度清算額	△15,000
							計	1,020,000

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	03	03	02	01	生活保護法内援護措置事業経費		生活福祉課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,730,656,000		74,471,000				1,805,127,000	1,696,301,386	
26年度	1,677,970,000		75,310,000				1,753,280,000	1,705,207,352	
増減額	52,686,000		△839,000		0	0	51,847,000	△8,905,966	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
生活保護法により、被保護世帯に対して最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助等の扶助費を支給する。							節の内訳		金額
							20 扶助費		
〔事業実績及び評価〕							23 償還金利子及び割引料		74,470,314
									計 1,696,301,386
保護費支払内訳 ・生活扶助 463,845,812円(対前年度比4.91%減) ・住宅扶助 322,455,978円(対前年度比0.67%減) ・教育扶助 10,407,286円(対前年度比9.66%減) ・介護扶助 42,005,704円(対前年度比7.20%増) ・医療扶助 769,006,570円(対前年度比2.63%増) ・生業扶助 2,767,076円(対前年度比44.70%減) ・葬祭扶助 2,570,438円(対前年度比9.22%増) ・就労自立給付金 580,148円(対前年度比213.90%増) ・保護施設事務費 8,192,060円(対前年度比17.27%減) 被保護世帯は、昨年度と比較して微増したものの、世帯員は減少したことなどにより、生活扶助は減額となった。一方、被保護者の高齢化が進んでおり、介護扶助や医療扶助が増加している中、特に医療費については、他法優先の原則を再確認し、制度申請につなげるなど、医療の適正化に努めたことは、医療扶助の抑制につながった。							決算内訳		金額
							国庫支出金		
都支出金				72,401,913					
地方債									
その他									
一般財源				442,538,558					
次年度清算額				△38,904,127					
				計 1,696,301,386					

科目	事業				事業名		主管課		
	03	03	02	02	生活保護法外援護措置事業経費		生活福祉課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	4,019,000						4,019,000	2,048,928	
26年度	3,797,000						3,797,000	1,648,280	
増減額	222,000		0		0	0	222,000	400,648	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
生活保護法による被保護者の自立を図るために、自立支援に要する経費の一部を支給する。また、被保護世帯の自立助長を図るために、世帯に属する学童及び生徒に対して、健全育成事業を実施し、必要な経費を支給する。							節の内訳		金額
							20 扶助費		
〔事業実績及び評価〕							計		2,048,928
							1 健全育成事業 1,414,000円		
(1) 修学旅行支度金		76,800円							
(2) 学童服及び運動衣購入金		1,069,900円							
(3) 夏季健全育成費		267,300円							
2 自立促進事業 634,928円									
(1) 就労支援		8,424円							
(2) 社会参加活動支援		7,054円							
(3) 地域生活移行支援		571,080円							
(4) 次世代育成支援		48,370円							
事業実施については、ケースワーカーと経理担当が連携し、迅速な手続きを行った。一方、健全育成事業は、年齢要件等により支給するが、自立促進事業については、申請行為となることから、対象となる者の状況把握など、更なる支援に努めていく必要がある。							決算内訳		金額
国庫支出金									
都支出金							2,814,000		
地方債									
その他									
一般財源							928		
次年度清算額							△766,000		
							計 2,048,928		

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	03	05	01	01		災害救助経費	生活福祉課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	210,000						210,000	30,000
26年度	210,000						210,000	50,000
増減額	0		0		0	0	0	△ 20,000
〔事業概要〕 暴風、豪雨、地震その他異常な自然現象、火事その他これらに類する事故から生ずる被害による被災者又はその遺族に対し、見舞金又は弔慰金を支給する。						平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 住宅の全焼 1件 見舞金 30,000円 週休日に発生した建物火災であったが、地域防災課、施設営繕課と連携を図りながら状況把握に努め、即日、見舞金を支給することができた。また、課税課や生活環境課と連携し、被災者が各種減免措置等を適正に行えるように努めた。						節の内訳		金額
						11 需用費		
						14 使用料及び賃借料		
						20 扶助費		30,000
						計		30,000
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		30,000
						計		30,000

科目	事業				事業名	主管課		
	04	01	01	03		休日診療事業経費	健康課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	10,708,000						10,708,000	10,687,926
26年度	10,708,000						10,708,000	10,687,818
増減額	0		0		0	0	0	108
〔事業概要〕 休日の昼間及び準夜間における急病患者に対する診療事業を、一般社団法人あきる野市医師会に所属している市内の医療機関に委託する。						平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 休日・準夜診療(日曜、祝日、年末年始) 午前9時～午後5時、午後5時～午後9時 診療実施日数 72日 休日受診者数 2,831人 準夜受診者数 769人  休日の急病患者の早期受診に対応できた。						節の内訳		金額
						11 需用費		223,560
						13 委託料		10,464,366
						計		10,687,926
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		5,785,000
						地方債		
						その他		
						一般財源		4,902,926
						計		10,687,926

科目	事業				事業名	主管課		
	04	01	01	08		畜犬登録事務等に要する経費	健康課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,189,000					△ 22,000	1,167,000	1,066,690
26年度	1,252,000					△ 22,000	1,230,000	1,162,928
増減額	△ 63,000		0		0	0	△ 63,000	△ 96,238
〔事業概要〕 狂犬病予防法の規定に基づく犬の登録、狂犬病予防注射済票の交付、犬の転出入台帳処理事務、犬猫の公示、狂犬病予防注射の集団注射等を実施する。 ・毎年22か所で5日間実施						平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 1 集団注射 実施日 4月20日から24日まで 実施件数 882件 市内22か所で集団注射を実施することにより、接種に行きやすく接種率の向上につながった。 2 畜犬登録等 新規登録、鑑札交付、注射済票交付、捕獲犬の拘留に関する公示						節の内訳		金額
						07 賃金		116,485
						11 需用費		329,089
						12 役務費		308,780
						14 使用料及び賃借料		312,336
						計		1,066,690
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		1,066,690
						一般財源		
						計		1,066,690

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課				
	04	01	01	10	休日歯科応急診療事業経費		健康課				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額			
27年度	3,205,000						3,205,000	3,204,524			
26年度	3,041,000						3,041,000	3,020,244			
増減額	164,000		0		0	0	164,000	184,280			
〔事業概要〕							平成27年度決算額				
休日の昼間における急病患者に対する診療事業を、西多摩歯科医師会に所属している市内の医療機関に委託する。事業の実施に当たっては、本市、福生市及び日の出町の2市1町が協力して行うこととし、本市担当分については、西多摩歯科医師会が市内の歯科医師会に対し、割り振りをを行う。  〔事業実績及び評価〕 ・休日診療(日曜、祝日、年末年始)午前9時～午後5時 ・診療実施日数 44日 ・休日受診者数 87人 休日の急病患者の早期受診に対応できた。							節の内訳		金額		
							13 委託料				3,204,524
							計				3,204,524
〔事業実績及び評価〕							決算内訳		金額		
							国庫支出金				
							都支出金				1,986,000
							地方債				
							その他				
一般財源				1,218,524							
計				3,204,524							

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課				
	04	01	02	01	予防接種事業経費		健康課				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額			
27年度	202,284,000		0			△ 248,000	202,036,000	167,698,740			
26年度	204,045,000		13,718,000			△ 2,000	217,761,000	179,595,332			
増減額	△ 1,761,000		△ 13,718,000		0	△ 246,000	△ 15,725,000	△ 11,896,592			
〔事業概要〕							平成27年度決算額				
予防接種法等の規定に基づき定められた疾病及び対象者に対して、感染予防、発病予防、重症化予防、感染症のまん延予防を目的とし定期予防接種を実施する。 また、先天性風しん症候群の発生を予防し、妊婦の健康の保持を目的とした任意予防接種を実施する。							節の内訳		金額		
							01 報酬				2,383,200
							07 賃金				2,389,123
11 需用費				65,532,178							
12 役務費				1,176,001							
13 委託料				90,802,353							
20 扶助費				5,415,885							
計				167,698,740							
〔事業実績及び評価〕							決算内訳		金額		
							国庫支出金				
							都支出金				22,368,913
							地方債				
							その他				230,854
一般財源				145,098,973							
計				167,698,740							
1 集団予防接種(BCG) 実施日数 24日 実施場所 あきる野保健相談所、五日市保健センター 2 個別予防接種 (四種混合、三種混合、不活化ポリオ、二種混合、麻しん・風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん、水痘、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌) 実施日 通年(インフルエンザは、10月中旬から翌1月末日) 実施場所 市内指定医療機関(25医療機関) インフルエンザは、西多摩8市町村相互乗入で実施(161医療機関) 3 任意予防接種(先天性風しん症候群対策風しん予防接種) 実施日 通年 実施場所 市内指定医療機関(22医療機関) 予防接種対象者への勧奨により、予防接種の必要性について周知を図り、予防接種の実施により、疾病の感染及びまん延予防が図られた。											

(単位：円)

科目	款 項 目			事業 名			主 管 課	
	04	01	02	03	母子保健事業経費		健康課	
区 分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	88,908,000		284,000				89,192,000	76,653,110
26年度	90,055,000		1,120,000				91,175,000	83,249,592
増減額	△ 1,147,000		△ 836,000		0	0	△ 1,983,000	△ 6,596,482
【事業概要】							平成27年度決算額	
母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るために、乳幼児健診のほか、各種相談事業、訪問指導、健康教育等を行う。							節の内訳	金額
							01 報酬	18,089,880
【事業実績及び評価】							04 共済費	992,212
							07 貸金	4,549,989
1 乳幼児健康診査(3~4か月児、1歳6か月児、3歳児) 対象者数1,811人 受診者数1,784人 受診率98.5%							08 報償費	349,940
							09 旅費	39,865
2 心理相談(3歳児経過観察健康診査、1歳6か月児経過観察健康診査) 個別相談 実人員90人(延べ153人) グループ指導 各12回 実人員43人(延べ205人)							11 需用費	1,550,482
							12 役務費	300,836
3 妊婦健康診査(医療機関委託・個別) 1回目~14回目 受診者数延べ6,116人							13 委託料	47,068,711
							18 備品購入費	169,236
4 里帰り等妊婦健康診査受診費助成 助成人数54人 1回目~14回目 受診者数延べ331人							19 負担金補助及び交付金	32,400
							20 扶助費	3,227,295
5 新生児訪問・こんにちは赤ちゃん事業 出生数570人 訪問数569人 訪問率99.8%(訪問時不在等1人)							23 償還金利子及び割引料	282,264
							計	76,653,110
6 6~7か月児健康診査・9~10か月児健康診査 受診者数1,062人							決算内訳	金額
							国庫支出金	1,080,000
7 訪問指導実施状況(妊婦、産婦、新生児、未熟児、その他) 実人員897人(延べ919人)							都支出金	2,604,727
							地方債	0
8 保健指導(妊婦、産婦、乳児、幼児、その他) 1,177人							その他	248,279
							一般財源	73,365,724
9 育児相談(あきる野保健相談所、五田市保健センター) 合計36回 乳児544人 幼児715人							次年度精算額	△ 645,620
							計	76,653,110
10 母親学級 ・母性科(ハッピーベビークラブ) 平日コース 4回(12日)受講者数78人(延べ133人) 土曜日コース 4回(4日)受講者数92人 ・育児科(離乳食教室) 1回食、2~3回食、幼児食 合計22回 受講者数212人 親子料理教室 2回 受講者数13組								
11 歯科健診 ・一般及び幼児歯科健康診査 合計53回 1,248人 ・乳幼児歯科相談 歯科健康診査52回 1,394人 予防処置(フッ化物塗布)159回 1,468人 ・歯科健康教育 4事業 合計55回 1,199人								
12 栄養指導(妊産婦、乳幼児) 集団指導 合計138回 延べ1,567人、個別栄養指導513人								
13 乳幼児発達健診 実人員28人(延べ66人)								
14 乳幼児経過観察健診 実人員27人(延べ55人)								
15 妊娠届受理件数 490件								
16 出生通知表受理件数 517件								
17 未熟児養育医療助成 ・医療券認定6件 ・医療費助成7件 (医療助成金額1,633,513円、徴収金248,279円)								
18 東京都子ども医療費助成申請書等受理件数 小児慢性疾患医療費助成申請書同意書54件、変更届8件 各乳幼児健診の未受診者には、再通知及び電話掛け、訪問等により受診勧奨を行うことにより受診率の向上に努めた。また、各育児相談、教室等についても各健診や市報等を活用し周知を徹底し、参加率の向上に努めた。								



(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課
	04	01	02	04		
	乳児家庭訪問事業経費					健康課
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,206,000				1,206,000	1,205,280
26年度	1,206,000				1,206,000	1,187,610
増減額	0	0	0	0	0	17,670
【事業概要】 「こんにちは赤ちゃん訪問」として、新生児訪問をしていない家庭を中心に生後4か月を経過しない乳児のいる家庭を訪問して、相談及び助言を行う。					平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 新生児訪問(生後2か月まで)・こんにちは赤ちゃん事業(生後4か月まで) 出生者数 570人 訪問数 新生児訪問数 350人 こんにちは赤ちゃん訪問 219人 訪問率 99.8% 長期の里帰りのため、1件訪問ができなかったが、100%に近い訪問ができた。平成28年度も引き続き実施していく。					節の内訳	
					01 報酬	870,480
					07 賃金	334,800
					計	1,205,280
					決算内訳	
					国庫支出金	401,760
					都支出金	401,760
					地方債	
					その他	
					一般財源	401,760
					計	1,205,280

科目	事業				事業名	主管課
	04	01	03	01		
	市民の健康づくり事業に要する経費					健康課
区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	47,122,000				47,122,000	41,931,110
26年度	43,772,000				43,772,000	41,298,221
増減額	3,350,000	0	0	0	3,350,000	632,889
【事業概要】 市民が健康で明るい生活を送るため、健康増進法第17条第1項に基づく健康増進事業として、健康手帳の交付、健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導の事業を進める。また、同法第19条の2に基づく健康増進事業として、肝炎ウイルス検診等を実施する。 各種事業の実施に当たっては、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健診・保健指導及び後期高齢者医療広域連合が行う保健事業等との連携を十分に図り、受診者の利便性に配慮する。 平成27年度からは、40歳と60歳の市民に健(検)診の受診勧奨を行う。 また、市民の健康増進のため、健康づくり市民推進委員の活動を推進する。					平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 1 健康手帳の交付 2,893人 2 健康教育事業 ・健康測定会 実施回数 32回 延べ参加人数 878人 ・健康教室「美食健」 実施回数 3回 延べ参加人数 51人 ・病態別教育(乳がん) 実施回数 5回 延べ参加人数 96人 ・中学生福祉体験 参加人数 170人 3 健康相談事業 ・重点健康相談 (歯周疾患) 相談延べ人数 27人 (骨粗しょう症) 相談延べ人数 70人 ・総合健康相談 (保健) 相談延べ人数 1,056人 (栄養) 相談延べ人数 523人 4 検診事業 ・肝炎ウイルス検診 受診者数 1,010人 ・結核検診 受診者数 8,476人 ・生活習慣病予防健康診査 受診者数 111人 ・生活保護受給者健康診査 受診者数 156人 ・訪問健康診査 受診者数 10人 5 健康づくり推進協議会 3回開催 6 健康づくり推進委員会 ・会議 実施回数 17回 延べ出席者数 278人 ・研修会 実施回数 7回 延べ出席者数 165人 ・行事等への参加 6回 延べ出席者数 175人 ・ブロック活動 実施回数 14回 延べ出席者数 128人 ・町内会・自治会活動 開催回数 541回 延べ出席者数 927人 特定健診・後期高齢者健診との連携を図り、健康相談や各種検診を実施した。 40・60の節目年齢の方に健(検)診ガイドを同封した通知を送付し、市の健診の受診勧奨をした。 市民推進委員会の地域に根ざした活動により、広く市民に健康づくりに関心を持っていただき、地域のつながりを実践することができた。 このような事業の実施により、市民の健康意識の高揚と健康の維持増進を図ることができた。					節の内訳	
					01 報酬	3,658,240
					04 共済費	76,244
					08 報償費	2,560,083
					09 旅費	89,461
					11 需用費	2,130,126
					12 役務費	895,958
					13 委託料	31,313,944
					14 使用料及び賃借料	823,136
					18 備品購入費	383,918
					計	41,931,110
					決算内訳	
					国庫支出金	
					都支出金	8,899,000
					地方債	
					その他	
					一般財源	33,032,110
					計	41,931,110

(単位:円)

科目	事業				事業名	主管課		
	04	01	03	02		健康あきる野21計画推進事業経費	健康課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,134,000						1,134,000	1,026,204
26年度	972,000						972,000	862,585
増減額	162,000		0		0	0	162,000	163,619
<b>【事業概要】</b> 健康増進計画「めざせ健康あきる野21」に基づき、市民との協働と事業への参画で健康づくりを進める。実施に当たり、市民を子育て世代、働き盛り世代、高齢者世代と世代間共通の4つに分け、それぞれのめざす健康の目標を具体的に定め、事業を推進する。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
<b>【事業実績及び評価】</b> 1 推進会議 実施回数12回 延べ参加者数 475人 2 ふれあいウォーク 実施回数6回 延べ参加者数 641人 3 ウォーキング講習会 実施回数2回 延べ参加者数 32人 4 簡単料理レシピ講習会 実施回数2回 延べ参加者数 51人 5 「簡単料理レシピ」地域講習会 実施回数2回 延べ参加者数 90人 6 「簡単料理レシピ」出前講座 実施回数5回 延べ参加者数137人 7 周知班による周知活動 実施回数10回 8 あきる野健康川柳の募集 応募数301作品 9 めざせ健康あきる野21講座 実施回数2回 延べ参加者数175人 10 ちょこっとサポート 実施回数9回 11 あきる野市制施行20周年記念 「みんなで歩こう!わが街の「味力」発見!?」参加者222人 市民ボランティアである健康あきる野21推進会議のメンバーを中心に、ウォーキング・周知・食育・子育ての4つの観点から事業を実施することで、市民の健康づくりの意識の高揚と健康増進を図ることができた。						08 報償費	30,000	

科目	事業				事業名	主管課		
	04	01	03	03		骨粗しょう症検診事業経費	健康課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	463,000						463,000	286,257
26年度	441,000						441,000	322,446
増減額	22,000		0		0	0	22,000	△ 36,189
<b>【事業概要】</b> 骨粗しょう症は、骨折等の基礎疾患となり、高齢社会の進展によりその増加が懸念される。このため、早期に骨量減少者を発見し、予防に向けた生活習慣の改善指導等を行うため、骨粗しょう症検診を実施する。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
<b>【事業実績及び評価】</b> 対象者 市内在住の40・45・50・55・60・65・70歳の女性 実施期間 8月28日・29日 受診者 124人 受診者自身が自分の骨密度を知ること、生活習慣の改善や骨折等の疾患予防のきっかけづくりになった。						08 報償費	15,600	

(単位：円)

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課
	04	01	03		04	歯周疾患検診事業経費		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	3,118,000						3,118,000	2,488,148
26年度	3,365,000						3,365,000	2,570,486
増減額	△ 247,000		0		0	0	△ 247,000	△ 82,338
【事業概要】								平成27年度決算額
歯の喪失を予防することは、食べる楽しみを享受し、健康で快適な高齢期を迎えるための重要な要件である。疾病を早期発見するとともに、健康自立への啓発を行うため、歯周疾患検診を実施する。								節の内訳
【事業実績及び評価】								金額
対象者 市内在住の40・50・60・70歳の者								08 報償費
実施期間 10月1日から12月25日まで								11 需用費
受診者数 429人								12 役務費
高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう歯の喪失を予防するきっかけづくりとなった。								13 委託料
								計
								2,488,148
								決算内訳
								金額
								国庫支出金
								都支出金
								1,187,000
								地方債
								その他
								一般財源
								1,301,148
								計
								2,488,148

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課
	04	01	03		05	「ふれあい いきがい 元気なまち」健康推進事業経費		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	688,000						688,000	667,751
26年度	516,000						516,000	509,273
増減額	172,000		0		0	0	172,000	158,478
【事業概要】								平成27年度決算額
市民が普段の生活で実践できるウォーキングや農作業等の事業を実施し、市民のいきがづくりの一助とする。事業の実施に当たっては、健康に関する情報提供を行い、市民が健康で明るい生活を送るための健康づくりを推進する。								節の内訳
【事業実績及び評価】								金額
・ふるさと農援隊 会員数52人								08 報償費
・ウォーキング指導者講習会 実施回数2回 延べ参加者32人								11 需用費
健康増進を目的として、ウォーキングに必要な基礎知識などの講習会の実施や、農作業等を実施することで、市民のいきがづくりの一助とすることができた。								14 使用料及び賃借料
								計
								667,751
								決算内訳
								金額
								国庫支出金
								都支出金
								293,000
								地方債
								その他
								356,000
								一般財源
								18,751
								計
								667,751

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課
	04	01	03		06	健康のつどい事業経費		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,484,000						2,484,000	2,328,226
26年度	2,513,000						2,513,000	2,448,113
増減額	△ 29,000		0		0	0	△ 29,000	△ 119,887
【事業概要】								平成27年度決算額
あきる野ルビア及び秋留野広場を会場として、展示、体験、測定等の事業を行い、多くの市民の参加を促す。また、疫病予防と意識の向上のため、健康の三要素の「栄養」「運動」「休養」が日常生活にバランスよく取り入れられるように広く周知する。								節の内訳
【事業実績及び評価】								金額
祝 あきる野市制施行20周年 第20回 あきる野市健康のつどい								08 報償費
開催日 10月17日								11 需用費
会場 あきる野ルビア、秋留野広場								12 役務費
来場者数 延べ11,298人								13 委託料
内容 展示、体験、測定・相談、講演、活動発表、PR、子育て、憩い、薬物乱用防止啓発活動、愛の献血等								14 使用料及び賃借料
広く市民や関係団体に呼びかけを実施したことで、多くの参加者があり、健康意識の高揚と健康の維持増進とともに、疾病予防のきっかけづくりとなった。								計
								2,328,226
								決算内訳
								金額
								国庫支出金
								都支出金
								1,101,000
								地方債
								その他
								一般財源
								1,227,226
								計
								2,328,226

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	04	01	03	07	働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業		健康課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	9,665,000		△ 9,665,000				0	0	
26年度	11,411,000		0				11,411,000	15,310,289	
増減額	△ 1,746,000		△ 9,665,000		0	0	△ 11,411,000	△ 15,310,289	
<p>【事業概要】</p> <p>検診によって自覚症状のない早期のがんを発見し、早期治療へとつなげる。特定の年齢に達した女性に対しては、検診手帳及び検診無料クーポンを送付し、働く世代の女性のがん検診の受診を促進する。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>国の補助事業が廃止されたため事業実績なし。</p>							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							07 賃金		
							11 需用費		
							12 役務費		
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
20 扶助費									
		計	0						
決算内訳		金額							
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源									
		計	0						

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	04	01	03	08	がん検診事業経費		健康課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	89,804,000		9,623,000			0	99,427,000	88,543,864	
26年度	89,459,000		0			△ 4,052,000	85,407,000	80,009,744	
増減額	345,000		9,623,000		0	4,052,000	14,020,000	8,534,120	
<p>【事業概要】</p> <p>がんの早期発見と正しい健康意識の啓発のため、がん検診を実施する。健康増進法及びあきる野市の健康増進計画「めざせ健康あきる野21」に基づき、検診の周知を行うことによって受診を促進する。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>胃がん検診 受診者数 5,058人</li> <li>肺がん検診 受診者数 5,240人</li> <li>大腸がん検診 受診者数 11,238人</li> <li>乳がん検診 受診者数 3,124人</li> <li>子宮がん検診 受診者数 2,771人</li> <li>前立腺がん検診 受診者数 4,219人</li> </ul> <p>健康課が行う事業等で検診の周知を行うとともに、多くの市民が検診を受診できるように機会を設け、受診を促進することで、がんの早期発見と健康意識の啓発ができた。</p>							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							07 賃金		2,992,265
							09 旅費		10,480
							11 需用費		1,265,797
12 役務費		4,264,461							
13 委託料		80,008,861							
20 扶助費		2,000							
		計	88,543,864						
決算内訳		金額							
国庫支出金		1,311,000							
都支出金		558,000							
地方債									
その他									
一般財源		86,674,864							
		計	88,543,864						

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	04	01	04	03	環境政策一般経費		環境政策課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	6,116,000		856,000				6,972,000	6,026,153	
26年度	6,045,000		84,000				6,129,000	4,961,145	
増減額	71,000		772,000		0	0	843,000	1,065,008	
【事業概要】							平成27年度決算額		
あきる野市環境基本条例に基づき策定した「環境基本計画」により、計画に沿った環境施策を推進する。 なお、平成27年度に計画年度が満了する環境基本計画について、平成28年度以降の計画を策定(2か年事業：平成26・27年度)する。							節の内訳		金額
							01 報酬		
【事業実績及び評価】							08 報償費		567,854
							09 旅費		53,538
1 第二次あきる野市環境基本計画の検討 あきる野市環境基本計画の計画期間が終了することから、第二次あきる野市環境基本計画を策定した。 あきる野市環境基本計画市民検討委員会 開催回数 5回							11 需用費		1,460,028
							12 役務費		136,150
2 あきる野市環境委員会の運営 あきる野市環境委員会 活動回数 13回(知る活動等含む)							13 委託料		2,670,000
							14 使用料及び賃借料		130,683
3 グリーンカーテン普及事業の実施 (1) グリーンカーテンコンテストの実施 参加者数 住宅部門17組、団体部門4組							19 負担金補助及び交付金		4,500
							23 償還金利子及び割引料		856,000
(2) グリーンカーテン用のゴーヤの苗等の市民配布(リサイクルフェア) 苗(ゴーヤ)900ポット、種(ゴーヤ、アサガオ)250袋 市民及び事業者との協働の下、あきる野市環境基本計画に基づく各種施策を推進するとともに、第二次あきる野市環境基本計画の策定に至った。							27 公課費		14,400
							計		6,026,153
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		663,900
							一般財源		5,362,253
							計		6,026,153

科目	事業				事業名		主管課		
	04	01	04	04	横沢入里山保全事業経費		環境政策課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	4,191,000		0				4,191,000	4,184,226	
26年度	3,851,000		296,000				4,147,000	4,143,051	
増減額	340,000		△296,000		0	0	44,000	41,175	
【事業概要】							平成27年度決算額		
横沢入地区は、五日市丘陵とそれに囲まれた盆地とからなる地域で、標高は約190mから310m程度である。 里山を構成する谷戸部は、草堂の入、宮田の入など七つの谷戸から構成され、谷戸頭から水が湧出し、細流となって中央で一つの流れとなり、秋川に注いでいる。丘陵部は馬蹄形の配置をなす特異な形状で、古くから植林が行われてきた地域である。 平成18年1月5日、東京都の指定第一号として、485,675.43㎡の区域が里山保全地域に指定された。都は、明るく開けた里山の景観を復元し、保全していくため、都民ボランティア、地域住民、農林業団体等で構成する協議会を設置し、保全事業を進めている。当市も協議会に参加するとともに、都からの受託事業として、施設等の管理(湿地管理、支障木処理、ごみ処理、パトロール、トイレ清掃、設備点検、施設補修など)を実施する。							節の内訳		金額
							11 需用費		345,644
【事業実績及び評価】							12 役務費		5,500
							13 委託料		3,833,082
1 横沢入里山運営協議会への出席 開催日 平成27年9月4日							計		4,184,226
							決算内訳		金額
2 拠点施設等の管理 東京都からの委託により、業者委託により横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。 (1) 里山保全地域管理業務 2,354,400円 (2) 拠点施設管理・清掃等業務 857,466円 (3) 浄化槽保守点検業務 70,416円 (4) 支障木伐採等業務 550,800円 横沢入里山保全地域の適正な管理が図られた。							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		4,184,226
							一般財源		
							計		4,184,226

(単位:円)

科目	事業				事業名	主管課		
	04	01	04	05			河川及び園地の清掃に要する経費	生活環境課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	10,517,000						10,517,000	9,811,329
26年度	10,663,000						10,663,000	10,203,180
増減額	△146,000		0		0	0	△146,000	△391,851
【事業概要】							平成27年度決算額	
生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、年2回、市内全域での一斉清掃を実施するとともに、年間を通じて河川・園地の清掃等を行う。							節の内訳	
【事業実績及び評価】							金額	
1 あきる野市一斉清掃							08 報償費	351,000
・5月31日 参加人員 16,170人							11 需用費	270,769
・11月29日 参加人員 15,161人							12 役務費	17,270
2 市内小中学校PTAによる河川等清掃							13 委託料	9,162,390
参加人員 5,443人							27 公課費	9,900
3 町内会等による河川清掃							計	9,811,329
参加人員 470人							決算内訳	
4 シルバー人材センターによる河川等パトロール							国庫支出金	
委託延べ人員 232人							都支出金	4,121,280
市内全域を清掃する一斉清掃等の実施により、都市環境の保全に努めた。							地方債	
							その他	
							一般財源	5,690,049
							計	9,811,329

科目	事業				事業名	主管課		
	04	01	04	07			ごみ不法投棄防止対策に要する経費	生活環境課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,649,000					△1,000	2,648,000	2,407,030
26年度	2,723,000					0	2,723,000	2,375,614
増減額	△74,000		0		0	△1,000	△75,000	31,416
【事業概要】							平成27年度決算額	
市内の不法投棄防止対策のため、パトロール及び回収作業を委託する。また、不法投棄防止の看板を作成し、必要に応じ設置する。							節の内訳	
【事業実績及び評価】							金額	
1 不法投棄防止パトロール(週2回 年間101日間)							11 需用費	
・回収件数 1,030件							12 役務費	148,210
・回収量 13.45トン							13 委託料	2,258,820
2 不法投棄防止看板作成 60枚							計	2,407,030
不法投棄を禁止する看板を設置するなど、不法投棄の抑制が図れた。							決算内訳	
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	1,030,780
							一般財源	1,376,250
							計	2,407,030

(単位：円)

科目	事業				事業名 郷土の恵みの森づくり事業経費	主管課 環境政策課		
	04	01	04	52				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	5,682,000					0	5,682,000	5,031,232
26年度	6,113,000					90,000	6,203,000	5,604,739
増減額	△ 431,000		0		0	△ 90,000	△ 521,000	△ 573,507
【事業概要】						平成27年度決算額		
平成22年3月に策定した「あきる野市郷土の恵みの森構想」及び平成23年3月に策定した「あきる野市郷土の恵みの森づくり基本計画」に基づき、地元住民による昔道・尾根道補修等事業や景観整備・維持管理事業に対する交付金の拠出、清流保全対策のためのホタルの里づくり推進事業に対する補助金の交付などを実施し、郷土の恵みの森づくりを推進する。						節の内訳		金額
						09 旅費		
				11 需用費			282,856	
				12 役務費			31,200	
				13 委託料			267,236	
				14 使用料及び賃借料			147,970	
				19 負担金補助及び交付金			4,223,340	
				計			5,031,232	
【事業実績及び評価】						決算内訳		
1 昔道・尾根道補修等事業 7つの町内会・自治会等の10箇所において取組が行われている。						金額		
						国庫支出金		
2 景観整備事業 10の自治会等の13箇所において取組が行われている。						金額		
						都支出金		2,498,000
3 森林サポーターレンジャーあきる野の活動 支援回数 7回 延参加人数 52人						金額		
						地方債		
4 ホタルの里づくり推進事業 5団体により、取組が行われている。						金額		
						その他		2,835,394
5 あきる野市生物多様性地域連携保全活動計画の策定 町内会・自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等が23箇所において行われており、郷土の恵みの森づくり事業が進められている。 また、あきる野市郷土の恵みの森づくり基本計画は、平成28年3月で計画期間が終了となることから、本計画の第二次計画を包含した、あきる野市生物多様性地域連携保全活動計画を策定し、今後の地域ごとの具体的な取組を示した。						金額		
						次年度精算金		△ 302,162
						計		5,031,232

科目	事業				事業名 郷土の恵みの森づくり森林レンジャー経費	主管課 環境政策課		
	04	01	04	53				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	19,439,000					0	19,439,000	18,585,954
26年度	20,394,000					608,000	21,002,000	20,591,296
増減額	△ 955,000		0		0	△ 608,000	△ 1,563,000	△ 2,005,342
【事業概要】						平成27年度決算額		
郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるために組織した「森林レンジャーあきる野」は、地元住民との連携を基本に、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施している。また、市内の森林の整備状況や健全性、季節ごとの変遷、動植物の生息・生育状況などをきめ細かに調査・把握し、報告するとともに、滝や沢、巨木といった地域活性化につながる地域資源の掘り起こしや活用方法の検討、森林の利用マナーの啓発も行うとともに、森とその周辺にある地域資源のもつ魅力を、市内外に向けて発信している。さらに、人と野生動物の棲み分けを目的とした、アニマルサンクチュアリの活動に取り組んでいる。また、森の子コレンジャーについてもあきる野市の自然と文化を守り引継ぎ、郷土愛を持った人材を育てることを目的とした活動に取り組んでいる。平成26年度の第4期森の子コレンジャーは、公募で募集した小学校4年生から6年生までの20人が、5月に始動式を行い、小宮ふるさと自然体験学校を拠点として年間を通じて活動している。						節の内訳		金額
						01 報酬		
				04 共済費			2,040,816	
				11 需用費			843,679	
				12 役務費			52,740	
				14 使用料及び賃借料			1,235,519	
				27 公課費			13,200	
				計			18,585,954	
【事業実績及び評価】						決算内訳		
1 市内小中学校の校外学習 12回						金額		
						国庫支出金		
2 講演、研修等 19回						金額		
						都支出金		1,333,000
3 森の子コレンジャー活動 14回						金額		
						地方債		
4 イベント等出展・解説 5回						金額		
						その他		10,870,000
5 地域との協働の森づくり 14回 森林レンジャーあきる野については、市内の森において四季を通じて動植物の生息・生育状況を含む森林の健全性及び整備状況の調査、滝や沢、巨樹・巨木などの地域資源の調査を活動当初より継続して取り組んでいる。これらの調査結果は、郷土の恵みの森構想や生物多様性あきる野戦略等の基礎データとして活用しているとともに、広報への掲載や森林レンジャーあきる野新聞において、市内外へ向けて広く情報発信している。						金額		
						次年度精算金		△ 356,268
						計		18,585,954

(単位:円)

科目	事業				事業名	主管課			
	04	01	04	55					
					小宮自然体験学校運営事業経費	環境政策課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	11,768,000		△ 1,900,000			0	9,868,000	8,207,464	
26年度	12,010,000		245,000			△ 93,000	12,162,000	11,035,711	
増減額	△ 242,000		△ 2,145,000		0	93,000	△ 2,294,000	△ 2,828,247	
【事業概要】						平成27年度決算額			
<p>地域や自然環境に対する正確な知識と地域や自然を大切に思う気持ちを統合させた環境教育を推進するため、平成24年度に開校した小宮ふるさと自然体験学校において、自然体験事業や自然環境教育活動を実施する。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 市主催の自然体験・環境教育事業 開催数 8回 参加人数 延べ 67人</p> <p>2 受入による自然体験・環境教育事業(市内の団体) 開催数 51回 参加人数 延べ916人</p> <p>3 受入による自然体験・環境教育事業(市外の団体) 開催数 38回 参加人数 延べ609人</p> <p>小宮ふるさと自然体験学校における自然体験・環境教育事業は、少ないスタッフの中で創意工夫し、様々なメニューを考案して実施している。また、平成27年度において、「あきる野市小宮ふるさと自然体験学校の設置及び管理に関する条例」を施行しており、貸出施設として各団体により使用されている。</p>						節の内訳		金額	
						01	報酬	2,248,740	
						04	共済費	113,654	
						07	賃金	2,632,560	
						08	報償費	48,000	
						11	需用費	1,960,099	
						12	役務費	110,451	
						13	委託料	518,187	
						14	使用料及び賃借料	26,508	
						16	原材料費	119,688	
18	備品購入費	429,577							
		計	8,207,464						
						決算内訳		金額	
						国庫支出金			
						都支出金	470,000		
						地方債			
						その他	6,537,700		
						一般財源	1,234,922		
						次年度精算金	△ 35,158		
		計	8,207,464						

科目	事業				事業名	主管課									
	04	01	04	57											
					生物多様性保全事業経費	環境政策課									
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額							
27年度	1,558,000						1,558,000	591,439							
26年度	6,383,000						6,383,000	5,349,394							
増減額	△ 4,825,000		0		0	0	△ 4,825,000	△ 4,757,955							
【事業概要】						平成27年度決算額									
<p>平成20年6月施行の生物多様性基本法の趣旨に従い、あきる野市の貴重な自然を守り、活用するため、生物多様性あきる野戦略に基づき、事業を進める。</p> <p>また、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の趣旨に則り、生態系への被害が確認されている特定外来生物であるアライグマの捕獲を行う。合わせて、生活への被害が確認されているハクビシンについて捕獲を行い、希少生物の保全など、生物多様性を保全する。なお、捕獲事業については、市民及び自治会との協働により実施する。</p> <p>生物多様性の保全には、市民との協働が不可欠であるため、「あきる野市生きもの会議」を組織し協議を実施するとともに周知活動等を進める。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 あきる野市生きもの会議の運営 会議回数1回</p> <p>2 外来生物対策の実施 生態系被害を与えている(アライグマ、ハクビシン)の捕獲等を実施した。</p> <p>(1) わな設置箇所 15地区、49箇所(1箇所に1~3地点実施)</p> <p>(2) 捕獲実績 アライグマ18頭、ハクビシン12頭</p> <p>生物多様性あきる野戦略の推進に向け、様々な視点から検討を行う組織を設置するとともに、外来種の捕獲が進められ、生物多様性の保全が図られた。</p>						節の内訳		金額							
						08	報償費	86,424							
						11	需用費	279,515							
						12	役務費	25,500							
						13	委託料	200,000							
								計	591,439						
												決算内訳		金額	
												国庫支出金			
												都支出金	587,500		
												地方債			
						その他									
						一般財源	295,748								
						次年度清算額	△ 291,809								
		計	591,439												



(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課					
	04	01	04	58							
					産学官連携森づくり事業経費	環境政策課					
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額			
27年度	2,000,000						2,000,000	2,000,000			
26年度	2,000,000						2,000,000	2,000,000			
増減額	0		0		0	0	0	0			
【事業概要】						平成27年度決算額					
郷土の恵みの森構想等に示す「地域との協働の森づくり」や「産学官連携の取組」として、菅生地区をモデル地区に、産学官が連携して里地里山の活性化事業として様々な取組を行うため、「あきる野菅生の森づくり協議会」を設置しており、この協議会に対して負担金を交付する。本協議会は、あきる野市、明星大学、NECフィールディング株式会社、菅生町内会、あきる野青年会議所、西多摩マウンテンバイク友の会及びNPO法人ふるさとの森づくりセンターにより設置している。						節の内訳		金額			
						19 負担金補助及び交付金				2,000,000	
								計		2,000,000	
						決算内訳				金額	
【事業実績及び評価】 1 あきる野菅生の森づくり協議会 2回(5月、12月) 2 里地活性化事業 森づくりと連携した農業技術の継承や農業者の育成を図り、地域を活性化させるため、農産物の特産化に取り組んだ。トマトやシイタケなど、全21品目を栽培して販売に取り組んだ。 3 里山活性化事業 (1) ワークショップ(里山林保全活動と育成)6回 参加人数 延べ221人 (2) 大沢地区の里山林保全作業 15回 参加人数 延べ124人 (3) 農地との緩衝帯整備「人とケモノがよい距離のある里山づくり」11回 参加人数 延べ137人 4 自然環境教育事業 (1) 木こりの講座 7回 参加人数 延べ61人 (2) 親子で体験「シイタケのほだ木づくりと駒打ち体験」1回 参加人数 延べ32人 (3) 「菅生子どもの森広場」環境教育事業 5回 参加人数 延べ107人 5 救急救命講習会 1回 参加人数 延べ15人 産学官の連携による森づくり事業については、各主体の連携により様々な事業が実施されており、取組が進められている。また、各種の補助金を活用するなど財源の確保にも取り組んでいる。						国庫支出金		1,000,000			
						都支出金					
						地方債					
						その他					
						一般財源		1,000,094			
						次年度精算金		△ 94			
						計		2,000,000			

科目	事業				事業名	主管課					
	04	01	04	59							
					地球温暖化防止対策経費	環境政策課					
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額			
27年度	3,305,000					0	3,305,000	2,840,600			
26年度	3,753,000					△ 114,000	3,639,000	3,430,920			
増減額	△ 448,000		0		0	114,000	△ 334,000	△ 590,320			
【事業概要】						平成27年度決算額					
「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき策定された「あきる野市地球温暖化防止対策実行計画」に基づき、市の全ての施設(市の実施する全ての事務事業)を対象に、用紙購入、ガソリン消費、光熱水費等について管理し、温室効果ガスの排出抑制を推進する。また、平成26年度に策定された「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、市民、事業者と協働で地球温暖化対策を推進するとともにその支援を行う。						節の内訳		金額			
						08 報償費					
						13 委託料				885,600	
						19 負担金補助及び交付金				1,955,000	
						計		2,840,600			
【事業実績及び評価】 1 温室効果ガス排出量等の集計 あきる野市第三次地球温暖化防止対策実行計画に基づき、市施設の光熱水などの管理を行い、温室効果ガス排出量の集計と排出抑制を推進した。 2 新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の交付 住宅用新エネルギー・省エネルギー機器の普及促進及び省エネルギーに関する意識の向上を図るため、住宅に機器を設置する者に対し、設置費の一部の補助を行った。 ・太陽光発電システム 補助基数 22基 補助金額 1,545,000円 ・太陽熱利用システム 補助基数 1基 補助金額 20,000円 ・エコキュート 補助基数 10基 補助金額 300,000円 ・エコジョーズ 補助基数 4基 補助金額 60,000円 ・エコウィル 補助基数 1基 補助金額 30,000円 市施設を含む地球温暖化対策の推進が図られた。						決算内訳		金額			
						国庫支出金					
						都支出金					
						地方債					
						その他		885,600			
						一般財源		1,955,000			
						計		2,840,600			

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課			
	04	01	05	01	公害対策に要する経費		生活環境課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	8,455,000						8,455,000	7,637,746		
26年度	10,334,000						10,334,000	8,653,222		
増減額	△ 1,879,000		0		0	0	△ 1,879,000	△ 1,015,476		
〔事業概要〕							平成27年度決算額			
<p>自然環境や工場等の現況を把握し、環境保全に役立てるため、秋川・平井川や工場等における水質分析調査及び大気環境調査を実施する。また、騒音・振動・悪臭などの公害から市民の生活環境を確保するため、市内の自動車騒音調査及び市民からの苦情箇所についての現地調査、環境基準を満たしているかの確認、超過した場合の指導等を行う。都内26市で組織する協議会にも参画し、公害防止に関する調査や情報交換、他市との広域的な連携を行う。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 公害に関する苦情 苦情件数171件</p> <p>2 水質分析調査 秋川・平井川、工場、ゴルフ場等の水質調査(52箇所 延べ12回)</p> <p>3 大気環境調査 道路沿道、大気中ダイオキシン等の環境調査(47箇所 延べ8回)</p> <p>4 協定の基づく環境調査 4事業所で水質及び大気調査 各種環境調査を行い、環境基準を満たしているか確認したところ、ほとんどの項目で基準を満たしていた。 また、公害の苦情に関しては、現地調査及び指導等を行うことにより、市民の生活環境の確保が図られた。</p>							節の内訳		金額	
							09 旅費			36,142
							11 需用費			897,690
							12 役務費			132,390
							13 委託料			6,240,946
							14 使用料及び賃借料			2,000
							18 備品購入費			318,978
							19 負担金補助及び交付金			3,000
							27 公課費			6,600
										計 7,637,746
							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
							都支出金	4,684,000		
							地方債			
							その他			
							一般財源	2,953,746		
							計	7,637,746		

科目	事業				事業名		主管課									
	04	01	05	05	清流保全事業経費		生活環境課									
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額								
27年度	1,108,000						1,108,000	1,013,580								
26年度	1,034,000						1,034,000	1,015,740								
増減額	74,000		0		0	0	74,000	△ 2,160								
〔事業概要〕							平成27年度決算額									
<p>河川の浄化及び河川環境を保全することにより、良好な水質及び水量が確保された流水と水辺環境の景観を守り残すことを目的とする事業であり、河川の保全に関し深い関心と熱意を持つ者24人以内を清流保全協力員として委嘱し、協力員は、河川環境状況の調査、異常の通報、保全に係る提言及び啓発を行うとともに、河川における調査、研究、保全施策等に協力する。また、河川の水質等をより詳細に調査し、河川の現状を把握する。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 清流保全協力員活動 清流保全協力員 21人</p> <p>2 湧水及び合流点の水質分析調査 調査地点 36箇所 年1回実施 河川状況の把握ができ、水質の監視が行えた。また、水質事故時に対応し、良好な水質の保全に努めた。</p>							節の内訳		金額							
							08 報償費			378,000						
							11 需用費			41,040						
							13 委託料			594,540						
										計 1,013,580						
														決算内訳		金額
														国庫支出金		
														都支出金		
														地方債		
														その他		
							一般財源	1,013,580								
							計	1,013,580								

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	04	01	06	51	秋川流域斎場組合の運営に要する経費		生活環境課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	103,259,000					1,000	103,260,000	103,260,000	
26年度	102,147,000					0	102,147,000	102,147,000	
増減額	1,112,000		0		0	1,000	1,113,000	1,113,000	
<b>【事業概要】</b> 秋川流域斎場組合の運営に要する経費のうち、市町村が負担すべき経費について、関係市町村で分担することにより、適正な事業の運営を行う。負担額は、均等割、人口割、利用割から算出され、本市では約6.5割を負担している。  <b>【事業実績及び評価】</b> 1 火葬場使用状況 772人 2 斎場使用状況 243人 秋川流域斎場組合により、適正な運営が行われた。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							19 負担金補助及び交付金	103,260,000	
							計		103,260,000
							決算内訳		金額
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源		103,260,000							
計		103,260,000							

科目	事業				事業名		主管課		
	04	01	07	01	阿伎留病院企業団の運営に要する経費		健康課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	809,152,000						809,152,000	809,152,000	
26年度	713,208,000						713,208,000	713,208,000	
増減額	95,944,000		0		0	0	95,944,000	95,944,000	
<b>【事業概要】</b> 公立阿伎留医療センターの運営に要する経費のうち、市町村が負担すべき経費について、関係市町村で分担することにより、地域医療の充実を図る。負担額は、均等割、人口割、利用割から算出され、本市では約7割を負担している。  <b>【事業実績及び評価】</b> 四半期ごとに支出 1期・2期 101,144,000円 3期～5期 202,288,000円 地域医療の充実を図るため、公立阿伎留医療センターの運営に要する経費のうち、市が負担すべき経費について、負担金として支出した。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							19 負担金補助及び交付金	809,152,000	
							計		809,152,000
							決算内訳		金額
国庫支出金									
都支出金		244,000,000							
地方債									
その他									
一般財源		565,152,000							
計		809,152,000							

科目	事業				事業名		主管課		
	04	02	02	01	ごみ収集に要する経費		生活環境課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	562,006,000						562,006,000	552,444,511	
26年度	552,570,000						552,570,000	540,614,144	
増減額	9,436,000		0		0	0	9,436,000	11,830,367	
<b>【事業概要】</b> ごみの収集、運搬並びに指定収集袋の製造、配送及び販売に係る経費であり、「資源とごみの出し方カレンダー」を作成・配布し、ごみの出し方等の周知・理解を進める。  <b>【事業実績及び評価】</b> ・可燃ごみ 18,465t ・不燃ごみ 358t ・資源 4,360t ・有害ごみ 36t ・粗大ごみ 604t 市民へ分別の徹底を周知し、委託業者により、適正に収集された。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							11 需用費	5,636,190	
							12 役務費	30,282,795	
							13 委託料	516,525,526	
計		552,444,511							
決算内訳		金額							
国庫支出金									
都支出金		94,100,000							
地方債									
その他		241,605,180							
一般財源		216,739,331							
計		552,444,511							

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	04	02	02	02	西秋川衛生組合の運営に要する経費		生活環境課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	737,253,000		△ 18,144,000				719,109,000	719,109,000	
26年度	556,111,000		0				556,111,000	514,143,000	
増減額	181,142,000		△ 18,144,000		0	0	162,998,000	204,966,000	
【事業概要】 西秋川衛生組合の運営に要する経費のうち、市町村が負担すべき経費について、関係市町村で分担することにより、ごみ及びし尿の適正な処理を行う。ごみ処理の負担額は、平等割、人口割、利用割から算出され、本市では約7割を負担している。し尿処理の負担額は、平等割、利用割から算出され、本市では約6割を負担している。							平成27年度決算額		
【事業実績及び評価】 西秋川衛生組合により、適正な運営が行われた。							節の内訳		金額
							19 負担金補助及び交付金	719,109,000	
							計	719,109,000	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金	232,800,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	486,309,000	
							計	719,109,000	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	04	02	02	03	ごみ減量化・資源化対策に要する経費		生活環境課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	35,961,000						35,961,000	34,484,944	
26年度	35,293,000						35,293,000	33,390,699	
増減額	668,000		0		0	0	668,000	1,094,245	
【事業概要】 廃棄物の減量化、資源化の啓発のため、リサイクルフェアやポスター展の実施、ごみ情報誌(へらすぞう)の発行などを行う。また、資源集団回収の奨励、生ごみ堆肥化容器の購入費補助等を行うことにより、ごみの減量・資源化を促進する。							平成27年度決算額		
【事業実績及び評価】 1 第40回あきる野市リサイクルフェア 実施日 5月16日 会場 都立秋留台公園 入場数 2,000人(推定) 2 第41回あきる野市リサイクルフェア実施 開催日 11月7日 会場 都立秋留台公園 入場数 16,000人(推定) イベント等で市民に廃棄物の減量化、資源化を呼びかけ、ごみの減量・資源化活動が行えた。							節の内訳		金額
							01 報酬		
							08 報償費	25,468,076	
							11 需用費	966,852	
							12 役務費	50,976	
							13 委託料	7,946,040	
							19 負担金補助及び交付金	53,000	
							計	34,484,944	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源	34,484,944	
							計	34,484,944	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	04	02	03	01	し尿収集に要する経費		生活環境課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	44,497,000						44,497,000	44,432,552	
26年度	98,751,000						98,751,000	98,700,168	
増減額	△ 54,254,000		0		0	0	△ 54,254,000	△ 54,267,616	
【事業概要】 し尿汲取り世帯と工事用の仮設トイレ等について、市の責務としてし尿を収集し、処理施設である西秋川衛生組合のし尿施設に搬入する。							平成27年度決算額		
【事業実績及び評価】 し尿収集 ・収集人口 1,145人 ・総収集量 2,288kl ・収集日数 243日 委託業者により、処理施設へ適正に収集・運搬された。							節の内訳		金額
							11 需用費	69,984	
							13 委託料	44,346,768	
							19 負担金補助及び交付金	15,800	
							計	44,432,552	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金	11,500,000	
							地方債		
							その他	6,440,300	
							一般財源	26,492,252	
							計	44,432,552	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	04	02	03	03	浄化槽清掃の助成に要する経費		生活環境課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	6,234,000						6,234,000	6,001,998	
26年度	6,434,000						6,434,000	6,200,148	
増減額	△ 200,000		0		0	0	△ 200,000	△ 198,150	
【事業概要】 し尿汲取り世帯との公平を保つため、浄化槽の清掃を行う設置者に対し、清掃料金軽減費を交付する。 【事業実績及び評価】 浄化槽清掃費助成実績 748件 浄化槽清掃料金軽減費の交付により、住民負担の軽減を図り、浄化槽法に義務付けられている浄化槽の適正管理が図れた。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							11 需用費	33,048	
							19 負担金補助及び交付金	5,968,950	
							計		6,001,998
							決算内訳		金額
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他	20,000								
一般財源	5,981,998								
計		6,001,998							

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	06	01	03	01	農業振興に要する経費		農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	2,291,000		0		0		2,291,000	2,202,315	
26年度	2,330,000		191,339,000		72,667,000		121,002,000	38,957,461	
増減額	△ 39,000		△ 191,339,000		△ 72,667,000	0	△ 118,711,000	△ 36,755,146	
【事業概要】 農業者で構成する「あきる野市農業振興会」に各種事業の委託を行い、あきる野農業を推進するとともに、農業振興資金の利子補給金や関係市町村で構成する各種協議会の負担金を計上する。 【事業実績及び評価】 1 農業振興事業業務委託 あきる野市農業振興会 2,000,000円 2 農業振興資金利子補給金 97,605円 3 各種協議会負担金 ・西多摩農業改良普及事業協議会負担金 47,000円 ・都市農地保全推進自治体協議会負担金 20,000円 ・東京都農業構造改善事業推進協議会負担金 5,000円 4 被災農業者向け経営体育成支援事業 平成26年2月雪害により被害を受けた農業用施設の撤去・再建・修繕についての補助事業を実施した。 (1) 対象農家数及び対象棟数 ア 対象農家数 12戸 イ 再建・修繕 19棟 (2) 助成金額 36,754,525円 農業振興会に各種事業を委託することや、農家が借りた資金の利子補給をすること、また、雪害による施設の再建等により、市内農家の経営向上につながった。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							09 旅費	27,932	
							11 需用費	4,778	
							13 委託料	2,000,000	
							19 負担金補助及び交付金	169,605	
計		202,315							
決算内訳		金額							
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源	2,202,315								
計		2,202,315							

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	06	01	03	02		秋川ファーマーズセンター運営管理経費	農林課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	6,379,000					688,000	7,067,000	6,903,231
26年度	6,623,000					0	6,623,000	6,607,408
増減額	△244,000		0		0	688,000	444,000	295,823
【事業概要】						平成27年度決算額		
秋川ファーマーズセンターは、あきる野市の目指す地産地消型農業の拠点であり、市民等に新鮮で安全な農畜産物を供給することにより、農業経営の安定、農業従事者の確保、育成等の地域産業の総合的な振興を推進する。						節の内訳		金額
						11 需用費		
【事業実績及び評価】						12 役務費		120,259
						13 委託料		
指定管理者による管理 名称 秋川ファーマーズセンター 指定管理者 秋川農業協同組合 指定期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日 利用者数 平成27年度 304,782人 市民等に新鮮で安全な農畜産物を供給することにより、農業経営の安定、農業従事者の確保、育成等の地域産業の総合的な振興が図られた。						14 使用料及び賃借料		5,717,972
						計		
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						計		6,903,231

科目	事業				事業名	主管課		
	06	01	03	03		市民農園に要する経費	農林課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,591,000						1,591,000	1,329,371
26年度	1,568,000						1,568,000	1,323,987
増減額	23,000		0		0	0	23,000	5,384
【事業概要】						平成27年度決算額		
市が管理運営する「あきる野市民農園」242区画を市民に貸し出し、技術指導員による土づくり、ナス・トマト等の野菜の植付けなどの現地講習会等を行い、自らの手で栽培した農作物の収穫の喜びと、農業への理解を深めてもらう。						節の内訳		金額
						07 賃金		
【事業実績及び評価】						09 旅費		20,000
						11 需用費		
1 貸付状況 4農園 計240区画 216区画貸付 利用者146人 2 利用者負担金 1,551,600円 3 技術指導 (1) 非常勤職員賃金 461,550円(管理・指導 年間111日) (2) 実地講習会 平成27年4月29日(夏野菜の植付けや管理等：参加者14人) 4 農作物展示会 平成27年11月7、8日(産業祭品評会々場) 現地講習会等を実施し、自らの手で栽培した農作物の収穫の喜びと、農業への理解を深めてもらうことができた。						12 役務費		53,754
						13 委託料		
						14 使用料及び賃借料		69,606
						16 原材料費		
						計		1,329,371
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		1,329,371
						一般財源		
						計		1,329,371

科目	事業				事業名	主管課		
	06	01	03	04		新規就農者提案型支援事業経費	農林課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,500,000						1,500,000	1,202,260
26年度	1,500,000						1,500,000	1,244,948
増減額	0		0		0	0	0	△42,688
【事業概要】						平成27年度決算額		
新規就農者に対する就農支援として提案型による補助金を交付する。 あきる野市は、3つの直売所を中心に「地産地消型」事業を展開しているが、直売所の会員の高齢化による出荷量の減少が課題となっている。新たな担い手に魅力ある農業経営を支援することで、担い手不足と遊休農地の解消を推進する。						節の内訳		金額
						19 負担金補助及び交付金		
【事業実績及び評価】						計		1,202,260
						決算内訳		
1 補助対象者 新規就農者 3戸 2 補助事業の内容 管理機、ビニールハウス、一輪管理機、トラクター(中古) 他 3 補助金額 1,202,260円 新たな担い手に魅力ある農業経営を支援することにより、経営の安定が図られ、規模拡大のために、耕作放棄地を貸し付けることにより、遊休農地の解消にもつながった。						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		1,202,260
						計		

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名			主管課							
	06	01	03	08	獣害防止対策に要する経費			農林課							
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額							
27年度	8,321,000					0	8,321,000	8,286,130							
26年度	8,598,000					286,000	8,884,000	8,867,599							
増減額	△ 277,000		0		0	△ 286,000	△ 563,000	△ 581,469							
【事業概要】							平成27年度決算額								
<p>農作物の被害を防ぐため、野生鳥獣の捕獲を行うとともに、野生生物が畑に侵入することを防止するための電気柵の設置、サルの追い払い及びイノシシ等の捕獲の委託などを行うことで、安心して農業生産ができる環境を作り、遊休農地の防止、生産性の向上など、農業経営の安定を進める。</p>							節の内訳		金額						
							08 報償費			18,000					
<p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 獣害防止警戒システム整備事業委託  (1) 委託先 東京都猟友会五日市地区  (2) 委託業務 サルの追い払い  五日市地区(五日市・戸倉・小宮地区) 2人 150日間  (3) 委託料 4,038,800円</p> <p>2 加害獣侵入防止対策事業  簡易電気柵購入 5セット 193,833円</p> <p>3 有害獣捕獲事業  (1) 東京都猟友会五日市地区 2,850,000円  (2) 捕獲鳥獣殺処分委託(ハクビシン等) 200,000円  (3) 捕獲鳥獣殺処分委託(カラス等) 100,000円  (4) アニマルトラップ購入 11個 235,420円</p> <p>4 あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金  (1) 保険加入補助 37件 76,500円  (2) 技能講習補助 11件 135,300円  (3) 新規銃所持補助 0件 0円  (4) 診断香料補助 14件 56,160円  (5) 狩猟免許取得補助 2件 20,000円  (6) 教習射撃 3件 88,700円</p> <p>電気柵の設置、サルの追い払い及びイノシシ等の捕獲の委託などを行うことで、農作物の被害を防ぎ、遊休農地の防止、生産性の向上など、農業経営の安定を進めることができました。</p>							09 旅費			4,975					
							11 需用費			261,962					
							13 委託料			7,188,800					
							16 原材料費			193,833					
							18 備品購入費			241,900					
							19 負担金補助及び交付金			376,660					
							計	8,286,130							
							決算内訳		金額						
							国庫支出金								
							都支出金			3,757,000					
							地方債								
							その他								
							一般財源			4,529,130					
							計	8,286,130							

科目	款 項 目 事業				事業名			主管課					
	06	01	04	01	畜産業振興に要する経費			農林課					
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額					
27年度	404,000						404,000	403,564					
26年度	404,000						404,000	403,780					
増減額	0		0		0	0	0	△ 216					
【事業概要】							平成27年度決算額						
<p>都市農業の中で、衰退が進んでいる畜産業を振興し、地域住民に理解を得られる事業を展開する。このため、畜産公害、環境問題にも対処する薬剤購入費等の補助や巡回指導を行う。</p>							節の内訳		金額				
							11 需用費			3,564			
<p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 畜産振興事業  (1) 家畜環境衛生保全  (2) 家畜公害防止奨励事業</p> <p>2 農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。  交付金額 220,000円</p> <p>本事業を行うことにより、衰退が進んでいる畜産業を振興し、畜産公害、環境問題にも対処することにより地域住民に理解を得ることができた。</p>							19 負担金補助及び交付金			400,000			
							計	403,564					
							決算内訳		金額				
							国庫支出金						
							都支出金						
							地方債						
							その他						
							一般財源			403,564			
							計	403,564					

(単位:円)

科目	事業				事業名	主管課		
	06	01	05	03				
	用排水路整備に要する経費					農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,000,000					0	1,000,000	973,888
26年度	1,000,000					△ 253,000	747,000	746,820
増減額	0		0		0	253,000	253,000	227,068
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
農業用排水路に堆積した土砂の除去を行い、安定した流量を確保するとともに、周辺農地等への氾濫を防止し、農業生産の向上と農地等を保全する。						節の内訳		
〔事業実績及び評価〕						金額		
用排水路清掃委託						13 委託料		
・下代継用排水路 (有) 田嶋土建 291,600円						計 973,888		
・東郷前上流用水路 (有) 田嶋土建 75,600円						金額		
・小川久保用水路入口 (有) 田嶋土建 110,160円						決算内訳		
・小川久保用水路 (有) 田嶋土建 87,048円						国庫支出金		
・小川久保下流水路 (有) 田嶋土建 160,000円						都支出金		
・小庄地内用水路補修 (有) レオナ 249,480円						地方債		
農業用排水路に堆積した土砂の除去を行い、安定した流量を確保するとともに、周辺農地等への氾濫を防止し、農業生産の向上と農地等を保全することができた。						その他		
						一般財源		
						計 973,888		

科目	事業				事業名	主管課		
	06	01	05	04				
	遊休農地の活用による地産地消推進事業経費					農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	910,000						910,000	636,895
26年度	900,000						900,000	488,896
増減額	10,000		0		0	0	10,000	147,999
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
農業者の高齢化や後継者不足により、荒廃した農地を利用できるように再生し、意欲ある農業者との貸借を推進することで、遊休農地の解消と農産物の生産拡大を進め、市内の直売所に安定的に供給することを目指す。						節の内訳		
また、市民と農業者との交流を深めるため、農地の散策、収穫体験などを通じて、食料生産現場への信頼感を向上させ、直売所の来客者・売上の増加を目指す。						金額		
〔事業実績及び評価〕						08 報償費		
1 第6回あきる農を知り隊 参加者数 17人						13 委託料		
実施日 平成28年3月29日						14 使用料及び賃借料		
内容						計 636,895		
五日市地区で農業への理解を深めることを目的に、市民及び都民が農地の散策、農産物の収穫体験及び地場産農畜産物を使用した加工品の紹介をすることにより、あきる野農業の可能性と食料生産現場への信頼感の向上に寄与し、農業者との交流を図った。						金額		
2 遊休農地(耕作放棄地)農地再生整備委託						国庫支出金		
2件 計 595,458円						都支出金		
市民と農業者との交流を深め、農地の散策、収穫体験などを通じて、食料生産現場への信頼感を向上させることができた。						地方債		
荒廃した農地を利用できるように再生し、意欲ある農業者との貸借を推進し、遊休農地の解消を図ることができた。						その他		
						一般財源		
						計 636,895		

科目	事業				事業名	主管課		
	06	01	05	05				
	田園景観保全事業経費					農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	284,000						284,000	211,989
26年度	175,000						175,000	174,945
増減額	109,000		0		0	0	109,000	37,044
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
川沿いなどに広がる水田にレンゲソウ畑を復活することにより、観光景観を創出するとともに、地力(田の生産能力)の向上を図る。しかし、害虫による被害が見られるため、平成27年度は、試験圃場2か所を選定し、復活に取り組む。						節の内訳		
〔事業実績及び評価〕						金額		
市内の水田にレンゲソウの種子を配布し、景観整備を行った。						11 需用費		
配布地区 小川、横沢(横沢入)、引田、菅生、五日市(小庄水田)、御堂						計 211,989		
概ね開花状況は良好であり、観光景観を創出するとともに、地力(田の生産能力)の向上を図ることができた。						金額		
						決算内訳		
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						計 211,989		



(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	06	01	06	01	地籍調査に要する経費		建設課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	25,928,000		△ 6,640,000				19,288,000	16,032,488	
26年度	33,178,000		△ 3,088,000				30,090,000	29,485,114	
増減額	△ 7,250,000		△ 3,552,000		0	0	△ 10,802,000	△ 13,452,626	
[事業概要]							平成27年度決算額		
<p>土地の戸籍とも言われる地籍(所有者、地積、地目、境界等)を明確にするため、毎年度一定区域を設定し、土地一筆地ごとの調査・測量を行い、その成果を登記に反映させるとともに、現地復元能力のある地図(公図)の備え付けを行う。</p> <p>本成果は、道路用地の買収、道路工事、上下水道工事等の公共事業や分筆等の登記、土地売買等に活用され、土地所有者が土地を管理する上でも大いに活用され、課税も適正化する。また、大規模災害が発生した場合には復旧・復興が迅速</p> <p>[事業実績及び評価]</p> <p>1 各種講習会及び研修会参加 延べ参加人数 16人</p> <p>2 一筆地調査・地籍測量・地積測定業務委託 0.03Km<sup>2</sup> 閲覧・認証・登記・複図作成業務委託 0.11Km<sup>2</sup> 地籍調査登記地区入力業務委託 620筆</p> <p>早期に完了させるように計画しているが、補助金の減額等があるため計画どおりには実施できていない状況である。</p>							節の内訳		金額
							09 旅費	41,440	
11 需用費	149,111								
13 委託料	14,477,497								
14 使用料及び賃借料	1,315,440								
19 負担金補助及び交付金	49,000								
	計		16,032,488						
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
	都支出金		7,800,000						
	地方債								
	その他								
	一般財源		8,232,488						
	計		16,032,488						

科目	事業				事業名		主管課		
	06	01	08	02	担い手総合支援事業経費		農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,583,000		0		6,087,000	△ 3,077,000	4,593,000	2,526,837	
26年度	83,000		6,087,000		0	0	6,170,000	60,453	
増減額	1,500,000		△ 6,087,000		6,087,000	△ 3,077,000	△ 1,577,000	2,466,384	
[事業概要]							平成27年度決算額		
<p>国内農業政策の緊急課題の1つである農業の担い手対策を推進するため、平成17年度に担い手育成総合支援協議会を設置した。引き続き協議会を活用し、認定農業者・新規就農者等担い手の育成・確保や経営改善、能力向上等について積極的に推進する。</p> <p>また、国は、農業者の高齢化や後継者不足により、農業の担い手が不足しているため、青年(45歳未満)の就農意欲のある一定要件を満たした者を対象に、就農後の定着を図るために青年就農給付金を給付する。</p> <p>[事業実績及び評価]</p> <p>1 認定農業者等担い手育成総合支援協議会 2回開催</p> <p>2 青年就農給付金事業 (1) 補助対象者 新規就農者 1戸 (2) 補助金額 1,500,000円</p> <p>協議会を2回開催したことにより認定農業者・新規就農者等担い手の育成・確保や経営改善、能力向上等が図られた。 また、青年就農給付金を給付し就農後の定着を図る手助けができた。</p>							節の内訳		金額
							01 報酬	941,400	
08 報償費	81,000								
09 旅費	4,666								
11 需用費	1,771								
19 負担金補助及び交付金	1,500,000								
	計		1,587,437						
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
	都支出金		1,540,000						
	地方債								
	その他								
	一般財源		47,437						
	計		1,587,437						

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	06	02	02	02	市有林管理育成に要する経費		農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	5,894,000					△ 1,890,000	4,004,000	3,941,280	
26年度	7,647,000					0	7,647,000	7,603,056	
増減額	△ 1,753,000		0		0	△ 1,890,000	△ 3,643,000	△ 3,661,776	
【事業概要】 市有林の保育・間伐等の実施、市有林管理のための境界確認、市有林の貸付業務(契約更新事務等)等を行い、市が所有する森林の公益的機能を発揮させ、森林環境を整備する。 平成27年度保育・間伐等の実施予定箇所は、「色彩豊かな森事業」実施済地4箇所3.52haの下刈り、戸倉刈寄地内市有林3.02haの間伐工等を施業する。 平成27年度市有林管理境界確認は、高尾地内市有林4.3haを実施予定。併せて、平成26年度より導入した、森林計測管理システムにより、市有林管理境界確認済箇所をGPS等を使用し、詳細な図面化を行い、情報管理・計画策定を効率化する。 【事業実績及び評価】 1 市有林境界調査 (1) 境界確認面積 14.35ha (2) 管理図作成面積 54.63ha (3) 事業費 2,422,042円 2 市直営林の管理育成 (1) 面積 9.27ha (2) 事業費 1,345,449円 (3) 施業場所 あきる野市戸倉地内 (4) 内容 草刈工、大刈工、つる切工、間伐工 3 市有林契約更新 乙種林 5件 丙種林 0件 市有林境界調査は高尾地内の境界を確定したことにより完了し、GPSの活用による図面作成を進めた。市直営林の管理育成は平成28年1月の降雪で予定していた間伐が不可能となってしまったため、予算を林道の除雪費に流用したものの、戸倉地内市有林の施業を実施し、森林の整備を図った。	平成27年度決算額								
	節の内訳							金額	
	01 報酬							809,100	
	07 賃金							235,608	
	12 役務費							173,789	
	13 委託料							2,722,783	
								計 3,941,280	
	決算内訳							金額	
	国庫支出金								
	都支出金								
地方債									
その他									
一般財源							3,941,280		
							計 3,941,280		

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	06	02	02	03	林道維持管理経費		農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	2,328,000		4,000,000			1,890,000	8,218,000	8,215,160	
26年度	2,328,000		0			0	2,328,000	2,010,520	
増減額	0		4,000,000		0	1,890,000	5,890,000	6,204,640	
【事業概要】 林道及び作業道15路線、延長18kmの維持・補修工事を施工することにより、林道を適切に維持・管理する。 【事業実績及び評価】 林道南沢線外3路線 路肩擁壁設置工事等1.0式 7,889,360円 観光スポットが周辺に多く、ハイカーも多く通行する南沢線においては、平成25年6月の豪雨で路肩崩落の危険性が高まったため、大型土嚢により路肩崩落防止の処置を行っていたが、当該土嚢に腐食が見られたことから、予算の増額補正により強固な構造物を築造し、通行者の安全を確保した。また、平成28年1月の降雪で予定していた間伐が不可能となってしまった市有林の管理委託料から予算を流用し、工事中の林道の接続道路等の除雪を行ったことにより、安全に工期内に工事を完了することができた。また、その他の路線において、路面洗掘や法面崩落の補修工事を行い、通行者の安全を確保した。	平成27年度決算額								
	節の内訳							金額	
	12 役務費							7,200	
	13 委託料							299,160	
	15 工事請負費							7,889,360	
	16 原材料費							19,440	
								計 8,215,160	
	決算内訳							金額	
	国庫支出金								
	都支出金							4,800,000	
地方債									
その他									
一般財源							3,415,160		
							計 8,215,160		

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	06	02	02	07	森林再生事業経費		農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	34,350,000					0	34,350,000	34,006,554	
26年度	28,751,000					306,000	29,057,000	28,340,297	
増減額	5,599,000		0		0	△ 306,000	5,293,000	5,666,257	
〔事業概要〕 荒廃が進むスギ・ヒノキの人工林の間伐を行い、森林の公益的機能を回復させる。 平成27年度は、森林間伐を50ha実施する。							平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 1 協定書締結件数 16件 2 実施面積 44.44ha 3 事業費 32,135,403円(東京都負担) 本事業は、東京都との契約に基づき実施しており、本市は高い実施面積と予算執行率を継続してきているものの、実施市町村全体の実績により本市も受託金が減額となり、予定していた面積を実施することはできなかったが、実施面積及び予算執行率はいずれも90%を超え、本事業の目的である森林の公益的機能の回復を図ることができた。							節の内訳		金額
							03 職員手当等	788,499	
							07 賃金	271,116	
							09 旅費	40,039	
							11 需用費	268,023	
							13 委託料	32,448,905	
							18 備品購入費	189,972	
							計	34,006,554	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他	34,006,554	
							一般財源		
							計	34,006,554	

科目	事業				事業名		主管課		
	06	02	02	10	枝打ち(花粉対策)事業経費		農林課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	42,980,000		△ 12,074,000			0	30,906,000	30,439,596	
26年度	33,674,000		58,384,000			△ 306,000	91,752,000	90,663,352	
増減額	9,306,000		△ 70,458,000		0	306,000	△ 60,846,000	△ 60,223,756	
〔事業概要〕 スギ及びヒノキの人工林から発生する花粉の発生源対策として、森林再生事業を実施した森林に強度の枝打ちを行うことにより、花粉の発生量を削減し、併せて森林の公益的機能を改善する。 平成27年度は、枝打ち作業を15ha実施する。							平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 1 承諾者数 34名 2 実施面積 14.54ha 3 事業費 30,140,835円(東京都負担) 本事業は、東京都との契約に基づき実施しており、本市は高い実施面積と予算執行率を継続してきているものの、実施市町村全体の実績により本市も受託金の大きな減額で予算を減額補正し、予定していた面積を実施することはできなかったが、実施面積及び予算執行率はいずれも90%を大きく超え、本事業の目的である花粉の発生量を削減し、併せて森林の公益的機能の改善を図ることができた。							節の内訳		金額
							07 賃金	226,750	
							11 需用費	72,011	
							13 委託料	30,140,835	
							計	30,439,596	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他	30,439,596	
							一般財源		
							計	30,439,596	

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名			主管課						
	06	02	03	01	林道整備事業経費			農林課						
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額						
27年度	114,021,000		△ 17,200,000			△ 50,000	96,771,000	95,323,263						
26年度	159,782,000		0			190,000	159,972,000	138,383,555						
増減額	△ 45,761,000		△ 17,200,000		0	△ 240,000	△ 63,201,000	△ 43,060,292						
[事業概要]							平成27年度決算額							
森林資源の高度利用を促進し、林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うため、林道を開設する。また、林業の基盤整備を推進するため、林道の改良を行う。 <開設事業> ・林道鍾乳洞沢線(延長200m、幅員4.0m) ・林道盆堀線(延長200m、幅員4.0m) <改良事業> ・林道伝名沢線(延長20m、落石防護網工・交通安全施設工等) ・林道南沢線(付帯施設工事1箇所)							節の内訳		金額					
							07 賃金	520,559		11 需用費	154,657		13 委託料	6,115,500
							計		95,323,263					
[事業実績及び評価]							決算内訳		金額					
1 林道伝名沢線改良工事 工事施工延長L=26.6m 落石防護網設置工(覆式)A=106.2㎡ ガードレール設置工L=11.5m コンクリート路面工A=89.4㎡ 工事費3,000,000円							国庫支出金				都支出金		94,035,000	
2 林道南沢線改良工事 仮設道路設置工1.0式 補強土壁工A=58.8㎡ 工事費12,000,000円							地方債				その他			
3 林道鍾乳洞沢線開設工事 工事施工延長L=120.0m 補強土壁工A=450.6㎡ 厚層基材吹付工A=214.8㎡ 工事費30,000,000円							一般財源		1,288,263		計		95,323,263	
4 林道盆堀線開設工事 工事施工延長L=186.2m ガードレール設置工L=177.0m 補強土壁工A=757.5㎡ 工事費41,000,000円														
鍾乳洞沢線の開設工事においては、国からの補助金が大きく減額されたことにより予算を減額補正したが、盆堀線とともに林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うための開設工事を行い、また、伝名沢線及び南沢線では林業の基盤整備を推進するための改良工事を行い、森林資源の高度利用の促進を図ることができた。														

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課		
	07	01	02	01	商工振興経費		観光商工課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	88,460,000		809,000				89,269,000	87,574,456	
26年度	108,556,000		1,981,000				110,537,000	107,050,433	
増減額	△ 20,096,000		△ 1,172,000		0	0	△ 21,268,000	△ 19,475,977	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
商工会や商店会の事業等に対し補助を行うほか、産業祭、夏まつり等のイベントに対する補助を行う。また、中小企業者を対象とした資金融資事業、小規模事業者を対象とした小規模事業者経営改善資金利子補給事業を行い、企業者の健全な育成を進める。							節の内訳		金額
							09 旅費		
11 需用費 14 使用料及び賃借料 19 負担金補助及び交付金 21 貸付金									357,763
									63,182,173
計 87,574,456							決算内訳		金額
							国庫支出金		
都支出金 地方債 その他 一般財源									5,618,000
									24,000,000
計 87,574,456									57,956,456
									87,574,456
〔事業実績及び評価〕									
1 補助金									
・商工会補助事業 25,650,000円 ・商店街振興補助事業 9,232,000円 販売促進事業 9,172,000円(9団体、15事業) 研修会等開催事業 60,000円(1団体1事業) ・商店街装飾灯補助事業 301,600円(3団体) ・夏まつり補助事業 2,325,000円 8月1日実施、45,000人來場 ・ヨルイチ補助事業 540,000円 8月29日実施、10,000人來場 ・産業祭補助事業 4,815,000円 11月7日、8日実施、50,000人來場									
2 あきる野活力みなぎる交付金 8,500,000円									
・住宅改修助成事業 8,000,000円 ・ご当地グルメ情報発信事業 500,000円									
3 中小企業振興資金融資及び利子補給事業									
・融資 27件 135,600千円 ・利子補給 197件 755,130円									
4 小規模事業者経営改善資金利子補給									
利子補給 415件 11,013,443円 イベントや補助事業など様々な事業を行うことにより、市内の商業振興を図ることができた。									

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課		
	07	01	03	01	消費者啓発経費		観光商工課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,753,000						1,753,000	1,641,381	
26年度	1,766,000						1,766,000	1,604,986	
増減額	△ 13,000		0		0	0	△ 13,000	36,395	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
消費生活相談員を雇用し、週2日、消費者と事業者の間に取引に関して生じた苦情等に関する相談業務を実施する。また、消費生活講座の実施、消費者啓発パンフレットの作成及び配布、パネル展示等を行い、消費生活に関する知識を習得してもらうことにより、消費者被害の防止と消費生活の向上と安定を推進する。							節の内訳		金額
							01 報酬		
08 報償費 55,800 09 旅費 49,246 11 需用費 70,510									計 1,641,381
							決算内訳		金額
国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源									975,011
									666,370
計 1,641,381									1,641,381
〔事業実績及び評価〕									
1 消費生活相談窓口									
9月5日開催(相談件数：148件)									
2 消費生活講座									
3回開催(参加者数：39人)									
3 産業祭会場での消費者トラブル・被害防止啓発展示の実施									
講座や展示等を通じた啓発により、消費者被害の未然防止および相談窓口の利用促進を図ることができた。									

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	07	01	03	02	市民ローンに要する経費		観光商工課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	53,000						53,000	0	
26年度	53,000						53,000	0	
増減額	0		0		0	0	0	0	
【事業概要】 市民への臨時的な資金(冠婚葬祭、教育、医療等)を市内契約金融機関に対し融資斡旋を行い、市が保証機関への保証料を負担する。  【事業実績及び評価】 市民が生活の安定を図るために、臨時的に支出する資金について融資をあっせんする体制を整えたが、平成27年度の申請及び融資実行はなかったため、市民が本制度を利用しやすい仕組みづくりについて改めて検討する。	平成27年度決算額								
	節の内訳							金額	
	22 補償補填及び賠償金								
								計	0
	決算内訳							金額	
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源									
							計	0	

科目	事業				事業名		主管課		
	07	01	03	04	放射性物質検査事業経費		観光商工課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,428,000						1,428,000	937,112	
26年度	1,405,000						1,405,000	1,237,998	
増減額	23,000		0		0	0	23,000	△300,886	
【事業概要】 消費者庁及び独立行政法人国民生活センターから食品に対する放射性物質検査機器の貸与を受け、市内小中学校、保育園、幼稚園、認証保育所の給食食材を中心とした食品の検査を行う。  【事業実績及び評価】 検査件数711件(全て不検出) ※検出限界値未満の場合は不検出 食品中の放射性物質測定を実施し、その結果を公表することで、市民の食に対する安心・安全を確保することができた。	平成27年度決算額								
	節の内訳							金額	
	07 賃金							643,998	
	11 需用費							74,954	
	13 委託料							218,160	
							計	937,112	
決算内訳							金額		
国庫支出金									
都支出金							856,977		
地方債									
その他									
一般財源							80,135		
							計	937,112	

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課		
	07	01	04	01	秋川溪谷観光推進事業経費		観光まちづくり活動課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	3,589,000						3,589,000	3,558,815	
26年度	4,631,000						4,631,000	4,577,863	
増減額	△ 1,042,000		0		0	0	△ 1,042,000	△ 1,019,048	
<b>〔事業概要〕</b> 秋川溪谷を活用した観光を推進するとともに、五日市地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、秋川溪谷のおもてなし体制の確立や定例的な観光宣伝を実施することで、観光客の誘致と地域の活性化を推進する。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
<b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 観光ボランティアガイド事業 (1) 案内件数 57組134人(4月～11月、8月を除く) (2) ブースでの観光案内 4,818人 (3) ガイドツアーの実施 3回(初夏、秋、冬) 参加者合計61人 2 観光客誘致促進事業(市後援事業) 申請 6件 承認 6件 3 指定管理者による管理 秋川溪谷瀬音の湯(新四季創造株式会社)温泉利用者数 260,964人 4 広域観光まちづくり事業(市町村実施事業) 観光PRポスター作成 春版 800枚、秋版 800枚 5 地域産業活性化事業 五日市活性化戦略委員会の活動状況 (1) 会議開催 5回 (2) 百日紅まつり(点灯式、檜原街道沿いのライトアップ、流し踊り) (3) 武蔵五日市駅前イルミネーション (4) 商店街拠点づくり							09 旅費	185,890	
							11 需用費	742,655	
							12 役員費	5,220	
							13 委託料	1,991,050	
							19 負担金補助 及び交付金	634,000	
							計	3,558,815	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金	500,000	
							地方債		
							その他	921,350	
							一般財源	2,137,465	
							計	3,558,815	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	07	01	04	03	秋川渓谷観光プロモーション事業経費		観光まちづくり活動課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	5,824,000						5,824,000	5,175,230
26年度	9,185,000						9,185,000	6,176,420
増減額	△ 3,361,000		0		0	0	△ 3,361,000	△ 1,001,190
[事業概要]							平成27年度決算額	
秋川渓谷のブランド化に向けた取組として、秋川渓谷のロゴを活かしたCIの継続的な実施や秋川渓谷への誘客やファン層の拡大のため、フォトコンテストの開催や、観光実態調査を行い、効果的な観光プロモーションを展開する。							節の内訳	金額
							08 報償費	27,816
[事業実績及び評価]							09 旅費	130,002
							11 需用費	960,932
1 民間事業者との連携による観光プロモーション事業							13 委託料	3,732,480
							14 使用料及び賃借料	324,000
(1) 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)との連携事業							計	5,175,230
							ア 観光キャラバンの実施	
平成27年10月24日に関越自動車道上り高坂サービスエリアにて、観光パンフレット入りエコバック2,000枚を配布							決算内訳	金額
							イ JAFデー等イベントの実施	
全6回 市内各所及びサンリオピューロランド							国庫支出金	
							ウ 宣伝媒体等による観光PR	
全10回 JAFMate、Plus、WEBページなど							都支出金	1,987,000
							(2) 東日本旅客鉄道株式会社(JR)との連携事業	
ア 観光キャラバンの実施 全2回 八王子駅及び駅							地方債	
							イ 「秋川渓谷」横断幕の設置	
武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅の改札上部等に設置							その他	1,890,000
							(3) トヨタ西東京カラーラ株式会社との連携	
ア 「わくわくドライブツアー」実施による連携							一般財源	1,298,230
							イ 観光PRの連携	
トヨタ西東京カラーラ側の全29店舗に観光リーフレットを掲出							計	5,175,230
							2 イベント出展等による観光誘客事業	
(1) 東京観光情報コーナーの展示								
							(2) 第1回TokyoMetropolitanMountainMTG 観光PRブース出展	
(3) 港区ちいき百貨展展示								
							3 雑誌、フリーペーパー、書籍、TV、WEB、新聞など25件に掲載	
4 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用								
							5 観光パンフレット等の作成	
(1) 秋川渓谷リーフレット(日本語)春夏版及び秋冬版 計40,000部								
							(2) 秋川渓谷リーフレット(英語)春夏版及び秋冬版 計10,000部	
6 秋川渓谷観光デジタルフォトコンテスト								
							(1) 第2回(春・夏の部) 応募作品 61作品	
(2) 第3回(秋・冬の部) 応募作品 67作品								
							7 秋川渓谷ロゴマークの活用	
(1) ロゴマークの使用承認								
							市内団体・事業者から商品への掲載申請・承認4件	
(2) 啓発用品の掲出・配布								
							タペストリー、のぼり旗・ミニのぼり旗、ステッカー、マグネットシート	
8 看板設置								
							JR武蔵五日市駅前の檜原街道沿いに「秋川渓谷」ロゴの大型看板を設置	



(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課		
	07	01	04	05	フィルムコミッション事業経費		観光まちづくり活動課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	3,812,000		0				3,812,000	3,728,937	
26年度	5,793,000		3,110,000				8,903,000	5,879,846	
増減額	△ 1,981,000		△ 3,110,000		0	0	△ 5,091,000	△ 2,150,909	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
<p>市内で映画やテレビ等の撮影を行ってもらうため、独自のホームページの作成や動画サイトへの独自映像の公開等により、製作者に積極的にアピールし誘致する。撮影実施に当たっても、可能な限り支援を行うことで、市の認知度アップ、イメージアップ、PRを行う。</p> <p>また、市の紹介やPRを目的とした映像作品の製作を独自に行うとともに市のイベント等を映像で記録し保存する。</p>							節の内訳		金額
							09 旅費	57,833	
11 需用費	472,286								
12 役務費	203,418								
13 委託料	2,093,464								
14 使用料及び賃借料	901,936								
	計		3,728,937						
〔事業実績及び評価〕							決算内訳		金額
							国庫支出金		
都支出金	2,197,000								
地方債									
その他									
一般財源	1,531,937								
	計		3,728,937						
<p>1 「あきる野フィルムコミッション」ホームページ 閲覧者数(月平均) 8,315人(約693人) ページ閲覧数 35,405回(複数回閲覧者含む) 各閲覧者の平均ページ閲覧数 約4回</p> <p>2 「あきる野フィルムコミッション」動画配信チャンネル(YouTube) 公開期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日(366日) 視聴回数 6052回 掲載動画数 27本(平成28年3月31日現在) チャンネル登録者数 16人(平成28年3月31日現在)</p> <p>3 撮影支援 ロケ地等問合せ件数 209件 撮影件数 57件 実施率 27.3%</p> <p>4 独自作品の制作 (1) 映画「あきる野物語 空色の旅人」 (2) 「あきる野物語 空色の旅人」メイキング (3) 「青い目の人形 シャロンちゃん」</p> <p>撮影支援及び市内の記録映像撮影・公開により、当市の認知度並びに好感度を向上することができた。また、市民の地元への誇りを高め、地域の交流を促すことができた。</p>									

科目	事業				事業名		主管課		
	07	01	04	06	観光推進事業経費		観光商工課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	18,212,000						18,212,000	18,200,923	
26年度	16,018,000						16,018,000	15,583,484	
増減額	2,194,000		0		0	0	2,194,000	2,617,439	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
<p>観光協会や大多摩観光連盟との連携による観光振興を推進するとともに、映画祭等の観光客誘致等を目的とするイベントに対する補助を行う。また、広域的な観光まちづくりを促進するため、日の出町・檜原村との広域連携による事業展開により、観光客の誘致を進める。</p>							節の内訳		金額
							09 旅費	20,896	
11 需用費	31,355								
19 負担金補助及び交付金	18,148,672								
	計		18,200,923						
〔事業実績及び評価〕							決算内訳		金額
							国庫支出金		
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源	18,200,923								
	計		18,200,923						
<p>1 補助金等交付事業 (1) 第4回 多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ(大多摩観光連盟主催) 5月16日、17日実施、21,000人来場(20店舗出店) (2) 第3回あきる野映画祭 7月18日及び23日から26日まで実施、2,330人来場 (3) 秋川リバーサイドふれあいまつり 10月11日実施、1,103人来場</p> <p>2 観光まちづくり推進協働事業交付金 (1) 交付金交付団体 5団体(養沢活性化委員会、一般社団法人あきる野市観光協会、秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会、五日市活性化戦略委員会及びあきる野市観光推進協議会) (2) 交付団体の事業実績 イルミネーションやイベント開催、観光キャラバン活動などにより、近隣地域及び首都圏からの誘客事業及び観光客に対するおもてなし事業を行った。 近隣市町村と連携して広域的な観光まちづくりを推進するとともにあきる野市の特色を活かしたイベントの支援を行い、あきる野市の魅力を発信することができた。また、交付金交付団体については、市と協働で各種事業を行い、市のプロモーションや地域活性化に寄与することができた。</p>									

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	07	01	04	10		秋川流域ジオパーク推進事業経費	環境政策課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	3,573,000						3,573,000	2,427,042
26年度	0						0	0
増減額	3,573,000		0		0	0	3,573,000	2,427,042
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>秋川流域ジオパーク構想は、狭い地域の中で様々な年代の地層が観察できたり、多くの貴重な化石が発見されている秋川流域に息づく地質・地形、自然、文化など貴重な資源を活かし、島しょ部を除いて東京都では初となる日本ジオパーク認定を目指すことで、観光や商業など、秋川流域の活性化を図ることを目的に、あきる野市、日の出町及び檜原村が共同で取り組むものである。</p> <p>平成27年度は、拠点を設置し、来訪者に対して秋川流域ジオパーク構想のPRをする。またジオサイトの案内が出来るような環境を整えるとともに、これまで進めてきた人材育成講座を継続し、ガイドの育成に取り組んでいく。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 講座受講者による活動 全体開催回数 10回(班活動は随時)</p> <p>2 イベント出展、講演会等の開催 イベント出展 4回・講演会の開催 2回・シンポジウムの開催 1回</p> <p>3 日本ジオパークネットワーク活動への参加 全国大会、関東地区大会等への参加回数 4回</p> <p>ジオツアーの実施に向けて、ジオサイトの調査、コースの検討を行い、併せてジオサイトマップの作成に取り組むなど、日本ジオパークの認定への取組が進められた。また、拠点施設となる「秋川渓谷戸倉体験研修センター」内の「秋川流域ジオ情報室」の開設に向けて整備を行った。</p>						節の内訳		金額
						07 賃金	590,520	
						11 需用費	153,826	
						12 役務費	24,919	
						13 委託料	195,372	
						14 使用料及び賃借料	25,959	
						16 原材料費	157,423	
						18 備品購入費	279,023	
						19 負担金補助及び交付金	1,000,000	
						計		2,427,042
決算内訳		金額						
国庫支出金								
都支出金		839,471						
地方債								
その他								
一般財源		1,587,571						
計		2,427,042						

科目	事業				事業名	主管課		
	07	01	04	23		ふるさと工房運営事業経費	観光まちづくり活動課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	13,324,000						13,324,000	12,697,264
26年度	13,851,000						13,851,000	13,495,109
増減額	△ 527,000		0		0	0	△ 527,000	△ 797,845
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>都指定無形文化財である「軍道紙」の伝承と情報発信を行うとともに、市民に広く周知するために、市民向け講習会を開催する。また、運営に係る施設の維持管理を行う。</p>						節の内訳		金額
〔事業実績及び評価〕						11 需用費		1,621,576
1 小学校体験学習件数 41校(市内8校、市外33校) 3,024人						12 役務費		552,637
2 軍道紙保存会への保存伝承事業委託料 9,067,000円						13 委託料		9,760,480
3 軍道紙づくり講習会の実施						14 使用料及び賃借料		652,411
(1) 実施期間 平成27年11月14日から平成28年3月5日まで						16 原材料費		110,160
(2) 実施回数 8回						計		12,697,264
(3) 受講者数 4人(市民4人)						決算内訳		金額
原料の作成から紙漉きまでの行程を行った。手漉き和紙の伝統文化の理解及び郷土愛の醸成に繋がり、後継者育成の足がかりとなった。						国庫支出金		
4 軍道紙うちわ作り講習会(子どもが主役事業)						都支出金		7,514,000
(1) 実施期間 平成27年8月20日、8月21日、8月24日						地方債		
(2) 実施回数 3回						その他		
(3) 受講者数 19人						一般財源		5,183,264
市内の小学生4年生から6年生を対象に、手漉き和紙でうちわを作る講習会を開催し、伝統文化の理解及び郷土愛の醸成を図った。						計		12,697,264
5 軍道紙紹介冊子の作成								
2020年に開催される東京都オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、軍道紙を多くの方にPRするために英語表記を交えた冊子を作成した。								
これらの活動を通して、都指定無形文化財である「軍道紙」の保存伝承をすることができた。また、新たな軍道紙紹介冊子を作成したことで、より多くの人に情報発信を行うことができるようになった。								

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	07	01	04	50		旧戸倉小学校観光施設整備事業経費	観光まちづくり活動課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	258,269,000		0			1,054,000	259,323,000	259,270,637
26年度	19,500,000		△ 4,040,000				15,460,000	15,444,000
増減額	238,769,000		4,040,000		0	1,054,000	243,863,000	243,826,637
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>戸倉地区のひと・もの・自然などを最大限に活かし、これまでの観光施設とは一線を画す体験・研修の場として、平成28年4月のオープンを目指し、旧戸倉小学校を宿泊機能も兼ね備えた着地型の観光拠点とするための整備をする。</p> <p>体験・研修の場を提供することで、将来を担う子どもや多様な人材の育成、また、農業との連携などにより、交流人口を拡大することで地域全体の活性化へつなげ、地域経済の好循環を図りながら、秋川溪谷の新たな拠点となるよう事業を展開する。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>旧戸倉小学校を改修（普通教室を宿泊室、職員室をレストラン、トイレ改修、エレベーター及び風呂の新設、消防法に絡む内装改修等）し、レストランに多摩産材のテーブルや椅子、宿泊室に2段ベッド等の備品を配置して滞在型観光施設として整備した。</p>						節の内訳		金額
						13	委託料	10,235,700
						14	使用料及び賃借料	74,765
						15	工事請負費	230,345,561
						18	備品購入費	18,614,611
						計	259,270,637	
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金	225,100,000	
						地方債		
						その他	22,239,000	
						一般財源	11,931,637	
						計	259,270,637	

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	08	01	01	01		市道管理に要する経費	管理課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	29,618,000		608,000				30,226,000	29,342,249
26年度	29,265,000		0				29,265,000	28,429,182
増減額	353,000		608,000		0	0	961,000	913,067
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>市道利用者の安全と利便性を確保するため、道路の維持管理を行う。</p> <p>道路の適正管理を行うため、道路パトロールの実施、道路境界確認立会、道路水路に対する苦情処理、道路台帳の整備等を行う。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 道路パトロールの実施 月に1回、都市整備部の職員により、秋川地区、五日市地区の道路パトロールを実施した。</p> <p>2 道路境界確認立会の実施 年間57件</p> <p>3 道水路に対する要望、苦情対応処理件数 対応件数 156件</p> <p>法令等に基づき、利用者の安全と利便性を確保するため、市道管理等を適切に実施した。</p>						節の内訳		金額
						09	旅費	63,180
						11	需用費	748,619
						12	役務費	571,810
						13	委託料	26,574,040
18	備品購入費	1,198,000						
19	負担金補助及び交付金	180,000						
27	公課費	6,600						
						計	29,342,249	
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						計	29,342,249	

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課	
	08	01	01	02	用地事務経費		建設課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,673,000						1,673,000	922,526
26年度	1,673,000						1,673,000	337,706
増減額	0		0		0	0	0	584,820
【事業概要】 公衆用道路敷地内に存在する個人名義の土地について、寄附扱い等の処理により取得し、未登記道路の解消を図る。							平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 1 買収による取得 ・市道Ⅰ-15号線(伊奈字北伊奈前) 面積 1.12㎡ 金額 55,410円 ・市道西秋留314号(淵上字開戸) 面積 8.66㎡ 金額 207,562円 2 寄付による取得 ・市道Ⅱ-15号線(留原字東) 面積 54㎡ ・市道Ⅱ-36号線(野辺字日室塚) 面積 128㎡ ・市道多西498号(瀬戸岡字天神前) 面積 2.00㎡ 随時生ずる案件について処理を行う事業であり、着実に処理を行った。							節の内訳	金額
							09 旅費	19,230
							11 需用費	7,987
							13 委託料	632,337
							17 公有財産 購入費	262,972
							計	922,526
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	922,526
							計	922,526

科目	事業				事業名		主管課	
	08	01	01	07	屋外広告物に要する経費		管理課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	155,000						155,000	130,302
26年度	332,000						332,000	209,840
増減額	△177,000		0		0	0	△177,000	△79,538
【事業概要】 屋外広告物法、東京都屋外広告物条例に基づく許可事務を行う。また、適正な道路管理のため、違反広告物の撤去を行う。							平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 1 屋外広告物許可件数 東京都許可分 56件 あきる野市許可分 38件 2 屋外広告物違反撤去枚数 434枚 道路パトロール等により違反広告物を撤去し、環境美化に努めた。							節の内訳	金額
							11 需用費	123,982
							13 委託料	6,320
							計	130,302
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	130,302
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							計	130,302

科目	事業				事業名		主管課	
	08	01	01	08	アダプト制度事業経費		管理課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	60,000						60,000	0
26年度	136,000						136,000	0
増減額	△76,000		0		0	0	△76,000	0
【事業概要】 市民との協働によるまちづくりの一環として、市が管理する道路、水路及び公園の公共施設において、市民等の自発的な緑化、美化、清掃等の活動を支援する。							平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 1 新規合意団体 1団体 合意解消団体 1団体 2 平成27年度合意団体合計 7団体 各団体とも、草刈や清掃等環境美化に対する意識を持って活動を実施した。							節の内訳	金額
							11 需用費	
							13 委託料	
							計	0
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							計	0

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	08	02	02	01	道路橋梁の維持補修に要する経費		建設課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	27,000,000		4,000,000				31,000,000	30,997,080	
26年度	27,000,000		3,000,000				30,000,000	29,950,560	
増減額	0		1,000,000		0	0	1,000,000	1,046,520	
<b>〔事業概要〕</b> 歩行者を含め交通の安全を確保するため、市道に植栽されている街路樹の剪定を行う。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 街路樹剪定等委託 件数 29件(84箇所) 市道内の街路樹、道路敷、水路敷、法面等の樹木の剪定、伐採、除草を実施することにより、歩行者を含め交通の安全を確保している。しかし、近年、管理面積の増加や市民からの要望も増加しており、全ての要望に対応はできていない。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							13 委託料	30,997,080	
							計	30,997,080	
							決算内訳		金額
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源	30,997,080								
計	30,997,080								

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	08	02	02	50	道路維持事業経費		建設課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	94,100,000		81,000,000				175,100,000	173,485,872	
26年度	94,100,000		84,000,000				178,100,000	176,517,435	
増減額	0		△ 3,000,000		0	0	△ 3,000,000	△ 3,031,563	
<b>〔事業概要〕</b> 市道の利用者が安全で快適に使用できるよう維持補修等の管理を行う。 ・近年の気象状況の大きな変化に伴い、緊急に維持補修を行う必要箇所が増加しているため、応急補修工事を迅速に行う。 ・近年の気象状況の大きな変化によるゲリラ豪雨等の被害により、側溝等への土砂流入・堆積が非常に多く見られることから、雨水排水処理能力の低下に対処するため、道路側溝清掃を行う。 ・排水路を新設するに当たり、関連する一級河川多摩川の生態系保持空間における河川水辺調査を実施する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 道路応急補修工事 本事業により、市が管理する道路等を維持するための維持補修を実施することにより、通行の安全や道路排水機能の維持に繋げることができた。 一方、年々老朽化が進むインフラの維持には多額の費用が必要となり、毎年補正予算を組まなければならない状況である。 2 河川水辺調査 一級河川多摩川に雨水排水樋門を設置するため、河川管理者である国と協議を進めている。協議を整えるため生態系保持空間の調査を実施し協議を順調に進めることができた。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							13 委託料	11,587,320	
							15 工事請負費	160,999,920	
							16 原材料費	898,632	
計	173,485,872								
決算内訳		金額							
国庫支出金									
都支出金	121,000,000								
地方債									
その他									
一般財源	52,485,872								
計	173,485,872								

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	08	02	03	50		建設課		
					道路新設改良事業経費			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	80,528,000		11,300,000			△ 2,950,000	88,878,000	64,597,524
26年度	141,024,000		18,599,000			0	159,623,000	79,855,980
増減額	△ 60,496,000		△ 7,299,000		0	△ 2,950,000	△ 70,745,000	△ 15,258,456
[事業概要]						平成27年度決算額		
地域住民生活の利便向上のため、市が管理する幅員4m未満の狭あいな道路の整備を行い、安全で円滑な通行を確保する。 <平成27年度 実施工事> ・市道747号線(整備延長30m、幅員4.0m) ・市道54号線(整備延長75m、幅員5.0m) ・市道I-9号線(延長313m、幅員6.25m×2) ・生活道路舗装工事(市内一円)						節の内訳		金額
						09 旅費		
[事業実績及び評価]						11 需用費	560,404	
						13 委託料		
1 市道747号線道路改修舗装工事 工事を実施したことにより、安全で円滑な通行空間を確保した。 2 市道54号線道路改修舗装工事 工事を実施したことにより、安全で円滑な通行空間を確保した。 3 市道I-9号線道路舗装補修工事 傷んだ舗装を打ち替えることにより、安全で円滑な通行空間を確保した。 4 生活道路舗装工事 あきる野市私道整備要綱に基づき、市内8箇所の傷んだ私道の補修を実施し、市民の要望に応えた。						14 使用料及び賃借料	521,466	
						15 工事請負費		
						計	64,597,524	
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金	19,271,000	
						地方債	26,800,000	
						その他		
						一般財源	18,526,524	
						計	64,597,524	

科目	事業				事業名	主管課		
	08	02	03	52		建設課		
					道路用地事業経費			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	14,987,000		6,220,000			0	21,207,000	17,672,504
26年度	22,857,000		15,520,000			228,000	38,605,000	35,976,073
増減額	△ 7,870,000		△ 9,300,000		0	△ 228,000	△ 17,398,000	△ 18,303,569
[事業概要]						平成27年度決算額		
地域住民生活の利便向上のため、生活道路の整備を行う。 <平成27年度 対象路線> ・街路番号10(中宿・松原ヶ谷戸線) ・街路番号11(深沢線)						節の内訳		金額
						11 需用費		
[事業実績及び評価]						12 役務費	1,221,240	
						13 委託料		
1 用地買収 ・市道五日市9号線 面積32.23㎡ 金額 125,697円 ・市道I-12号線(三内地区) 面積16.37㎡ 金額1,568,246円 ・二宮地区整備計画道路(住区道路2) 面積12.63㎡ 金額1,742,940円 ・街路番号10(市道仲宿・松原ヶ谷戸線) 面積12.79㎡ 金額1,304,580円 ・街路番号10(市道深沢線) 面積53.06㎡ 金額4,923,968円 2 物件等移転補償 ・街路番号10(市道仲宿・松原ヶ谷戸線) 金額 86,603円 ・電柱移設補償費等 金額6,234,843円 当初対象路線のほか、随時生ずる案件についても補正予算等により対応し、事業を執行した。						17 公有財産 購入費	9,665,431	
						22 補償補填 及び賠償金	6,321,446	
						計	17,672,504	
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金	300,000	
						地方債		
						その他		
						一般財源	17,372,504	
						計	17,672,504	

(単位：円)

科目	款 項 目			事業	事業名	主管課		
	08	02	03			61	伊奈地内道路整備事業経費	建設課
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	6,600,000					6,600,000	6,156,000	
26年度	4,400,000					4,400,000	4,204,440	
増減額	2,200,000		0	0	0	2,200,000	1,951,560	
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
西伊奈地区の道路は狭いので、緊急自動車の通行も不可能な地域防災上危険な道路であり、また、中心には増戸小学校及び増戸中学校があるが、通学路としても歩道が狭く危険な道路である。 このため、この地区の道路を拡幅整備することにより、地域住民の安全と交通利便性を向上を進める。 ＜平成27年度 実施事業＞ 第2期工区 道路測量委託 延長600m 〔事業実績及び評価〕 伊奈地内道路測量委託 西伊奈地区の狭い道路を拡幅整備するため、道路の現況を把握するための測量を実施したことにより、拡幅計画を策定するための基礎資料を作成することができた。						節の内訳		金額
						13 委託料		6,156,000
						計		6,156,000
〔事業実績及び評価〕						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		4,900,000
						地方債		
						その他		1,256,000
一般財源								
計		6,156,000						

科目	款 項 目			事業	事業名	主管課		
	08	02	03			79	市道深沢線道路拡幅整備事業経費(用地買収)	建設課
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	6,560,000		△1,200,000			5,360,000	110,421	
26年度	13,087,000		0			13,087,000	9,857,851	
増減額	△6,527,000		△1,200,000	0	0	△7,727,000	△9,747,430	
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
五日市給食センターから市道小倉・山下線までの延長約670mの区間で、4m以下の狭隘道路を解消し、五日市と入野地区の交通円滑化と安全を確保するため4工区に分けて整備を進めるための用地買収を行う。 ＜平成27年度の主な事業内容＞ ・用地買収 約200㎡ ・物件補償 1件 〔事業実績及び評価〕 1 用地買収 筆数1 面積 11.42㎡ 金額 44,538円 2 物件等移転補償 件数1 金額 65,883円 用地測量に伴う地積測量図等の修正に時間を要し、第一工区の工事の遅れの影響もあり、第二工区区間の用地買収に至らなかった。						節の内訳		金額
						12 役務費		
						17 公有財産購入費		44,538
22 補償補填及び賠償金		65,883						
計		110,421						
〔事業実績及び評価〕						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		110,421
一般財源								
計		110,421						

科目	款 項 目			事業	事業名	主管課		
	08	02	03			80	市道深沢線道路拡幅整備事業経費(整備)	建設課
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	56,834,000		0	△22,019,000		34,815,000	17,516,000	
26年度	37,000,000		△29,656,000	0		7,344,000	7,344,000	
増減額	19,834,000		29,656,000	△22,019,000	0	27,471,000	10,172,000	
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
地域住民の通勤・通学路等に利用されている道路であるが、狭いであり通行に支障をきたしていることから、地域自治会からの要望もあり、道路の拡幅整備を行い、安全で円滑な通行を確保し、交通の利便性の向上を進める。 ＜平成27年度の主な事業内容＞ ・市道深沢線道路改修舗装工事及び補償代行工事(第1工区) 延長105m、幅員7.5m 〔事業実績及び評価〕 市道深沢線道路改修舗装工事及び補償代行工事 本工事は、急峻な地形での道路拡幅整備であることから、工事が難航し繰越事業となっている。設計変更により、土留め工を実施し引き続き工事を進めていく。						節の内訳		金額
						15 工事請負費		17,516,000
						計		17,516,000
〔事業実績及び評価〕						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		7,620,000
						地方債		
						その他		9,896,000
一般財源								
計		17,516,000						

(単位:円)

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	08	02	03	82		建設課		
					市道五日市218号線道路整備事業経費(整備)			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	39,227,000				△ 24,776,000		14,451,000	11,484,000
26年度	0				0		0	0
増減額	39,227,000		0		△ 24,776,000	0	14,451,000	11,484,000
【事業概要】						平成27年度決算額		
市道五日市218号線は、市道深沢線の道路改修舗装工事に伴い、取り付けに段差が生じることから、それを解消するための道路整備を行う。 ＜平成27年度の主な事業内容＞ ・道路改修舗装工事 延長100m、幅員4.0m						節の内訳		金額
						15 工事請負費		11,484,000
						計		11,484,000
【事業実績及び評価】 市道五日市218号線道路改修舗装工事 本路線は、市道深沢線の拡幅整備に伴い発生した深沢線への取り付け道路である。本路線も深沢線と同様な理由により繰越事業となっている。						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		5,120,000
						地方債		
						その他		
一般財源		6,364,000						
計		11,484,000						

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	08	02	03	83		建設課		
					武蔵増戸駅南口まちづくり道路整備事業経費(用地買収)			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	22,538,000					0	22,538,000	6,649,492
26年度	45,680,000					△ 228,000	45,452,000	22,705,330
増減額	△ 23,142,000		0		0	228,000	△ 22,914,000	△ 16,055,838
【事業概要】						平成27年度決算額		
地域住民生活の利便向上のため、東西幹線道路として位置づけられた市道伊奈44号線について道路整備を行う。 ＜平成27年度の主な事業内容＞ ・用地買収 約212㎡ ・物件補償 2件						節の内訳		金額
						12 役務費		172,800
						17 公有財産購入費		4,361,330
【事業実績及び評価】 1 用地買収 筆数1 面積 50.42㎡ 金額 4,361,330円 2 物件等移転補償 件数1 金額 2,115,362円 残り2名の地権者のうち、1名から用地買収を行うことができた。						22 補償補填及び賠償金		2,115,362
						計		6,649,492
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		3,180,000
地方債								
その他								
一般財源		3,469,492						
計		6,649,492						

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	08	02	03	85		建設課		
					西秋川衛生組合関連環境整備事業経費(整備)			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	69,666,000		0				69,666,000	63,726,480
26年度	37,100,000		△ 960,000				36,140,000	34,020,000
増減額	32,566,000		960,000		0	0	33,526,000	29,706,480
【事業概要】						平成27年度決算額		
西秋川衛生組合関連環境整備事業として、地元自治会との協定に基づく地域振興事業に関する覚書により、西秋川衛生組合から執行の依頼を受け、道路整備事業を行う。 ＜平成27年度の主な事業内容＞ ・市道高尾56号線側溝補修工事(延長470m)						節の内訳		金額
						15 工事請負費		63,726,480
						計		63,726,480
【事業実績及び評価】 1 市道高尾56号線側溝補修工事 本路線の老朽化した側溝を補修し交通の安全が図られた。 2 市道高尾56号線舗装補修工事 側溝と同様に傷んだ舗装を打ち替えたことにより交通の安全が図られた。						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		55,464,480
						その他		
一般財源		8,262,000						
計		63,726,480						



(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課		
	08	02	03	87	都道伊奈福生線道路整備事業経費(用地買収)			建設課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	412,383,000						412,383,000	78,407,435		
26年度	301,958,000						301,958,000	74,231,214		
増減額	110,425,000		0		0	0	110,425,000	4,176,221		
[事業概要]							平成27年度決算額			
<p>東京都からの受託事業として、一般都道伊奈福生線(第165号線)の既成整備済の引田地内西端から秋川消防署までの区間及び関連事業(影響区間)として、一般都道山田平井線(第185号線)の日の出町境から南へ250mの区間の道路整備に伴う用地買収を行う。</p> <p>&lt;平成27年度の主な事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収 宅地約1,426㎡、畑約382㎡</li> <li>・物件補償 14件</li> </ul> <p>[事業実績及び評価]</p> <p>1 用地買収 筆数8 面積 240.79㎡ 金額 25,821,415円</p> <p>2 物件等移転補償 件数5 金額 50,001,733円</p> <p>用地買収が主に市街地に移り、建物等が存在する土地が多く、1件当たりの補償費の算定に時間を要し、居住者がいる場合も多いことから、用地買収の進捗が遅くなっている状況にある。</p>							節の内訳		金額	
							09 旅費	17,918		
11 需用費	249,985									
12 役務費	388,800									
13 委託料	1,628,424									
15 工事請負費	299,160									
17 公有財産 購入費	25,821,415									
22 補償補填及 び賠償金	50,001,733									
	計		78,407,435							
							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
都支出金										
地方債										
その他	78,407,435									
一般財源										
	計		78,407,435							

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課		
	08	02	03	89	秋3・5・15二宮東西線整備事業経費(用地買収)			建設課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	41,893,000						41,893,000	32,590,093		
26年度	27,102,000						27,102,000	17,839,240		
増減額	14,791,000		0		0	0	14,791,000	14,750,853		
[事業概要]							平成27年度決算額			
<p>東京都からの受託事業として、主要地方道第7号杉並あきる野線(二宮地内)の清水外科前交差点から西へ、市民体育館前交差点までの一般部を含む秋多都市計画道路3・5・15号線の拡幅整備に伴う用地買収を行う。</p> <p>&lt;平成27年度の主な事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収 約664㎡</li> <li>・物件補償 8件</li> </ul> <p>[事業実績及び評価]</p> <p>1 用地買収 筆数13 面積 766.94㎡ 金額 20,797,059円</p> <p>2 物件等移転補償 件数14 金額 10,094,860円</p> <p>ほぼ計画に沿う形で、事業を執行することができた。</p>							節の内訳		金額	
							09 旅費	11,050		
11 需用費	49,996									
12 役務費	269,200									
13 委託料	185,328									
15 工事請負費	1,182,600									
17 公有財産 購入費	20,797,059									
22 補償補填及 び賠償金	10,094,860									
	計		32,590,093							
							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
都支出金										
地方債										
その他	32,590,093									
一般財源										
	計		32,590,093							

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	08	02	04	50	橋梁維持事業経費		建設課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	48,203,000						48,203,000	44,247,600
26年度	6,004,000						6,004,000	5,292,000
増減額	42,199,000		0		0	0	42,199,000	38,955,600
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
市道に架かる橋梁を「あきる野市橋梁長寿命化修繕計画」に基づきの適正な管理を行うため、橋梁点検、橋梁補修設計、橋梁補修工事を実施する。 ＜平成27年度の主な事業内容＞ ・橋梁補修設計 1橋(久保川原橋) ・橋梁補修工事 1橋(網代橋) ・橋梁点検 6橋							節の内訳	金額
							13 委託料	9,525,600
〔事業実績及び評価〕 あきる野市橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の維持補修 あきる野市が管理する橋梁を維持するため、網代橋の補修工事、久保川原橋の補修設計、6橋の橋梁点検を実施した。あきる野市が管理する橋梁は224橋あり、今後、橋梁を維持するための維持管理経費を増やす必要がある。							15 工事請負費	34,722,000
							16 原材料費	
							計	44,247,600
							決算内訳	金額
							国庫支出金	15,285,000
							都支出金	17,985,000
							地方債	10,200,000
							その他	
							一般財源	777,600
							計	44,247,600

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	08	02	05	01	交通安全施設維持管理経費		管理課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	65,185,000		0				65,185,000	63,184,939
26年度	57,916,000		6,068,000				63,984,000	63,948,689
増減額	7,269,000		△ 6,068,000		0	0	1,201,000	△ 763,750
〔事業概要〕 市道利用者の安全を確保するため、道路照明の維持管理を行う。							平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 1 街路灯電気料金 2 LED街路灯借上(債務負担行為) 利用者の安全確保のため、道路照明の維持管理を適切に実施した。							節の内訳	金額
							11 需用費	29,190,139
							14 使用料及び賃借料	33,994,800
							計	63,184,939
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	63,184,939
							計	63,184,939

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	08	02	05	02	交通安全施設維持補修経費		建設課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	4,098,000		600,000				4,698,000	4,424,432
26年度	4,098,000		450,000				4,548,000	4,285,533
増減額	0		150,000		0	0	150,000	138,899
〔事業概要〕 道路に設置してある交通安全施設を、正常な状態で機能するよう維持管理を行うことで、交通事故防止等、市民の安全を確保する。							平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 道路付属物である交通安全施設の維持管理 交通安全施設の維持管理のため必要な修繕等を実施し交通事故の防止等の市民の安全確保に寄与した。一方、懸念事項として、増え続ける交通安全施設の維持管理に予算が不足し、毎年補正を行っている状況にある。							節の内訳	金額
							11 需用費	1,988,006
							13 委託料	2,088,234
							14 使用料及び賃借料	
							16 原材料費	348,192
							計	4,424,432
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	1,300,000
							地方債	
							その他	
							一般財源	3,124,432
							計	4,424,432

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課	
	08	02	05	50	交通安全施設整備経費		建設課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	13,866,000		7,340,000				21,206,000	21,075,593
26年度	10,664,000		7,740,000				18,404,000	18,346,383
増減額	3,202,000		△ 400,000		0	0	2,802,000	2,729,210
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
安全な通行が出来るように、市内道路の危険箇所安全施設を設置する。 ＜平成27年度の事業内容＞ 道路照明設置工事、道路反射鏡設置工事、区画線設置工事、すべり止め舗装新設工事、防護柵新設工事、警戒標識設置工事、道路鋸設置工事							節の内訳	金額
							09 旅費	16,344
〔事業実績及び評価〕 安全施設設置工事 安全施設の設置は、市民からの要望、交通管理者からの要望等、毎年数多くの要望が寄せられ、その要望に応じる。一方、毎年補正予算を組まなければ対応できない状況である。増え続ける安全施設を維持管理にも多くの費用が必要となっている。							11 需用費	8,899
							15 工事請負費	21,050,350
							19 負担金補助及び交付金	
							計	21,075,593
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	11,000,000
							地方債	
							その他	
							一般財源	10,075,593
							計	21,075,593

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課	
	08	03	01	01	都市計画総務一般経費		都市計画課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,800,000						1,800,000	1,459,513
26年度	6,885,000						6,885,000	6,502,641
増減額	△ 5,085,000		0		0	0	△ 5,085,000	△ 5,043,128
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
将来的な都市像を見据えた都市の健全な発展を実現するため、その基本施策となる計画的な土地利用の推進及び都市環境の整備を図る。							節の内訳	金額
							01 報酬	172,000
〔事業実績及び評価〕 1 第26回都市計画審議会 開催日 7月17日 案件 ・秋多都市計画生産緑地地区の変更について							09 旅費	211,566
							11 需用費	738,567
2 第27回都市計画審議会 開催日 12月22日 案件 ・あきる野市用途地域等に関する指定方針及び指定基準の決定について							12 役務費	26,370
							14 使用料及び賃借料	259,410
・秋多都市計画用途地域の変更について ・秋多都市計画高度地区の変更について ・秋多都市計画防火地域及び準防火地域の変更について ・秋多都市計画地区計画の決定について(初雁地区地区計画) ・秋多都市計画下水道の変更について ・秋多都市計画生産緑地地区の変更について							19 負担金補助及び交付金	45,000
							27 公課費	6,600
あきる野市都市計画マスタープラン及び土地利用方針等に基づき武蔵引田駅北口地区及び、牛沼宇初雁地区等の計画的な土地利用の推進を図った。							計	1,459,513
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	1,459,513
							計	1,459,513

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課	
	08	03	01	52	住宅耐震助成事業経費		都市計画課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,300,000						2,300,000	975,000
26年度	2,300,000						2,300,000	1,325,000
増減額	0		0		0	0	0	△ 350,000
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
昭和56年以前に建築された木造2階建ての戸建て住宅で自己用住宅に対し、災害から市民の生命と財産を守るため住宅耐震診断及び改修の費用を一部助成する。 ・耐震診断助成については、限度額25,000円 ・耐震改修助成については、耐震診断の結果、倒壊する可能性があると判断された住宅が対象。改修助成額は、改修費用の3分の1で、限度額30万円							節の内訳	金額
							19 負担金補助及び交付金	
〔事業実績及び評価〕 ・耐震診断実績 3件 75,000円 ・耐震改修実績 3件 900,000円 平成27年度末耐震化率78.2%							計	975,000
							決算内訳	金額
							国庫支出金	37,000
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	938,000
							計	975,000

(単位：円)

科目	事業				事業名 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業経費	主管課		
	08	03	01	53		都市計画課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	8,796,000						8,796,000	0
26年度	8,870,000						8,870,000	0
増減額	△74,000					0	△74,000	0
[事業概要] 東京都が指定する特定緊急輸送道路に係る沿道建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぎ、広域的な避難路及び輸送路を確保するため、沿道建築物の耐震改修等に係る費用を補助する。  [事業実績及び評価] ・補強設計実績 0件 ・改修実績 0件	平成27年度決算額							
	節の内訳						金額	
	19 負担金補助及び交付金							
							計	0
	決算内訳						金額	
国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源								
						計	0	

科目	事業				事業名 武蔵引田駅周辺地区土地区画整理事業経費	主管課		
	08	03	02	58		区画整理推進室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,198,012,000						1,198,012,000	1,115,557,632
26年度	22,998,000						22,998,000	11,100,227
増減額	1,175,014,000		0		0	0	1,175,014,000	1,104,457,405
[事業概要] 都市計画マスタープランに基づき、武蔵引田駅北口地区について、土地区画整理事業の手法により住・商・工・農のバランスのとれた複合市街地を形成し、良好な生活環境の創出と周辺の自然環境等に配慮した産業誘致等を目指す。 平成27年度は、事業化に向け、事業認可等に伴う業務やまちづくり協議会の運営補助、事業区域内の用地買収等を行う。  [事業実績及び評価] 1 武蔵引田駅北口土地区画整理事業事業計画作成及び決定等関連他業務委託 工期 平成27年 5月15日～平成27年11月30日 成果品 協議会等の議事録、事業計画の作成に伴う説明会に係る資料、事業計画図書作成等に係る資料等 2 武蔵引田駅北口土地区画整理事業に伴う基準点改測・座標変換及び現況補足測量業務 工期 平成27年 4月17日～10月15日 成果品 基準点成果表、総合現況図等 3 武蔵引田駅北口土地区画整理事業に伴う用地測量業務委託 工期 平成27年12月28日～平成28年 3月30日 成果品 面積計算簿、地積測量図等 4 武蔵引田駅北口土地区画整理事業に伴う権利者等確認調査業務委託 工期 平成27年12月28日～平成28年 3月30日 成果品 権利変動調書、土地登記簿調書、住民票調査簿等 5 武蔵引田駅北口土地区画整理事業 事業計画案 説明会 実施日 平成27年 7月16、17、18日 出席者数 90人 6 武蔵引田駅北口地区区画整理事業用地買収 契約日 平成28年 1月14日～ 3月25日 登記日 平成28年 1月15日～ 4月 8日 買収面積 16725.93㎡ 武蔵引田駅北口土地区画整理事業事業計画の策定及び決定を行い、事業の施行に必要な権利調査や事業区域内の用地買収を行った。また、地権者向けに説明会を開催し、事業計画の理解に努めた。	平成27年度決算額							
	節の内訳						金額	
	11 需用費							318,778
	12 役務費							2,211,735
	13 委託料							9,884,592
	14 使用料及び賃借料							346,752
	15 工事請負費							
	17 公有財産購入費							1,102,718,375
	19 負担金補助及び交付金							45,000
	27 公課費							32,400
						計	1,115,557,632	
決算内訳						金額		
国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源								
							1,115,557,632	
						計	1,115,557,632	

(単位：円)

科目	事業				事業名			主管課		
	08	03	06	01	都市公園維持管理経費			管理課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	41,996,000						41,996,000	40,861,268		
26年度	43,862,000						43,862,000	42,076,864		
増減額	△ 1,866,000		0		0	0	△ 1,866,000	△ 1,215,596		
[事業概要] 都市公園(32か所)利用者の安全と利便性を確保するため、施設(樹木、遊具、設備)の維持管理を行う。							平成27年度決算額			
[事業実績及び評価] 1 公園修繕関係 秋留野広場外32件 2 公園管理委託関係 清掃及びパトロール等を実施。 利用者の安全と利便性を確保するため、公園管理を適切に実施した。							節の内訳		金額	
							07 賃金	190,032		
							08 報償費	120,000		
							11 需用費	7,516,834		
							12 役務費	10,308		
							13 委託料	32,964,694		
							16 原材料費	59,400		
							計	40,861,268		
							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
							都支出金			
							地方債			
							その他	393,074		
							一般財源	40,468,194		
							計	40,861,268		

科目	事業				事業名			主管課		
	08	03	06	02	水辺公園維持管理経費			管理課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	1,013,000						1,013,000	809,214		
26年度	1,008,000						1,008,000	918,186		
増減額	5,000		0		0	0	5,000	△ 108,972		
[事業概要] 水辺公園利用者の安全と利便性を確保するため、施設(トイレ、樹木等)の維持管理を行う。							平成27年度決算額			
[事業実績及び評価] 1 トイレ修繕関係 男子トイレ 1件 2 公園管理委託関係 清掃及び剪定を実施。 利用者の安全と利便性を確保するため、公園管理を適切に実施した。							節の内訳		金額	
							11 需用費	120,534		
							13 委託料	688,680		
							16 原材料費			
							計	809,214		
							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
							都支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源	809,214		
							計	809,214		

科目	事業				事業名			主管課		
	08	03	06	04	都市公園以外の公園維持管理経費			管理課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	4,406,000						4,406,000	3,795,784		
26年度	4,535,000						4,535,000	3,465,638		
増減額	△ 129,000		0		0	0	△ 129,000	330,146		
[事業概要] 都市公園以外の公園(34か所)利用者の安全と利便性を確保するため、施設(樹木、遊具、設備)の維持管理を行う。							平成27年度決算額			
[事業実績及び評価] 1 公園修繕関係 松原遊園 1件 2 公園管理委託関係 清掃及びパトロール等を実施。 利用者の安全と利便性を確保するため、公園管理を適切に実施した。							節の内訳		金額	
							11 需用費	340,549		
							12 役務費	27,790		
							13 委託料	3,379,925		
							16 原材料費	47,520		
							計	3,795,784		
							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
							都支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源	3,795,784		
							計	3,795,784		

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課	
	08	04	01	01	市営住宅維持管理経費		施設営繕課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	25,250,000		△ 2,802				25,247,198	21,736,183
26年度	15,412,000		4,300				15,416,300	17,558,945
増減額	9,838,000		△ 7,102		0	0	9,830,898	4,177,238
【事業概要】							平成27年度決算額	
健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で貸出し又は転貸を行う事業として、入退去事務、家賃等管理、施設管理などを行う。							節の内訳	金額
【事業実績及び評価】							01 報酬	
1 住宅管理戸数	5団地211戸						09 旅費	33,366
2 使用料調停額	住宅使用料 57,708,300円 駐車場使用料 3,682,900円 合計 61,391,200円						11 需用費	10,611,601
3 退去戸数	14戸						12 役務費	558,148
4 入居募集	募集戸数 15戸 応募世帯数 56世帯 平均倍率 3.7倍						13 委託料	9,021,308
5 特列入居	0件						14 使用料及び賃借料	1,254,600
6 用途廃止	9団地57棟						18 備品購入費	250,560
7 修繕件数	一般修繕 40件 退去に伴う修繕 15戸						19 負担金補助及び交付金	
入退去に関する事務や家賃等の管理、また施設の修繕工事を適宜実施し、適正な管理運営事務を行ったことで、住宅入居者における生活の安定を保つことができた。							27 公課費	6,600
							計	21,736,183
							決算内訳	金額
							国庫支出金	804,000
							都支出金	2,900,000
							地方債	
							その他	17,541,000
							一般財源	491,183
							計	21,736,183

科目	事業				事業名		主管課	
	08	04	02	02	市営住宅建替事業経費		施設営繕課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	48,900,000		0				48,900,000	48,661,560
26年度	1,431,353,000		38,600				1,431,391,600	1,468,844,767
増減額	△ 1,382,453,000		△ 38,600		0	0	△ 1,382,491,600	△ 1,420,183,207
【事業概要】							平成27年度決算額	
老朽化した木造市営住宅の草花地区への集約化が完了したことに伴い、移転後の住宅の除去解体工事及び用地売却に向けた敷地測量を行う。							節の内訳	金額
【事業実績及び評価】							13 委託料	7,992,000
1 市営住宅測量業務委託	6団地(折立・瀬戸岡・野辺・平沢・館谷・中村住宅跡地) 委託完了日 平成28年3月31日						15 工事請負費	40,669,560
2 市営住宅解体工事	9団地57棟 (折立住宅4棟、瀬戸岡住宅8棟、野辺住宅9棟、油平住宅7棟、平沢住宅9棟、増戸住宅2棟、館谷住宅3棟、中村住宅12棟、小中野住宅3棟) 工事完了日 平成28年3月15日						計	48,661,560
既存木造住宅の解体除去後、6団地の用地測量を行い、用地売却に向けた取組を進めることができた。							決算内訳	金額
							国庫支出金	48,507,000
							都支出金	
							地方債	
							その他	154,000
							一般財源	560
							計	48,661,560

(単位：円)

科目	事業				事業名		主管課	
	09	01	01	01	消防事務委託関係経費		地域防災課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	890,039,000		5,835,000				895,874,000	895,874,000
26年度	908,996,000		△ 18,954,000				890,042,000	890,042,000
増減額	△ 18,957,000		24,789,000		0	0	5,832,000	5,832,000
〔事業概要〕 常備消防については十分な機能が発揮されなければならないことから、人員、装備面等において高度な機能を有する東京消防庁に業務委託することにより、地域における発災から市民の生命と財産を守る。							平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 1 東京消防庁事務委託金 895,869,000円 2 三多摩地区消防運営協議会負担金 5,000円							節の内訳	
							13 委託料	895,869,000
							19 負担金補助及び交付金	5,000
							計	895,874,000
							決算内訳	
							国庫支出金	
							都支出金	270,055,000
							地方債	
							その他	
							一般財源	625,819,000
							計	895,874,000

科目	事業				事業名		主管課	
	09	01	02	03	消防団運営経費		地域防災課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	55,873,000		△ 702,000				55,171,000	52,507,351
26年度	57,815,000		0				57,815,000	55,714,232
増減額	△ 1,942,000		△ 702,000		0	0	△ 2,644,000	△ 3,206,881
〔事業概要〕 市民の生命財産を守るために組織する消防団を運営するため、団員報酬の支給、分団運営に対する補助等を行う。							平成27年度決算額	
組織 団本部及び7個分団23部体制 定員 506人 団員数 平成26年4月1日現在 441人(うち機能別団員49人) 平成26年12月1日現在 456人(うち機能別団員49人)							節の内訳	
							01 報酬	30,416,415
							08 報償費	20,000
							09 旅費	44,918
							10 交際費	75,000
							12 役務費	1,180,078
							13 委託料	329,184
							14 使用料及び賃借料	265,860
							19 負担金補助及び交付金	20,175,896
							計	52,507,351
〔事業実績及び評価〕 1 団員数 平成27年4月1日現在 431人(うち機能別団員52人) 平成28年3月1日現在 441人(うち機能別団員52人) 2 平成27年度中に在籍している団員に対し、団員報酬を支給した。 3 本団、団本部及び7個分団の23部に対し、運営費補助を行った。							決算内訳	
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	52,507,351
							計	52,507,351

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課
	09	01	02	04	消防団活動経費			地域防災課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	39,021,000		251,000				39,272,000	36,320,428
26年度	38,880,000		2,397,000				41,277,000	34,955,644
増減額	141,000		△ 2,146,000		0	0	△ 2,005,000	1,364,784
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
災害対応や防災活動における行動を組織的に行うに当たり、統一されたユニフォーム及び専用の装備が不可欠であることから、消防団員として活動するための被服・装備を整備するとともに、出動に対する費用の弁償等を行う。							節の内訳	金額
〔事業実績及び評価〕							08 報償費	538,455
1 新入団員11人に、消防団員として活動するための制服、活動服等の被服及びヘルメット、編上げ靴等の装備を購入した。							09 旅費	33,279,400
2 出動手当の支給							11 需用費	2,453,933
火災(764人)、訓練(10,827人)、水防警戒(13人)、							12 役務費	8,640
礼式(642人)、警戒(1,792人)、その他(1,089人)							14 使用料及び賃借料	40,000
							計	36,320,428
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	36,320,428
							計	36,320,428

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課
	09	01	03	50	消防施設整備経費			地域防災課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	9,688,000					5,000	9,693,000	9,524,301
26年度	9,706,000					△ 195,000	9,511,000	9,416,979
増減額	△ 18,000		0		0	200,000	182,000	107,322
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
災害時において、地域の防災拠点としての役割を持つ消防施設(詰所・器具置場)の整備及び維持管理を行うことにより、消防団の円滑な初動と災害対応力を確保する。							節の内訳	金額
〔事業実績及び評価〕							11 需用費	3,908,829
1 消防施設の光熱水費、電話料及び建物総合損害共済保険料							12 役務費	916,764
光熱水費 3,167,522円							13 委託料	89,078
電話料 850,293円							14 使用料及び賃借料	4,609,630
保険料 60,971円							計	9,524,301
2 第7分団第2部(乙津)の浄化槽維持管理委託料及び法定検査手数料							決算内訳	金額
浄化槽維持管理委託料 89,078円							国庫支出金	
浄化槽法定検査手数料 5,500円							都支出金	
3 消防施設の土地借上料 229件 4,609,630円							地方債	
							その他	
							一般財源	9,524,301
							計	9,524,301



(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課
	09	01	03	51	消防機械整備経費			地域防災課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	61,484,000		△ 4,665,000			△ 5,000	56,814,000	55,684,008
26年度	23,419,000		△ 735,000			△ 18,000	22,666,000	21,163,919
増減額	38,065,000		△ 3,930,000		0	13,000	34,148,000	34,520,089
【事業概要】							平成27年度決算額	
<p>消防団活動は、火災のみならず、近年多発している大型の台風やゲリラ豪雨等による水害など多岐に渡っている。これら災害等に迅速に対応するためには、平時における訓練はもとより、消防車両等の機械器具使用が不可欠であることから、消防車両等の機械器具の整備及び維持管理を行う。</p> <p>また、東京消防庁が使用している消防無線のアナログ受令波が、平成28年6月から停波されデジタル方式に移ることから、デジタル波受令機を整備する。</p> <p>・消防車両購入費 ポンプ車購入(第3分団第1部、第4分団第1部)</p>							節の内訳	金額
							11 需用費	3,238,148
							12 役務費	125,080
							18 備品購入費	51,902,180
							27 公課費	418,600
	計	55,684,008						
<p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 消防車両の購入(更新)</p> <p>第3分団第1部 ポンプ自動車購入</p> <p>第4分団第1部 ポンプ自動車購入</p> <p>2 デジタル波受令機購入(30台)</p> <p>【車載型】消防車両27台</p> <p>【携帯型】地域防災課、防災センター1階及び防災センター2階 各1台</p>							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	3,090,000
							地方債	
							その他	45,100,000
一般財源	7,494,008							
	計	55,684,008						

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課
	09	01	03	52	消防水利整備経費			地域防災課
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	24,809,000		21,368,000			0	46,177,000	44,473,051
26年度	16,935,000		0			213,000	17,148,000	13,381,576
増減額	7,874,000		21,368,000		0	△ 213,000	29,029,000	31,091,475
【事業概要】							平成27年度決算額	
<p>火災発生時においては、水利の確保が最も重要であることから、延焼火災を防ぎ、被害の拡大を防止するため、平時から消火栓及び防火水槽等の整備及び維持管理を行い、火災等の災害に迅速に対応できる環境を整備する。</p>							節の内訳	金額
							11 需用費	1,943,165
							13 委託料	284,040
							15 工事請負費	18,932,400
							18 備品購入費	397,980
19 負担金補助及び交付金	22,915,466							
	計	44,473,051						
<p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 防火水槽新設工事</p> <p>あきる野市二宮2, 305番地内 40t 1基(JA秋川東秋留支店)</p> <p>あきる野市雨間376番地4地内 40t 1基(雨間防災広場)</p> <p>2 消火栓新設・移設・撤去(負担金)</p> <p>東京都水道局が施工した工事による負担金</p>							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	14,200,000
							地方債	
							その他	30,273,051
一般財源								
	計	44,473,051						

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	09	01	04	04		地震・台風等災害対策経費	地域防災課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	24,098,000					199,000	24,297,000	23,587,964
26年度	11,268,000					0	11,268,000	10,998,425
増減額	12,830,000		0		0	199,000	13,029,000	12,589,539
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
地震、台風などの災害に対応するため、非常用食糧や防災備品の整備を進めるとともに、近年多発するゲリラ豪雨等への対応として設置した雨量計や情報通信機器等の活用に取り組む。平成27年度は、緊急時における生活用水を確保するために指定した災害時協力井戸の水質調査を実施、土砂災害防止法に基づき、都が指定する「土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域」を市民に周知するためのハザードマップの作成・全戸配布、大雨による河川の増水に対応するため設置されている排水ポンプの老朽化に伴う作動不良を解消するための改修を行う。						節の内訳		金額
						01 報酬		
	09 旅費			38,637				
	11 需用費			9,965,368				
	12 役務費			2,393,107				
	13 委託料			3,909,654				
	14 使用料及び賃借料			98,064				
	15 工事請負費			5,801,760				
	16 原材料費							
	18 備品購入費			1,276,374				
	19 負担金補助及び交付金			10,000				
						計	23,587,964	
〔事業実績及び評価〕						決算内訳		
1 「災害時協力拠点井戸」及び「地域の災害用井戸」の水質調査を実施 災害時における利用可能な生活用水を把握するとともに、井戸の所在地及び周辺状況等を確認することで、地域の防災体制の強化が図れた。 2 ハザードマップの作成・配布 市内を旧7町村(東秋留、多西、西秋留、増戸、五日市、戸倉、小宮)の地域に区分けしたハザードマップを作成し、全市民へ居住地区のハザードマップを配付した。(全戸配布31,963件) 作成部数34,900部 市民個人や世帯の災害対策、発災時における危険回避に活かされることで、地域全体の自助意識の醸成と防災力の強化が図れた。						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他	4,850,352	
						一般財源	14,337,612	
						計	23,587,964	

科目	事業				事業名	主管課		
	09	01	04	05		防災行政無線維持管理経費	地域防災課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	9,409,000					1,015,000	10,424,000	9,974,886
26年度	14,220,000					0	14,220,000	13,313,419
増減額	△4,811,000		0		0	1,015,000	△3,796,000	△3,338,533
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
防災行政無線を活用した災害・防犯情報、行政情報の発信を確実かつ円滑に実施するため、無線局の機能を常に最良の状態に保つための維持管理を行う。						節の内訳		金額
						08 報償費		
〔事業実績及び評価〕						11 需用費	2,761,015	
						12 役務費		
1 防災行政無線設備修繕 (1) 防災行政無線設備の運用に支障をきたす恐れがある無線局等について、修繕を行うことにより、適正な維持管理が図られた。 修繕料 803,736円 (2) 落雷により故障した防災行政無線屋外拡声子局について、緊急に修繕を行うことにより、適正な運用が保たれた。 修繕料 1,014,120円 【予備費充当】充当額 1,015,000円						13 委託料	6,527,520	
						14 使用料及び賃借料		
						計	9,974,886	
2 防災行政無線維持管理委託(固定系・移動系) 無線局の機能を最良の状態に保つために保守点検を業務委託することにより、適正な維持管理が図られた。 委託料…(固定系)4,719,600円、(移動系)1,512,000円						決算内訳		
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源	9,974,886	
						計	9,974,886	

(単位：円)

科 目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	09	01	04	06	自主防災組織育成経費		地域防災課		
区 分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	2,689,000					△ 199,000	2,490,000	2,170,850	
26年度	0					0	0	0	
増減額	2,689,000		0		0	△ 199,000	2,490,000	2,170,850	
〔事業概要〕 自主防災組織を結成した町内会・自治会に対し、防災倉庫及び資機材を貸与することにより、災害時における自主防災組織の活動の円滑化と地域住民の防災意識の高揚、地域防災力の向上を図る。平成27年度は、プリティッシュタウン自治会へ防災倉庫及び資機材を貸与する。							平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 1 防災倉庫設置工事 1,836,000円 2 防災資機材貸与 トランジスタメガホン 2台、かまどセット一式、ヘルメット 30個、腕章 30枚、土のう袋 100枚、防水シート 5枚 プリティッシュタウン自治会の活動拠点であるリバーサイドパークC公園に防災倉庫を設置し、防災資機材を貸与することで、同自治会の災害時初動体制を確保するとともに、地域コミュニティの活性化が図れた。							節の内訳		金額
							11 需用費	197,640	
							12 役務費	50	
							15 工事請負費	1,836,000	
							18 備品購入費	137,160	
							計	2,170,850	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金	1,400,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	770,850	
							計	2,170,850	

科、目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	09	01	04	07	防災・安心まちづくり地域活動支援事業経費		地域防災課		
区 分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	4,555,000						4,555,000	4,355,855	
26年度	4,613,000						4,613,000	4,608,171	
増減額	△ 58,000		0		0	0	△ 58,000	△ 252,316	
〔事業概要〕 地域力及び防災力の向上のため、防災・安心地域委員会の活動に対する支援を行う。 また、災害発生時等に、各地域で迅速かつ適切な災害対応が行われるよう、専門的な技術及び知識を有する地域防災リーダーの育成を行う。 ・防災・安全地域委員会活動事業交付金 3,500千円 ・地域防災リーダー認定者数 407人(平成26年度末見込)							平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 1 防災・安心地域委員会が実施する「防災コンクール」及び「活動発表会」等の活動に対し、支援を行った。 2 地域防災リーダー認定者数 461人(平成27年度末) 自主防災組織の活動力及び地域防災力の向上が図れた。							節の内訳		金額
							11 需用費	664,285	
							12 役務費	191,570	
							19 負担金補助 及び交付金	3,500,000	
							計	4,355,855	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源	4,355,855	
							計	4,355,855	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	01	01	03	教育委員会だより発行経費		教育総務課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,031,000						1,031,000	922,194
26年度	1,036,000						1,036,000	943,138
増減額	△ 5,000		0		0	0	△ 5,000	△ 20,944
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
市民が必要な教育活動に参加し、充実した人生を積み重ねていくことができるように、教育全般に関する情報を広く提供するため、教育広報紙を年度内に3回発行するとともに、ホームページを活用した広報活動を行う。							節の内訳	金額
							11 需用費	535,680
〔事業実績及び評価〕 広報あきる野「一房のぶどう」を3回発行した。 1 第34号 発行日 平成27年5月31日 ページ数 8頁 発行部数 26,500部 2 第35号 発行日 平成27年11月1日 ページ数 4頁 発行部数 26,500部 3 第36号 発行日 平成28年3月15日 ページ数 4頁 発行部数 26,500部 4 各号は、発行後にホームページに掲載した。 教育広報紙を配布及びホームページに掲載することで、市民をはじめ他の地域へあきる野市の学校教育及び生涯学習に関する情報を発信した。							12 役務費	386,514
							計	922,194
							決算内訳	
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	922,194
							計	922,194

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	01	02	07	小規模学校対策事業経費		教育総務課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	9,521,000						9,521,000	8,519,048
26年度	7,753,000					1,726,000	9,479,000	8,582,863
増減額	1,768,000		0		0	△ 1,726,000	42,000	△ 63,815
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
平成25年4月1日に戸倉小学校が五日市小学校に統合したことで、小宮小学校と戸倉小学校の学校規模に対する対応は終了したが、小宮・戸倉地区の児童・生徒の、通学手段の確保及び統合先となる五日市小学校の環境整備等新たな学校環境に対する対応を行うため、関連事業経費を計上する。							節の内訳	金額
							07 賃金	793,059
〔事業実績及び評価〕 1 戸倉在住児童が路線バス通学する際の添乗(1学期のみ) 4月…18日間、5月…18日間、6月…22日間、7月…13日間 計71日 2 五日市小学校に通学する乙津、養沢在住児童に対するスクールバスの運行対象児童数13人 3 五日市小学校に路線バスで通学する戸倉在住児童保護者に対する遠距離通学費補助金の支給 支給者数20人 遠距離から路線バス及びスクールバスで通う児童の通学上の安全確保ができた。							12 役務費	28,365
							13 委託料	6,671,160
							18 備品購入費	378,000
							19 負担金補助及び交付金	648,464
							計	8,519,048
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	4,259,523
							地方債	
							その他	
							一般財源	4,259,525
							計	8,519,048

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	10	01	02	10		教育総務課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,523,000						2,523,000	2,181,060
26年度	2,692,000						2,692,000	2,340,360
増減額	△169,000		0		0	0	△169,000	△159,300
<b>〔事業概要〕</b> 東京都帰宅困難者対策条例及び学校防災マニュアルに基づき、災害時に学校に留め置く児童・生徒及び安全管理等を行なう教職員の食料、毛布等を備蓄する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 市教育委員会では、災害発生時の初動対応として児童・生徒を学校へ留め置くことを想定し、児童・生徒及び教職員の3割が発災後1日を過ごせるよう平成25年度から計画的に備蓄品を購入しており、平成27年度も計画的購入を行った。 購入数量(小中学校合計) 毛布 49箱(490枚)、アルファ化米 27箱(1,350食)、 飲料水(2ℓ入ペットボトル)76箱(456本)						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						11 需用費	2,181,060	
						計	2,181,060	
<b>〔事業概要〕</b> 外国人児童・生徒への日本語指導講師の謝礼、水泳指導監視補助員等の報償や教科書、指導書、副読本の購入・印刷製本及び各種協議会等への負担金、補助金などの教育指導に関する経費を計上する。 また、小学校3年生、5年生及び中学1年生を対象にした児童・生徒心理テスト調査委託料を計上し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 外国人児童・生徒日本語指導講師及び通訳謝礼 小学校2校 対象児童数4人 講師数延べ4人 166時間 2 水泳指導監視補助員 小学校10校 中学校3校 延べ72人 3 児童・生徒心理テスト調査委託料 小学校3年・5年、中学校1年 計2,258部 小学校3年生、5年生及び中学校1年生を対象にした児童・生徒心理テストを実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用した。						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
その他								
一般財源	2,181,060							
計	2,181,060							

科目	事業				事業名	主管課		
	10	01	03	01		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	31,330,000		171,000			△87,000	31,414,000	28,393,349
26年度	14,601,000		0			0	14,601,000	12,689,599
増減額	16,729,000		171,000		0	△87,000	16,813,000	15,703,750
<b>〔事業概要〕</b> 外国人児童・生徒への日本語指導講師の謝礼、水泳指導監視補助員等の報償や教科書、指導書、副読本の購入・印刷製本及び各種協議会等への負担金、補助金などの教育指導に関する経費を計上する。 また、小学校3年生、5年生及び中学1年生を対象にした児童・生徒心理テスト調査委託料を計上し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 外国人児童・生徒日本語指導講師及び通訳謝礼 小学校2校 対象児童数4人 講師数延べ4人 166時間 2 水泳指導監視補助員 小学校10校 中学校3校 延べ72人 3 児童・生徒心理テスト調査委託料 小学校3年・5年、中学校1年 計2,258部 小学校3年生、5年生及び中学校1年生を対象にした児童・生徒心理テストを実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用した。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						01 報酬	152,000	
						08 報償費	971,320	
09 旅費	181,427							
11 需用費	21,764,275							
12 役務費	92,636							
13 委託料	2,628,051							
14 使用料及び賃借料	70,930							
19 負担金補助及び交付金	2,532,710							
計	28,393,349							
<b>〔事業概要〕</b> 外国人児童・生徒への日本語指導講師の謝礼、水泳指導監視補助員等の報償や教科書、指導書、副読本の購入・印刷製本及び各種協議会等への負担金、補助金などの教育指導に関する経費を計上する。 また、小学校3年生、5年生及び中学1年生を対象にした児童・生徒心理テスト調査委託料を計上し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 外国人児童・生徒日本語指導講師及び通訳謝礼 小学校2校 対象児童数4人 講師数延べ4人 166時間 2 水泳指導監視補助員 小学校10校 中学校3校 延べ72人 3 児童・生徒心理テスト調査委託料 小学校3年・5年、中学校1年 計2,258部 小学校3年生、5年生及び中学校1年生を対象にした児童・生徒心理テストを実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用した。						決算内訳		金額
						国庫支出金		
						都支出金		
						地方債		
その他								
一般財源	28,393,349							
計	28,393,349							

(単位:円)

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課			
	10	01	03	02	教職員研修関係経費		指導室			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	2,451,000						2,451,000	1,681,418		
26年度	3,039,000						3,039,000	2,228,935		
増減額	△ 588,000		0		0	0	△ 588,000	△ 547,517		
〔事業概要〕					平成27年度決算額					
<p>小・中学校の教職員に対し、悉皆研修や独自研修を実施する。さらに、各学校の課題や所属職員の状況に即した校内研修等を行うことで、教職員の資質を向上し、多種多様化した課題に対応し得る人材を育成する。</p> <p>また、教員の大量退職期を迎え、新規採用教員が急増している中、教職員研修センターの指導員が、新規採用から4年次までの若手教員の授業観察を行い、学習指導法や学級経営についての指導・助言を行うことや教員からの相談に応じることで、若手教員の資質向上を進める。</p>					節の内訳		金額			
					01 報酬	1,246,560				
〔事業実績及び評価〕					08 報償費		250,300			
					09 旅費		32,246			
<p>あきる野市教育委員会として、以下のとおり研修事業を計画し実施した。また、市独自研修の他に、共催又は他の研究機関による研修会に市立学校の教職員を参加させ、人材育成に努めた。</p> <p>1 あきる野市教育委員会が実施した研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹教諭研修会 2回実施 49人参加</li> <li>・初任者研修会 10回実施 189人参加</li> <li>・初任者宿泊研修会 6回実施 114人参加</li> <li>・2年次教員研修会 6回実施 79人参加</li> <li>・3年次教員研修会 4回実施 51人参加</li> <li>・10年経験者研修会 10回実施 96人参加</li> <li>・人権教育研修会(4市1郡) 2回実施 35人参加</li> <li>・教育課題研修会(4市1郡) 2回実施 29人参加</li> <li>・主任教諭任用時研修 1回実施 10人参加</li> <li>・理科指導力向上研修 2回実施 12人参加</li> <li>・特別支援教育研修会(あきる野学園共催) 7回実施 546人参加</li> <li>・学校マネジメント講座 8回実施 32人参加</li> </ul> <p>2 外部機関が行った研究及び研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都教職員研修センターの職層研修、教科等教育課題研修</li> <li>・東京都特別支援教育コーディネーター養成研修</li> <li>・人権教育研究協議会(管理職、主幹教諭及び進路指導担当)</li> </ul>					11 需用費		81,369			
										12 役務費
14 使用料及び賃借料		70,023								
					計		1,681,418			
					決算内訳		金額			
					国庫支出金					
					都支出金		502,774			
					地方債					
					その他					
					一般財源		1,178,644			
					計		1,681,418			

科目	款 項 目 事業				事業名		主管課			
	10	01	03	08	せせらぎ教室管理経費		指導室			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	6,293,000						6,293,000	5,821,735		
26年度	6,306,000						6,306,000	6,267,723		
増減額	△ 13,000		0		0	0	△ 13,000	△ 445,988		
〔事業概要〕					平成27年度決算額					
<p>心理的要因により、学校生活に不応感を抱いている児童・生徒及び不登校児童・生徒に対し、適応指導教室「せせらぎ教室」において、適切な指導・助言を行い、改善及び在籍校への復帰を目指す。</p>					節の内訳		金額			
					01 報酬	5,647,680				
〔事業実績及び評価〕					11 需用費		68,632			
					12 役務費		36,551			
<p>1 指導員 9人</p> <p>2 在室児童・生徒数 小学生1人 中学生23人 計24人</p> <p>心理的要因により学校生活に不応感を抱いている児童・生徒及び不登校児童・生徒に対し、適切な指導・助言を行った。そのことにより、改善及び在籍校への復帰が果たせた。また、中学3年生については、ほぼ高校進学につながった。</p>					14 使用料及び賃借料		68,872			
					計		5,821,735			
					決算内訳		金額			
					国庫支出金					
					都支出金					
					地方債					
					その他					
					一般財源		5,821,735			
					計		5,821,735			

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課					
	10	01	03	11	都費教育指導経費			指導室					
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額					
27年度	162,000						162,000	158,952					
26年度	159,000						159,000	156,420					
増減額	3,000		0		0	0	3,000	2,532					
<b>〔事業概要〕</b> 6月中旬から7月上旬まで、庁舎別館の教科書センターにおいて教科書展示会を実施しており、その監視員に要する経費を計上する。 なお、平成27年度は中学校教科書の採択替えがあるため、特別展示会(6月上旬から中旬を予定)を実施する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 展示場所 市役所別館1階教科書センター(東京都西多摩第二教科書センター) 2 特別展示会 平成27年6月5日から6月18日まで。休館日を除く10日間 3 法定展示会 平成27年6月19日から7月8日まで。休館日を除く14日間 4 展示会来館者 延べ149人 適正に実施することができた。また、多くの来館者があり、教科書に対する関心の高さが伺えた。							平成27年度決算額						
							節の内訳						金額
							07 貸金						158,952
							計						158,952
							決算内訳						金額
国庫支出金													
都支出金						158,952							
地方債													
その他													
一般財源													
計						158,952							

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課					
	10	01	03	12	特別支援教育推進事業経費			指導室					
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額					
27年度	6,832,000		1,500,000			58,000	8,390,000	8,143,590					
26年度	6,900,000		0			0	6,900,000	6,690,344					
増減額	△68,000		1,500,000		0	58,000	1,490,000	1,453,246					
<b>〔事業概要〕</b> 通常の学級等に在籍し、特別な支援を要する児童・生徒へ適切な支援を行うため、臨床心理士による巡回相談を実施するとともに、特別支援学級に在籍する児童・生徒への関わり方について検討するために、専門医の学校訪問指導を実施する。 さらに、特別な支援を要すると思われる児童・生徒への適切な就学先を提供するため、就学相談を実施する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> ・特別支援教育検討委員会 委員会開催 1回 ・特別支援教育就学相談委員会 委員会開催 8回 付議案件67件 ・特別支援教育入級相談委員会 委員会開催 9回 付議案件60件 ・特別支援教室準備会 委員会開催 2回 臨床心理士による巡回相談や専門医の学校訪問指導を実施し、特別な支援を要する児童・生徒へ適切な支援を行うことができた。また、特別な支援を要すると思われる児童・生徒への適切な就学先を提供するために、各関係機関と連携するとともに、保護者の意向を十分に考慮した就学相談を実施した。							平成27年度決算額						
							節の内訳						金額
							01 報酬						6,084,000
							08 報償費						517,500
							09 旅費						29,870
11 需用費						77,504							
15 工事請負費						249,480							
18 備品購入費						1,185,236							
計						8,143,590							
決算内訳						金額							
国庫支出金													
都支出金						1,434,000							
地方債													
その他													
一般財源						6,643,590							
計						8,077,590							

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	01	03	14	市立小中学校教育情報ネットワーク事業経費		教育総務課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	6,847,000						6,847,000	6,598,168	
26年度	6,618,000						6,618,000	6,468,259	
増減額	229,000		0		0	0	229,000	129,909	
〔事業概要〕 小・中学校16校、教育相談所、せせらぎ教室等の教育関係施設をネットワーク化し、デジタルデータでの配信をすることで作業を効率化する。							平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 データ読み書き時の性能の向上やサイバー攻撃の脅威、また、大規模なデータ漏洩を防ぐセキュリティ対策能力等の向上のため、あきる野市教育情報ネットワーク用サーバの入替を行った。その他、教育情報機器に関する消耗品等の配備を行った。 コンピュータのパフォーマンス向上により教職員の事務能率及びセキュリティ対策能力等の向上を図ることができた。							節の内訳		金額
							11 需用費	193,504	
							12 役務費	1,020,516	
							14 使用料及び賃借料	5,384,148	
							計	6,598,168	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源	6,598,168	
							計	6,598,168	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	01	03	21	部活動等振興事業経費		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	19,435,000		0			2,415,000	21,850,000	19,405,168	
26年度	19,450,000		750,000			0	20,200,000	17,326,861	
増減額	△15,000		△750,000		0	2,415,000	1,650,000	2,078,307	
〔事業概要〕 小・中学校の文化活動及び対外活動に参加するために必要な経費や、大会参加の経費を支援する。また、中学校における部活動の充実及び円滑な推進を図るために配置している、部活動外部指導補助員に対する支援も行う。							平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 部活動外部指導補助員 中学校全校 29部 延べ50人 小・中学校の文化活動及び対外活動に参加するために必要な経費で、中学校の部活動では全国大会に出場した部もあった。 また、部活動外部指導補助員においては、所属する生徒に必要な技術的及び専門的な指導助言を行った。							節の内訳		金額
							08 報償費	14,526,158	
							12 役務費	19,200	
							14 使用料及び賃借料	2,393,810	
							19 負担金補助及び交付金	2,466,000	
							計	19,405,168	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源	19,405,168	
							計	19,405,168	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	01	03	23	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業経費		教育総務課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	671,000						671,000	670,480	
26年度	671,000						671,000	670,150	
増減額	0		0		0	0	0	330	
〔事業概要〕 地域と連携した学校安全活動の推進及び充実に向け、学校安全推進会議、学校安全講習会及び活動報告会等を実施する。 また、警察官OBであるスクールガードリーダーの定期的な巡回を実施する。							平成27年度決算額		
〔事業実績及び評価〕 1 学校安全推進会議(年2回実施) 出席者 合計 149人 2 学校安全講習会(年2回実施) 出席者 合計 166人 テーマ 7月子どももの安全教育と地域防犯 12月子どもと地域の安全をどう守るか 学校安全に関する有識者から登下校時の子どもの見守り活動の講習を受講し、登下校の見守りに関する知識・技能を修得し日頃の活動に生かすことができた。							節の内訳		金額
							08 報償費	532,000	
							12 役務費	138,480	
							計	670,480	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金	446,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	224,480	
							計	670,480	



(単位：円)

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課		
	10	01	03		32	教育相談所管理経費		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	10,126,000					15,000	10,141,000	10,139,447		
26年度	10,025,000					0	10,025,000	9,996,971		
増減額	101,000		0		0	15,000	116,000	142,476		
〔事業概要〕							平成27年度決算額			
<p>子どもやその保護者の家庭や学校での教育に関する悩みや相談事について、臨床心理士や専任相談員が相談に応じ、助言や必要な情報の提供を行うとともに、教職員を対象とした相談を行う。</p> <p>また、教育相談所では、臨床心理士による知能テストを実施しているが、相談件数の増加に伴い、検査の実施回数も増加しているため、秋川教育相談所に1セットしかない知能検査セットを、五日市教育相談所にも1セット配置し、効率的な対応を行う。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>相談員 12人 相談件数 203件  延べ相談回数 1,596回(来所1,393回 電話203回)  子どもやその保護者の家庭や学校での教育に関する悩みや相談ごとについて、助言や必要な情報提供を行った。また、知能検査セットを1セット購入したことで効率的な相談が行えるようになった。</p>							節の内訳		金額	
							01 報酬	9,904,560		
							11 需用費	90,083		
							18 備品購入費	129,600		
							23 返還金	15,204		
計		10,139,447								
〔事業実績及び評価〕							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
							都支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源	10,139,447		
計		10,139,447								

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課		
	10	01	03		33	中学生東京駅伝大会事業経費		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	153,000						153,000	84,041		
26年度	280,000						280,000	179,972		
増減額	△127,000		0		0	0	△127,000	△95,931		
〔事業概要〕							平成27年度決算額			
<p>中学生の健康増進や持久力を始めとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力の向上を目的として東京都が実施する区市町村対抗の中学生「東京駅伝」大会に参加するための経費を計上する。なお、大会には中学2年生の男女各1チーム21人ずつ計42人が参加する。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>開催日 平成28年2月7日  開催場所 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園 特設周回コース  走行区間等  男子の部 17区間 42.195km 参加生徒21人  女子の部 16区間 30km 参加生徒21人  学校や部活動の垣根を越えて高い目標に向けて切磋琢磨することができた。</p>							節の内訳		金額	
							11 需用費	82,801		
							14 使用料及び賃借料	1,240		
							計		84,041	
							〔事業実績及び評価〕			
							国庫支出金			
							都支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源	84,041		
計		84,041								

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課									
	10	01	03		34	学校と家庭の連携推進事業経費		指導室									
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額									
27年度	399,000		399,000				798,000	687,000									
26年度	399,000		0				399,000	343,000									
増減額	0		399,000		0	0	399,000	344,000									
〔事業概要〕							平成27年度決算額										
<p>いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待などの生活指導上の課題に対し、地域全体で取り組む教育体制及び地域や学校の実態に即した効果的な実現を図る。そのために、学校と家庭の連絡推進会議を設置し、家庭と子供の支援員及びスーパーバイザーを配置する。</p> <p>・実施指定校 多西小学校 (2年間のうち2年目)</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>支援を必要としていた児童が引き続き気持ちよく登校でき、担任は学級の全体指導に専念できた。</p>							節の内訳		金額								
							01 報酬	687,000									
							計		687,000								
							〔事業実績及び評価〕							決算内訳		金額	
														国庫支出金			
都支出金	192,000																
地方債																	
その他																	
一般財源	495,000																
計		687,000															

(単位：円)

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	10	01	04	01		幼児教育振興経費	保育課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	221,442,000		△ 11,983,000				209,459,000	201,292,440
26年度	211,446,000		7,210,000				218,656,000	205,337,551
増減額	9,996,000		△ 19,193,000		0	0	△ 9,197,000	△ 4,045,111
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>&lt;幼稚園における預かり保育促進事業&gt; 多様化する子育て支援ニーズの拡大や女性の社会進出の増加などに伴い、通常の教育(保育)時間以外の時間において、預かり保育を実施する。 &lt;私立幼稚園等園児保護者負担軽減費補助事業&gt; 私立幼稚園等に在籍する幼児の保護者の経済的負担を軽減するための補助を行う。</p> <p>&lt;私立幼稚園就園奨励費補助事業&gt; 入園料及び保育料の減免を行う私立幼稚園の設置者に対し補助を行う。</p> <p>&lt;私立幼稚園教育振興費補助事業&gt; 市内の私立幼稚園等における教育の振興と充実を図るため、教育活動に要する経費の一部の補助を行う。</p> <p>&lt;私立幼稚園等特別支援教育事業補助事業&gt; 幼児教育のより一層の振興と充実を図るため、私立幼稚園で行う特別支援教育事業に対し補助を行う。</p> <p>&lt;対象施設&gt; 市内 7施設 市民が通所する市外の幼稚園</p>						節の内訳		金額
						09 旅費		
11 需用費			20,431					
13 委託料			6,721,461					
19 負担金補助及び交付金			194,547,800					
			計	201,292,440				
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
		都支出金			40,477,700			
		地方債						
		その他						
		一般財源			128,077,740			
			計	201,292,440				
〔事業実績及び評価〕								
私立幼稚園及び保護者へ補助金等で支援することで、幼稚園の安定的な運営による幼児教育の振興が図られた。また、保護者の経済的負担を軽減できた。								

科目	款 項 目 事業				事業名	主管課		
	10	02	01	01		小学校維持管理経費	教育総務課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	97,342,000		△ 512,000				96,830,000	91,358,285
26年度	89,360,000		2,028,000				91,388,000	86,786,517
増減額	7,982,000		△ 2,540,000		0	0	5,442,000	4,571,768
〔事業概要〕						平成27年度決算額		
<p>学校運営に必要な環境整備及び通学時の安全確保事業を実施する。 なお、通学時の安全確保を補完するために、通学路に15台の防犯カメラを設置する。</p>						節の内訳		金額
						07 賃金		
		10 交際費			71,000			
		11 需用費			22,888,859			
		12 役務費			6,972,096			
		13 委託料			39,901,426			
		14 使用料及び賃借料			2,527,323			
		15 工事請負費			5,400,000			
		18 備品購入費			2,938,645			
			計	91,358,285				
						決算内訳		金額
						国庫支出金		
		都支出金			4,700,000			
		地方債						
		その他						
		一般財源			86,658,285			
			計	91,358,285				
〔事業実績及び評価〕								
<p>1 学校の維持管理に伴う電気料、電話料、エアコン熱源のガス代等の執行管理</p> <p>2 児童用机・椅子をはじめ、学校運営に必要な備品の配備</p> <p>3 老朽化した校庭遊具及び体育備品の修繕</p> <p>4 シルバー人材センターへの業務委託 (1) 学校用務員による学校施設維持管理業務 実施校数 10校 (2) 児童登下校時の通学案内業務 実施校数 10校、実施箇所数 32か所</p> <p>5 通学路への防犯カメラの設置 設置箇所数 15か所、累計設置箇所数 20か所 消耗品、備品及び光熱水費等学校運営に必要な支出を行い、学校の環境整備及び物品の調達等、円滑な学校運営に資することができた。また、小学校全校の通学路に15台の防犯カメラを設置し、登下校時の地域の見守り活動を補完することができた。</p>								

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	02	01	27	小学校特別支援事業経費		指導室	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	14,339,000						14,339,000	12,682,984
26年度	14,276,000						14,276,000	12,902,518
増減額	63,000		0		0	0	63,000	△ 219,534
【事業概要】 小学校特別支援学級で修学旅行及び宿泊訓練を実施することにより、普段とは異なる環境の中で、個々の課題に応じた、様々な体験を通じ、学習の充実とともに社会性の向上を行う。							平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 1 特別支援学級介助員 中学校20人 2 特別支援学級宿泊訓練 東秋留小学校・草花小学校合同(山梨県清里方面) 一の谷小学校(新潟県南魚沼郡湯沢町) 五日市小学校(サンメドウズ清里スキー場) 特別支援学級宿泊訓練を実施することにより、事前学習を含めそれぞれの課題に応じた様々な体験を通じて、社会性を伸ばすことができた。							節の内訳	金額
							07 賃金	10,986,480
							08 報償費	665,520
							09 旅費	16,601
							11 需用費	321,558
							14 使用料及び賃借料	682,128
							19 負担金補助及び交付金	10,697
							計	12,682,984
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	12,682,984
							計	12,682,984

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	02	02	01	小学校教育振興経費		教育総務課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	76,837,000		△ 7,124,000				69,713,000	68,506,173
26年度	74,127,000		1,688,000				75,815,000	75,135,366
増減額	2,710,000		△ 8,812,000		0	0	△ 6,102,000	△ 6,629,193
【事業概要】 教育機器等を整備することで、学習環境を整える。 また、経済的理由により学用品費等の支払いが困難な保護者及び特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担の軽減を行う。 他に、遠距離から路線バスを利用して通学している児童の保護者に通学費を補助することにより、保護者負担の軽減を図る。							平成27年度決算額	
【事業実績及び評価】 1 学習活動に必要な物品・理科教育等の学習活動に必要な備品の配備を行った。 2 経済的理由により学用品費等の支払いが困難な児童の保護者に対して就学援助費を支給した。また、特別支援教育就学奨励費の支給を行った。 申請世帯数 553世帯、申請対象児童数 778人、認定者数 580人 理科教育備品等、学習活動に必要な備品等の配備を行った。また、就学援助費等の支給により経済的に困難な保護者の負担軽減が図ることができた。							節の内訳	金額
							08 報償費	673,920
							11 需用費	25,743,248
							12 役務費	132,840
							18 備品購入費	5,579,324
							20 扶助費	36,376,841
							計	68,506,173
							決算内訳	金額
							国庫支出金	1,680,600
							都支出金	20,200,000
							地方債	
							その他	
							一般財源	46,625,573
							計	68,506,173

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	02	02	14	小学校コンピュータ教育経費		教育総務課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	48,957,000						48,957,000	47,205,100
26年度	49,510,000						49,510,000	49,505,060
増減額	△ 553,000		0		0	0	△ 553,000	△ 2,299,960
〔事業概要〕 各小学校のコンピュータ教室にパソコン等を設置して活用することにより、情報教育の推進を行う。 〔事業実績及び評価〕 小学校のパソコン教室に設置しているコンピュータ教育用のパソコンのうち、東秋留小学校、草花小学校、前田小学校及び増戸小学校の4校に設置するパソコンについて、平27年4月1日から平成32年3月31日まで長期継続契約を締結した。 借上料 1校1か月当たり346,750円 台数 164台(41台×4校) コンピュータ教室にパソコン等を設置し、コンピュータ教育の推進に資することができた。							平成27年度決算額	
							節の内訳	金額
							11 需用費	2,042,560
							14 使用料及び賃借料	45,162,540
							計	47,205,100
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	47,205,100
							計	47,205,100

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	02	02	16	小学校国際理解教育経費		指導室	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	5,616,000					0	5,616,000	4,317,274
26年度	6,048,000					△ 112,000	5,936,000	5,137,166
増減額	△ 432,000		0		0	112,000	△ 320,000	△ 819,892
〔事業概要〕 各小学校に外国人講師を配置し、英語を中心とする英語圏の文化に触れ親しみ、国際理解を深める。各小学校に合計2,000時間配置する。 なお、1日の配置時間を「実働7時間30分」から、各学校の実情に応じて勤務時間数を変更できるようにすることで、より効率的な活用をする。 〔事業実績及び評価〕 各小学校に外国人講師を配置し、英語を中心とする英語圏の文化に触れ親しみ、国際理解を深めた。各小学校に合計1,827時間配置した。							平成27年度決算額	
							節の内訳	金額
							13 委託料	4,317,274
							計	4,317,274
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	4,317,274
							計	4,317,274

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	02	02	19	小学校図書館活用推進事業経費		指導室	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	3,552,000					40,000	3,592,000	3,591,285
26年度	3,476,000					39,000	3,515,000	3,514,979
増減額	76,000		0		0	1,000	77,000	76,306
〔事業概要〕 小学校に図書館補助員を配置し、学校図書館の充実を行う。 〔事業実績及び評価〕 配置時間 400時間×10校 各小学校に図書館補助員を配置し、学校図書館の充実を行った。							平成27年度決算額	
							節の内訳	金額
							07 賃金	3,591,285
							計	3,591,285
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	3,591,285
							計	3,591,285

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	02	02	21	小学校総合的学習経費		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	3,656,000						3,656,000	2,873,069	
26年度	3,224,000						3,224,000	2,638,583	
増減額	432,000		0		0	0	432,000	234,486	
<b>【事業概要】</b> 地域の人々の暮らしや伝統と文化など、地域や学校の特色に応じた日本の伝統文化理解教育、人間教育、農業体験など幅広い範囲で学習を行っている。 なお、平成24年度から導入した小宮地区体験学習事業についても総合的学習事業経費に計上する。  <b>【事業実績及び評価】</b> 地域の人々の暮らしや伝統と文化など、地域や学校の特色に応じた日本の伝統文化理解教育、人間教育、農業体験など幅広い範囲で学習を行った。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							08 報償費	766,000	
							11 需用費	738,467	
							12 役務費	48,988	
							14 使用料及び 賃借料	1,129,614	
							19 負担金補助 及び交付金	190,000	
							計	2,873,069	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源	2,873,069								
計	2,873,069								

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	02	02	33	小学校教員補助員配置事業経費		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	12,893,000					0	12,893,000	12,882,240	
26年度	12,893,000					112,000	13,005,000	13,004,160	
増減額	0		0		0	△112,000	△112,000	△121,920	
<b>【事業概要】</b> 確かな学力の定着を目指すため、また、普通学級の中でも特別に支援を要する児童がいるために教員補助員を配置し授業の充実を行っている。 しかし、担当教員による一斉指導や少人数指導時においても理解度に個人差が見られ、学習状況に応じた個別指導が必要な児童及び落ち着きがないなど特別な支援を必要とする児童が増加する傾向があり、各校における補助員の配置時間数が不足している状況である。そこで、児童一人一人の特性や学習状況に応じた教育を充実させるため補助員の配置時数を増加し、教育環境を整備する。  <b>【事業実績及び評価】</b> 小学校教員補助員 延べ43人 通常の学級の中でも特別に支援を要する児童がいるため、教員補助員を配置し授業の充実を図った。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							07 賃金	12,882,240	
							計	12,882,240	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源	12,882,240	
計	12,882,240								

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課	
	10	02	03	01	小学校保健衛生経費			教育総務課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	32,558,000		0				32,558,000	31,247,100	
26年度	35,084,000		200,000				35,284,000	33,992,474	
増減額	△ 2,526,000		△ 200,000		0	0	△ 2,726,000	△ 2,745,374	
〔事業概要〕								平成27年度決算額	
<p>学校保健安全法に基づく、学校医・学校薬剤師の配置、健康診断の実施と補助者の雇用、検診機器の滅菌・点検等、安全管理や医薬品の配置を行う。</p> <p>また、学校管理下で発生した事故等に対応するため、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度等に加入し、保護者の経費負担を行う。</p>								節の内訳	金額
								01 報酬	14,136,000
<p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 各校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を定め学校保健体制の維持に努めた。</p> <p>2 児童定期健康診断 検診項目 内科、歯科、眼科、耳鼻科、心臓、寄生虫卵、尿、脊柱側弯、結核 平成27年6月までの間に実施</p> <p>3 歯科及び耳鼻科検診に使用する検診器材の滅菌委託</p> <p>4 児童健康診断補助員の配置 補助員数 10人(全校配置)</p> <p>5 学校管理下でけが等をした児童の保護者への災害共済給付金の支払い 給付者数 165人、給付額 1,301,218円</p> <p>教育活動が安全な環境で実施され、児童の安全の確保を図ることができるよう、定期健康診断を実施した。また、学校管理下で発生したけが等の治療費として、災害共済給付金を支給した。</p>								07 賃金	520,783
								08 報償費	142,760
								11 需用費	3,784,710
								12 役務費	334,192
								13 委託料	7,630,053
								18 備品購入費	457,612
								19 負担金補助及び交付金	4,240,990
								計	31,247,100
								決算内訳	金額
								国庫支出金	
								都支出金	9,400,000
								地方債	
								その他	
								一般財源	21,847,100
								計	31,247,100

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課	
	10	02	03	14	小学校移動教室関係経費			指導室	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	746,000						746,000	306,276	
26年度	746,000						746,000	293,337	
増減額	0		0		0	0	0	12,939	
〔事業概要〕								平成27年度決算額	
移動教室に同行する看護師に要する経費を計上する。								節の内訳	金額
<p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>多西小学校、屋城小学校、草花小学校、五日市小学校 移動教室に看護師を同行させることで、安全な事業の実施を図った。</p>								08 報償費	306,276
								計	306,276
								決算内訳	金額
								国庫支出金	
								都支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	306,276
								計	306,276

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	02	04	01	小学校整備事業経費		教育総務課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	119,872,000		△ 39,349,000				80,523,000	71,679,888
26年度	53,755,000		4,131,000				57,886,000	54,133,955
増減額	66,117,000		△ 43,480,000		0	0	22,637,000	17,545,933
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
<p>小学校において、法律等に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善するための事業(老朽等で現状回復が困難となった施設・設備の改善を含む。)</p> <p>平成27年度は、五日市小学校体育館屋根防水改修工事、都水道局の水飲栓直結給水モデル事業による水飲部分の配管新設整備、天井材や外装材等の非構造部材の耐震化等を実施する。</p>							節の内訳	金額
							13 委託料	3,562,758
15 工事請負費	68,117,130							
計	71,679,888							
〔事業実績及び評価〕							決算内訳	金額
							国庫支出金	
都支出金	34,336,724							
地方債	28,400,000							
その他								
一般財源	8,943,164							
計	71,679,888							
<p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 五日市小体育館屋根防水改修工事 工事期間 平成27年7月3日～9月30日</p> <p>2 南秋留小水飲栓直結給水化工事 工事期間 平成27年6月12日～9月25日</p> <p>3 高圧気中開閉器及び引込ケーブル取替工事【東秋留、西秋留小】 工事期間 平成27年12月17日～平成28年3月18日</p> <p>4 南秋留小AV調整卓改修工事 工事期間 平成27年7月10日～9月18日</p> <p>5 小学校校舎外壁改修工事 【東秋留小、多西小、西秋留小、屋城小、草花小、一の谷小、増戸小】 工事期間 平成27年7月17日～10月30日</p> <p>6 体育館電気設備等非構造部材耐震化工事【東秋留小、多西小、西秋留小】 工事期間 平成27年10月9日～平成28年2月19日</p> <p>児童、学校関係者の安全及び良好な教育環境を確保するため、施設、設備の整備及び改修を行い、体育館・武道場の非構造部材耐震化工事の一部を除き計画どおり実施することができた。</p> <p>体育館非構造部材の耐震化工事については、10校計画したが7校が入札不調により未実施となり、3校のみの実施となった。</p>								

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	03	01	15	中学校特別支援事業経費		指導室	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	15,211,000		0				15,211,000	13,802,419
26年度	14,879,000		1,305,000				16,184,000	15,021,955
増減額	332,000		△ 1,305,000		0	0	△ 973,000	△ 1,219,536
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
<p>中学校特別支援学級で修学旅行及び宿泊訓練を実施することにより、普段とは異なる環境の中で、個々の課題に応じた、様々な体験を通じ、学習の充実とともに社会性の向上を行う。</p>							節の内訳	金額
							07 賃金	12,211,800
08 報償費	1,312,906							
09 旅費	71,968							
11 需用費	200,025							
19 負担金補助及び交付金	5,720							
計	13,802,419							
〔事業実績及び評価〕							決算内訳	金額
							国庫支出金	
都支出金								
地方債								
その他								
一般財源	13,802,419							
計	13,802,419							
<p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 特別支援学級介助員 中学校20人</p> <p>2 特別支援学級宿泊訓練 東中学校(埼玉方面 川越 秩父) 五日市中学校(静岡県御殿場市方面)</p> <p>特別支援学級宿泊訓練を実施することにより、事前学習を含めそれぞれの課題に応じた様々な体験を通じて、社会性を伸ばすことができた。</p>								

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課			
	10	03	02	01		教育総務課			
					中学校教育振興経費				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	73,076,000		△ 4,591,000				68,485,000	67,040,507	
26年度	68,192,000		△ 1,423,000				66,769,000	65,427,591	
増減額	4,884,000		△ 3,168,000		0	0	1,716,000	1,612,916	
〔事業概要〕						平成27年度決算額			
教育機器等を整備することで、学習環境を整える。 また、経済的理由により学用品費等の支払いが困難な保護者及び特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担の軽減を行う。 他に、遠距離から路線バスを利用して通学している生徒の保護者に通学費を補助することにより、保護者負担の軽減を図る。						節の内訳		金額	
						08 報償費			600,210
						11 需用費			24,804,535
						12 役務費			201,150
18 備品購入費			6,593,598						
19 負担金補助及び交付金			1,286,388						
20 扶助費			33,554,626						
			計	67,040,507					
〔事業実績及び評価〕						決算内訳			
1 学習活動に必要な消耗品及び理科教育等の学習活動に必要な備品を配備した。 2 五日市中学校に路線バスで通学する乙津・養沢在住生徒保護者に遠距離通学費補助金を支給した。支給者数11人 3 経済的理由により学用品費等の支払いが困難な生徒の保護者に対する就学援助費を支給した。また、特別支援教育就学奨励費の支給を行った。 理科教育備品等、学習活動に必要な備品等を配備することができた。また、就学援助費等の支給により経済的に困難な保護者の負担軽減が図れた。						金額			
						国庫支出金			1,505,400
						都支出金			19,826,000
						地方債 その他 一般財源			45,709,107
			計	67,040,507					

科目	事業				事業名	主管課			
	10	03	02	08		教育総務課			
					中学校コンピュータ教育経費				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	28,619,000						28,619,000	27,705,987	
26年度	27,733,000						27,733,000	27,393,438	
増減額	886,000		0		0	0	886,000	312,549	
〔事業概要〕						平成27年度決算額			
各中学校のコンピュータ教室にパソコン等を設置して活用することにより、情報教育を推進する。 〔事業実績及び評価〕 中学校のパソコン教室に設置しているコンピュータ教育用のパソコン等のうち、西中学校及び五日市中学校に設置するパソコンについて、平成27年4月1日から平成32年3月31日まで長期継続契約を締結した。 借上料 1校1か月当たり349,000円(税別) 台数 82台(41台×2校) コンピュータ教室にパソコン等を設置し、コンピュータ教育の推進に資することができた。						節の内訳		金額	
						11 需用費			1,239,327
						14 使用料及び賃借料			26,466,660
									計
〔事業実績及び評価〕						決算内訳			
中学3年生を対象に生徒の進路指導の充実を行った。						金額			
						国庫支出金			
						都支出金			
						地方債 その他 一般財源			27,705,987
			計	27,705,987					

科目	事業				事業名	主管課			
	10	03	02	09		指導室			
					中学校進路指導経費				
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,289,000						1,289,000	1,246,022	
26年度	1,300,000						1,300,000	1,242,714	
増減額	△ 11,000		0		0	0	△ 11,000	3,308	
〔事業概要〕						平成27年度決算額			
中学3年生を対象に生徒の進路指導の充実を行った。						節の内訳		金額	
						11 需用費			845,462
						12 役務費			400,560
									計
〔事業実績及び評価〕						決算内訳			
中学3年生を対象に生徒の進路指導の充実を行った。						金額			
						国庫支出金			
						都支出金			
						地方債 その他 一般財源			1,246,022
			計	1,246,022					



(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課
	10	03	02	16	中学校国際理解教育経費		指導室
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	4,355,000					4,355,000	3,592,512
26年度	4,355,000					4,355,000	3,698,245
増減額	0		0	0	0	0	△ 105,733
〔事業概要〕 各中学校に外国人講師を配置し、英語を中心とする英語圏の文化に触れ親しみ、国際理解を深める。各中学校に合計288日配置する。						平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 各中学校に外国人講師を配置し、英語を中心とする英語圏の文化に触れ親しみ、国際理解を深める。各中学校に合計288日、2,160時間配置した。						節の内訳	
						13 委託料	
						計 3,592,512	
						決算内訳	
						国庫支出金	
						都支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
						計 3,592,512	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課
	10	03	02	20	中学校図書館活用推進事業経費		指導室
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	2,132,000				40,000	2,172,000	2,154,922
26年度	2,086,000				25,000	2,111,000	2,110,461
増減額	46,000		0	0	15,000	61,000	44,461
〔事業概要〕 中学校に図書補助員を配置し、学校図書館の充実を行う。						平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 配置時間 400時間×6校 各中学校に図書館補助員を配置し、学校図書館の充実を行った。						節の内訳	
						07 賃金	
						計 2,154,922	
						決算内訳	
						国庫支出金	
						都支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
						計 2,154,922	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課
	10	03	02	21	中学校総合的学習経費		指導室
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	819,000					819,000	696,352
26年度	845,000					845,000	733,338
増減額	△ 26,000		0	0	0	△ 26,000	△ 36,986
〔事業概要〕 学校の特色に応じて、日本の伝統・文化理解教育、道徳授業地区公開講座、職場体験など幅広い範囲で学習を行う。						平成27年度決算額	
〔事業実績及び評価〕 学校の特色に応じて、日本の伝統・文化理解教育、道徳授業地区公開講座、職場体験など幅広い範囲で学習を行った。						節の内訳	
						08 報償費	
						11 需用費	
						12 役務費	
						14 使用料及び賃借料	
						計 696,352	
						決算内訳	
						国庫支出金	
						都支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
						計 696,352	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	03	02	31	中学校教員補助員配置事業経費		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	5,204,000						5,204,000	5,203,200	
26年度	5,204,000						5,204,000	5,203,200	
増減額	0		0		0	0	0	0	
<b>〔事業概要〕</b> 確かな学力の定着を目指し、生徒一人一人の特性や、学習状況に応じた教育を充実させるため教員補助員を配置し、教育環境を整備する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 中学校教員補助員 延べ26人 通常の学級の中でも特別に支援を要する児童がいるため、教員補助員を配置し授業の充実を図った。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							07 賃金	5,203,200	
							計	5,203,200	
							決算内訳		金額
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源	5,203,200								
計	5,203,200								

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	03	03	01	中学校保健衛生経費		教育総務課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	19,831,000		0				19,831,000	19,007,467	
26年度	22,456,000		371,000				22,827,000	21,561,833	
増減額	△ 2,625,000		△ 371,000		0	0	△ 2,996,000	△ 2,554,366	
<b>〔事業概要〕</b> 学校保健安全法に基づく、学校医・学校薬剤師の配置、健康診断の実施と補助者の雇用、検診機器の滅菌・点検等、安全管理や医薬品の配置を行う。 また、学校管理下で災害を受けたときの保護者の経済的負担を軽減し、学校管理下において発生した事故等に対応するため、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度等に加入する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 1 各校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を定め学校保健体制の維持に努めた。 2 生徒定期健康診断 検診項目 内科、歯科、眼科、耳鼻科、心臓、尿、脊柱側湾、貧血、結核 平成27年6月までの間に実施 3 歯科及び耳鼻科検診に使用する検診器材の滅菌委託 4 生徒健康診断補助員の配置 補助員数 6人(全校配置) 5 学校管理下でけが等をした生徒の保護者への災害共済給付金の支払い 給付者数 99人、給付額 1,994,006円 教育活動が安全な環境で実施され、生徒の安全の確保を図ることができるよう、定期健康診断を実施した。また、学校管理下で発生したけが等の治療費として、災害共済給付金を支給した。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							01 報酬	8,986,800	
							07 賃金	301,621	
							08 報償費	72,240	
11 需用費	1,888,404								
12 役務費	189,546								
13 委託料	5,406,412								
18 備品購入費	69,949								
19 負担金補助及び交付金	2,092,495								
計	19,007,467								
決算内訳		金額							
国庫支出金									
都支出金	5,700,000								
地方債									
その他									
一般財源	13,307,467								
計	19,007,467								

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	03	03	08	中学校移動教室等関係経費		指導室		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,040,000						1,040,000	861,286	
26年度	1,040,000						1,040,000	980,513	
増減額	0		0		0	0	0	△ 119,227	
<b>〔事業概要〕</b> 修学旅行及び移動教室等に同行する看護師に要する経費を計上する。  <b>〔事業実績及び評価〕</b> 中学校6校 移動教室に看護師を同行させることで、安全な事業の実施を図った。							平成27年度決算額		
							節の内訳		金額
							08 報償費	861,286	
							計	861,286	
							決算内訳		金額
国庫支出金									
都支出金									
地方債									
その他									
一般財源	861,286								
計	861,286								

(単位：円)

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課
	10	03	04		01	中学校整備事業経費		教育総務課
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	102,166,000		△ 11,617,000			90,549,000	55,182,849	
26年度	51,207,000		△ 2,768,000			48,439,000	46,656,846	
増減額	50,959,000		△ 8,849,000	0	0	42,110,000	8,526,003	
【事業概要】 中学校において、法律等に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善するための事業(老朽等で原状回復が困難となった施設・設備の改善を含む。) 平成27年度は、都水道局の水飲栓直結給水モデル事業による水飲部分の配管新設整備、天井材や外装材等の非構造部材の耐震化等を実施する。 【事業実績及び評価】 1 東中プール本体塗装工事 工事期間 平成27年5月1日～5月29日 2 中学校校舎外壁改修工事(秋多中、東中、西中、御堂中、五日市中) 工事期間 平成27年7月17日～10月30日 3 秋多中武道場電気設備等非構造部材耐震化工事 工事期間 平成27年9月17日～平成28年12月15日 4 東中水飲栓直結給水化工事 工事期間 平成27年6月12日～9月25日 生徒、学校関係者の安全及び良好な教育環境を確保するため、施設、設備の整備及び改修を行い、体育館・武道場の非構造部材耐震化工事の一部を除き計画どおり実施することができた。 体育館・武道場非構造部材の耐震化工事については、6校10棟計画したが、6校9棟が入札不調により未実施となり、1校1棟のみの実施となった。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						13 委託料	6,002,262	
						15 工事請負費	49,180,587	
						計	55,182,849	
決算内訳		金額						
国庫支出金								
都支出金	36,099,690							
地方債	9,900,000							
その他								
一般財源	9,183,159							
計	55,182,849							

科目	款 項 目			事業	事業名			主管課
	10	04	01		03	成人式経費		生涯学習スポーツ課
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	807,000					807,000	783,067	
26年度	807,000					807,000	788,730	
増減額	0		0	0	0	0	△ 5,663	
【事業概要】 成人となる市民を対象に激励して成人を祝い、大人としての自覚を促すことを目的に式典を開催する。 ・式典会場 秋川キララホール ・対象者 平成26年度実績842人 出席者数638人(※市外特例者含む) 【事業実績及び評価】 実施日 平成28年1月11日(成人の日) 出席者数 690人(男性351人、女性339人) 成人となる市民を対象に、成人を祝う式典及び成人者同士の交流のための「おしゃべり広場」を開催した。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
						08 報償費	55,000	
						11 需用費	69,108	
						12 役務費	55,947	
13 委託料	423,412							
14 使用料及び賃借料	179,600							
計	783,067							
決算内訳		金額						
国庫支出金								
都支出金								
地方債								
その他								
一般財源	783,067							
計	783,067							

(単位:円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	01	10	アートスタジオ五日市運営経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	4,297,000					0	4,297,000	3,944,970
26年度	3,313,000					80,000	3,393,000	3,779,664
増減額	984,000		0		0	△ 80,000	904,000	165,306
【事業概要】							平成27年度決算額	
若手版画家(日本人2人、外国人1人)をアートスタジオ五日市に3か月間招聘し、共同生活をしながらの創作活動を通して、芸術文化の振興を図るとともに、地域の人々と文化交流を行い、国際理解を深める。 招聘アーティストや寄贈作品の選考などについては、美術大学教授などで組織する運営委員会に委託して行う。							節の内訳	金額
							11 需用費	735,934
【事業実績及び評価】							12 役務費	115,303
							13 委託料	2,042,388
1 アーティストの招へい 平成27年9月1日～11月30日 2 地域との交流事業 五日市児童館児童を対象としたワークショップ 「いろんな素材を使って自分だけの版画を作ろう」 3 スタジオ版画展 平成27年11月19日～11月23日(約90人来場) 4 作品展示 平成27年9月8日～9月16日(前年度の招へい者の作品9点を展示) 外国人1人、日本人1人の計2人のアーティストを3か月間招聘した。被招聘者は、期間中、アートスタジオ五日市に滞在し、創作活動を行うと共に、地域との交流も行った。							14 使用料及び賃借料	14,545
							15 工事請負費	1,036,800
							計	3,944,970
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	900,000
							地方債	
							その他	
							一般財源	3,044,970
							計	3,944,970

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	01	11	生涯学習推進事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	772,000						772,000	661,635
26年度	846,000						846,000	636,399
増減額	△ 74,000		0		0	0	△ 74,000	25,236
【事業概要】							平成27年度決算額	
市民の生涯にわたる学習活動の支援と豊かな生涯学習社会を実現するため、市民解説員養成事業、市民解説員活動事業、ITボランティア活動事業等の各種事業を実施した。							節の内訳	金額
							08 報償費	370,800
【事業実績及び評価】							09 旅費	9,349
							11 需用費	169,593
1 市民カレッジ人材養成 (1)「入門講座」 8科目 28回開催 延べ78人受講 (2)「市民解説員専門講座」 2科目 2回開催 延べ35人受講 2 市民カレッジ公開講座 1回開催 参加者 67人 3 市民解説員活動推進事業 (1)市内探訪 8回実施 延べ 75人参加 (2)市民解説員発表会 3回実施 延べ477人参加 (3)解説活動等 33回実施 4 ITボランティアによる「初心者パソコンQ&A」 12回実施 ボランティア 11人 参加者延べ 66人 市民解説員が新たに 7人誕生した。 パソコンQ&Aを通じて、市民の知識の活用とパソコン初心者の不安の解消に寄与できた。							12 役務費	111,893
							計	661,635
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	106,500
							一般財源	555,135
							計	661,635

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	01	12	中学生主張大会経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	220,000						220,000	204,233
26年度	190,000						190,000	175,328
増減額	30,000		0		0	0	30,000	28,905
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
「あきる野市教育の日」の取組として、中学生による主張大会を実施する。中学生が日常生活を通じて考えていることや、願い・希望などを発表することで、青少年少女たちの自立心の育成や非行防止の機会とするとともに、広く一般市民が青少年少女たちの意識等に対する理解を深めるなど、青少年健全育成の充実を行う。							節の内訳	金額
							08 報償費	67,500
〔事業実績及び評価〕 祝 あきる野市制施行20周年 第20回あきる野市中学生の主張大会 開催日 平成27年12月5日 発表者 14人(1,305人応募) 来場者 448人 応募者数1,305人の中から選ばれた14人が、日常生活を通じて考えていることや、願い・希望などを発表し、審査員、団体審査員により最優秀賞等を決定、表彰を行った。							11 需用費	38,233
							12 役務費	12,300
							13 委託料	35,000
							14 使用料及び賃借料	51,200
							計	204,233
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	204,233
							計	204,233

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	01	22	生涯学習推進体制整備・理解啓発事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	151,000						151,000	148,544
26年度	151,000						151,000	150,208
増減額	0		0		0	0	0	△1,664
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
市民団体との協働により生涯学習シンポジウムを開催し、市民が主体的に生涯学習活動を行っていくことの重要性を啓発するとともに、学習活動の成果を活かす機会を提供する。							節の内訳	金額
							11 需用費	6,544
〔事業実績及び評価〕 生涯学習シンポジウム テーマ 大人・子どもの全てが輝く生涯学習～人と人、心をつなぐ地域の力～ 開催日 平成28年3月5日 参加者99人 あきる野市生涯学習コーディネーターの会との協働により、生涯学習シンポジウムを開催し、基調講演と市内で活動している団体の代表者を集めてパネルディスカッションを行った。							13 委託料	142,000
							計	148,544
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	148,544
							計	148,544

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	01	24	芸術文化振興事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	60,000						60,000	60,000
26年度	60,000						60,000	60,000
増減額	0		0		0	0	0	0
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
秋川流域の風景、街並み、人々、祭などをテーマとした写真又は絵画を公募・展示する写真展と絵画展を、市民で組織した実行委員会との協働により共催事業として隔年で実施した。							節の内訳	金額
							08 報償費	60,000
〔事業実績及び評価〕 第5回あきる野市絵画展 応募者 64人 応募点数 88点 作品展 入賞・入選作品47点の展示を実施 期間 平成28年2月25日～29日 会場 あきる野ルピア展示室 実行委員 14人 絵画展を通じて、あきる野市の魅力を発信するとともに、市内絵画グループのつながりを強化した。							計	60,000
							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	60,000
							計	60,000

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	04	01	26	生涯学習人材バンク事業経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	506,000						506,000	494,935	
26年度	508,000						508,000	481,609	
増減額	△ 2,000		0		0	0	△ 2,000	13,326	
【事業概要】							平成27年度決算額		
<p>市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションなど専門的知識・技能、経験及び意欲を持つ市民に生涯学習支援者として名簿に登録してもらい、地域や学校、団体・サークルなどでの市民の求めに応じて情報を提供し、その活動を支援するとともに、登録者に学習成果を活用する場の提供や情報発信をする。また、市民との協働により生涯学習コーディネーターの養成講座を開催し、市民の生涯学習活動の推進役を育成する。</p>							節の内訳	金額	
							07 賃金	226,750	
11 需用費	8,585								
12 役務費	9,600								
13 委託料	250,000								
	計	494,935							
【事業実績及び評価】							決算内訳	金額	
<p>1 生涯学習人材バンク事業 登録件数 個人42件、団体7件(紹介件数7件)</p> <p>2 生涯学習人材バンク活用事業 「市民ふれあい塾」8回、「親子ふれあい塾」1回(参加者194人)</p> <p>3 生涯学習コーディネーター養成講座 開催日数8日、延べ31人参加 講師 瀬沼克彰(桜美林大学教授) 生涯学習担当部長、生涯学習コーディネーターの会</p> <p>市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションなど専門的知識・技能、経験及び意欲を持つ市民に人材バンクに登録してもらい、地域や学校、団体・サークルなどに紹介し、広く情報提供を行った。また、あきる野市生涯学習コーディネーターの会に委託し、生涯学習コーディネーター養成講座を実施した。</p>							国庫支出金		
	都支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	494,935							
	計	494,935							

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	04	01	27	放課後子ども教室推進事業経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	5,828,000						5,828,000	4,586,933	
26年度	5,828,000						5,828,000	4,413,311	
増減額	0		0		0	0	0	173,622	
【事業概要】							平成27年度決算額		
<p>放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、小学校の体育館や校庭等を利用し、地域の方などの参画を得て、放課後子ども総合プランによる放課後子ども教室を実施する。なお、事業の推進と円滑な実施のため、運営委員会と各校に設置された実行委員会を開催する。 平成27年度は、引き続き4校で事業を実施する。</p>							節の内訳	金額	
							01 報酬	1,010,880	
08 報償費	2,949,310								
11 需用費	268,543								
12 役務費	358,200								
	計	4,586,933							
【事業実績及び評価】							決算内訳	金額	
<p>1 東秋留小学校区 実施回数12回 登録児童数79人(延べ825人参加)</p> <p>2 多西小学校区 実施回数23回 登録児童数197人(延べ2,733人参加)</p> <p>3 草花小学校区 実施回数19回 登録児童数234人(延べ2,083人参加)</p> <p>4 五日市小学校区 実施回数20回 登録児童数115人(延べ990人参加)</p> <p>放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、小学校の体育館や校庭等を利用し、地域の方などの見守りボランティアの参画を得て、4校で放課後子ども教室を実施した。</p>							国庫支出金		
	都支出金	2,325,000							
	地方債								
	その他								
	一般財源	2,261,933							
	計	4,586,933							

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	01	28	学校支援地域本部事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,900,000					0	1,900,000	1,750,218
26年度	1,900,000					80,000	1,980,000	1,273,161
増減額	0		0		0	△ 80,000	△ 80,000	477,057
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
<p>地域全体で学校を支援する体制づくりを推進するため、学校支援地域本部を小学校区に設置する。その中で、学習支援、環境整備、見守り活動などの学校支援の事業を実施し、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の拡大や住民等の学習成果の活用機会の拡充、地域の教育力の活性化を図る。</p> <p>平成27年度においても、3校で事業を実施する予定である。</p>							節の内訳	金額
							08 報償費	15,000
13 委託料	1,735,218							
計	1,750,218							
〔事業実績及び評価〕							決算内訳	金額
							国庫支出金	
1 一の谷小学校 活動日数236日(活動人数 延べ3,459人)								
2 屋城小学校 活動日数310日(活動人数 延べ2,154人)	1,166,000							
3 増戸小学校 活動日数237日(活動人数 延べ4,235人)								
地域全体で学校を支援する体制づくりを推進するため、3校の小学校区に設置された学校支援地域本部に、学習支援、環境整備、見守り活動などの学校支援活動を委託した。								
地方債								
その他								
一般財源	584,218							
計	1,750,218							

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	02	01	文化財保護一般経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	4,537,000		0				4,537,000	4,352,014
26年度	4,148,000		273,000				4,421,000	4,197,533
増減額	389,000		△ 273,000		0	0	116,000	154,481
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
<p>市内に残る貴重な文化財を保存継承するため、文化財保護審議会を開催して審議を行い、その答申を受けて文化財の指定を行う。また、市が所有する国指定史跡「西秋留石器時代住居跡」や東京都指定史跡「瀬戸岡古墳群」などを適正に保存・管理して公開を行う。さらに、市内に残る伝統芸能の保存活動を支援するため、保存団体への補助金の交付や指導・助言を行い、保存継承を推進する。加えて、平成27年度は、経年劣化の進むあきる野市指定有形文化財「広徳寺の山門」の修理を支援し、適正な文化財の保護・保存を行う。</p>							節の内訳	金額
							01 報酬	114,000
08 報償費	410,000							
09 旅費	34,346							
11 需用費	54,181							
12 役務費	4,767							
13 委託料	168,720							
19 負担金補助及び交付金	3,566,000							
計	4,352,014							
〔事業実績及び評価〕							決算内訳	金額
							国庫支出金	0
1 文化財保護審議会 2回実施 各回6人出席								
2 「西秋留石器時代住居跡」管理 除草作業 年2回								
3 「瀬戸岡古墳群」管理 除草作業 年2回								
4 補助金等交付団体 39団体								
・郷土芸能連合会								
・秋川歌舞伎保存会								
・菅生歌舞伎菅生一座								
・菅生組立舞台保存会								
5 広徳寺山門修復事業								
市内の文化財保存継承のため、文化財保護審議会に諮問し、その答申を受け新たに2件の文化財を指定した。								
市所有の国指定史跡・都指定史跡などを適正に保存・管理して公開を行った。								
市内に残る伝統芸能保存活動支援のため、保存団体への補助金の交付や指導・助言を行い、保存継承を推進した。								
経年劣化の進む市指定有形文化財「広徳寺山門」の修理について指導・助言し、適正な文化財の保護・保存を行った。								
地方債	0							
その他	0							
一般財源	4,352,014							
計	4,352,014							

(単位：円)

科目	款 項 目			事業	事業名	主管課	
	10	04	02				
				02	全国地芝居サミット開催事業経費	生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	18,957,000					18,957,000	17,283,092
26年度	8,356,000					8,356,000	8,092,322
増減額	10,601,000		0	0	0	10,601,000	9,190,770
〔事業概要〕						平成27年度決算額	
<p>全国地芝居サミットを、平成27年5月に開催するため、市内の農村歌舞伎保存団体と歌舞伎舞台保存団体の役員等で構成する実行委員会を継続して運営する。また、各種の準備を進め5月2日と3日にサミットを開催し、全国の関係者や市民等に向け農村歌舞伎や郷土芸能を披露し、伝統芸能の保存継承の促進と地域の活性化を図る。</p>						節の内訳	金額
						19 負担金補助 及び交付金	17,283,092
						計	17,283,092
〔事業実績及び評価〕						決算内訳	
<p>第25回全国地芝居サミットinあきる野 開催日 平成27年5月2日、3日 来場者 6,000人(2日間合計) 全国から来訪した地芝居関係者や、市民および近隣市町村からの来場者に向け、農村歌舞伎や郷土芸能を披露した。</p>						国庫支出金	
						都支出金	8,089,000
						地方債	
						その他	1,000,000
						一般財源	8,194,092
						計	17,283,092

科目	款 項 目			事業	事業名	主管課	
	10	04	02				
				10	埋蔵文化財緊急発掘調査経費	生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,410,000					1,410,000	974,343
26年度	1,510,000					1,510,000	1,500,709
増減額	△ 100,000		0	0	0	△ 100,000	△ 526,366
〔事業概要〕						平成27年度決算額	
<p>文化財保護法に基づく発掘届が提出された開発事業に対して、必要に応じて当該地の試掘調査を実施し、埋蔵文化財の保存に影響を及ぼすか否かを判断する。試掘調査は、東京都に登録された民間会社に委託して実施する。作業内容は、当該地の掘削、計測・図面作成、写真撮影及び報告書の作成であり、出土した遺物については、洗浄・注記等の整理作業を行う。</p>						節の内訳	金額
						11 需用費	15,303
						13 委託料	959,040
						計	974,343
〔事業実績及び評価〕						決算内訳	
<p>1 遺跡緊急発掘事業 5件 2 試掘調査 2件 緊急発掘調査の内2件で、縄文時代の土器や打製石斧等の遺物が出土した。また、試掘調査の内1件で、古墳時代の住居跡と土器片が出土した。</p>						国庫支出金	487,000
						都支出金	243,000
						地方債	
						その他	
						一般財源	244,343
						計	974,343

科目	款 項 目			事業	事業名	主管課	
	10	04	03				
				01	青少年健全育成経費	生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	3,735,000					3,735,000	3,647,788
26年度	3,715,000					3,715,000	3,670,487
増減額	20,000		0	0	0	20,000	△ 22,699
〔事業概要〕						平成27年度決算額	
<p>次代を担う青少年の健全育成と健やかな成長を地域全体が見守り、育てていく取り組みを進めるための体制を整備する。また、地域や学校との協働により、青少年が率先して参画できるような事業を実施し、地域リーダーとしての素質を養成する。</p>						節の内訳	金額
						01 報酬	190,000
						08 報償費	38,231
						09 旅費	7,898
						11 需用費	51,509
						12 役務費	18,150
						14 使用料及び 賃借料	12,000
						19 負担金補助 及び交付金	3,330,000
						計	3,647,788
〔事業実績及び評価〕						決算内訳	
<p>1 青少年問題協議会 2回開催 2 補助金 ・青少年健全育成地区委員会 10団体 2,880,000円 ・中学校区健全育成推進会議 6団体 180,000円 ・国際化推進青年の会 45,000円 ・青少年顕彰ふるさと委員会 225,000円 青少年問題協議会を年2回開催し、地域や学校、各種団体等との情報交換を行った。また、各種団体へ補助金を交付した。</p>						国庫支出金	
						都支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	3,647,788
						計	3,647,788



(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	04	03	05	青少年委員経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	1,650,000						1,650,000	1,475,200	
26年度	1,650,000						1,650,000	1,599,850	
増減額	0		0		0	0	0	△ 124,650	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
青少年教育の振興のため、青少年健全育成に実績のある市民を16人選任し、余暇活動の指導や青少年団体との連絡調整を行うとともに、あいさつ標語カルタ大会、中学生の主張大会等の各種健全育成事業を実施する。 〔事業実績及び評価〕 1 定例会等開催 ・定例会6回開催(各種事業及び研修実施に向けた連絡調整等) ・文化部会3回開催(あいさつ標語カルタ大会実施に向けた連絡調整等) ・主張部会4回開催(中学生の主張大会実施に向けた連絡調整等) ・研修部会2回開催(視察研修の企画や実施に向けた連絡調整等) 2 研修会等 参加回数5回 青少年教育の振興のため、あいさつ標語カルタ大会、中学生の主張大会など、各種青少年健全育成事業が実施した。							節の内訳		金額
							01 報酬		
09 旅費			5,900						
12 役務費			29,600						
19 負担金補助及び交付金			43,200						
			計	1,475,200					
〔事業実績及び評価〕							決算内訳		
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源		1,475,200
			計	1,475,200					

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	04	03	06	家庭の日推進事業経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	311,000						311,000	287,667	
26年度	311,000						311,000	300,380	
増減額	0		0		0	0	0	△ 12,713	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
青少年の健全育成にとって、家庭が果たす役割は最も重要であることから、毎月第2日曜日を「家庭の日」として、明るい家庭づくりの推進する。 その方策として、幼児・小学生及び中学生を対象に「家庭の日」に関する絵画・作文・ポスターを募集し、優秀作品を称揚する。また、家庭での団らんの機会を増やす一助として、家族共通の話題づくりのために、秋川キララホールの指定管理者との共催により親子鑑賞会を実施する。							節の内訳		金額
							08 報償費		
11 需用費			11,437						
			計	287,667					
〔事業実績及び評価〕							決算内訳		
1 絵画・作文・ポスターの募集、表彰及び作品展示を実施 ・絵画(対象：幼児) 34人入選(482人応募) ・作文(対象：小学生) 5人入選(68人応募) ・ポスター(対象：中学生) 7人入選(107人応募) 2 親子鑑賞会 平成27年9月12日実施(午前の部312人、午後の部305人入場) 「なんだかクラシカル～な、だけど、たのしい!シズリンみゅーじっく」 幼児及び小・中学生を対象に「家庭の日」に関する絵画・作文・ポスターを募集し、優秀作品等を選び、11月3日の表彰式において表彰すると共に、作品の展示を行い、「家庭の日」の推進を図った。また、家族での団らんの機会を増やす一助として、秋川キララホールの指定管理者との共催により親子鑑賞会を実施した。							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源		287,667
			計	287,667					

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	03	07	大島子ども体験塾事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	188,000						188,000	182,400
26年度	185,000						185,000	180,108
増減額	3,000		0		0	0	3,000	2,292
【事業概要】 小・中学生が大島を舞台に地域や年齢の枠を超えて交流し、大自然の中での様々な活動や体験を通じて心身を鍛え、自らの力で積極的に社会に貢献できる人材を育成することを目的に、羽村市と共同で事業を実施する。  【事業実績及び評価】 1 開催日 平成27年8月5日～8月9日 2 場所 東京都大島町 3 参加者 小学5・6年生及び中学生70人(あきる野市35人) 羽村市との共同開催で全日程を予定通り実施でき、大島の人たちと交流し、大自然の中で様々な活動や体験を通じて心身を鍛え、自らの力で積極的に社会に貢献できる人材の育成が図られた。	平成27年度決算額							
	節の内訳							金額
	09 旅費							7,400
	19 負担金補助及び交付金							175,000
	計							182,400
決算内訳							金額	
国庫支出金								
都支出金								
地方債								
その他								
一般財源							182,400	
計							182,400	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	04	01	公民館事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	10,116,000						10,116,000	9,405,586
26年度	10,030,000						10,030,000	9,343,260
増減額	86,000		0		0	0	86,000	62,326
【事業概要】 市民を対象として市民大学、共催等による講演会、子どもを持つ親を対象の家庭教育学級、高齢者を対象の寿大学(秋川校、五日市校)等の実施及び社会教育関係団体の活動の支援を行った。  【事業実績及び評価】 1 家庭教育学級 あんま釣り 実施日 7月28日 参加者 17人 2 市民大学 (1) スーパームーンを観察しよう! 実施日 9月13日 参加者 9人 (2) 男性の料理教室 実施日 12月4日 参加者 18人 3 市民企画講座 延べ187人参加 (1) 太極拳一日体験教室 企画・運営 あきる野市青年学級すまいる (2) あきる野歴史散歩 企画・運営 あきる野市生涯学習コーディネーターの会 (3) 月見と篆刻 企画・運営 あきる野市書道文化を楽しむ会 (4) お父さんのための簡単料理教室 企画・運営 あきる野市生涯学習コーディネーターの会 (5) 心の年齢を重ねて 企画・運営 あきるニューモラルクラブ 4 各種講座(NHK共催講座) 延べ544人参加 大英博物館展、クレオパトラとエジプトの王妃展、特別展開連文化講演(3講座) 5 寿大学 (1) 寿大学秋川校 17講座 延べ9,051人参加 (2) 寿大学五日市校 15講座 延べ1,551人参加 各講座を通し、市民の生涯学習意欲の啓発ができた。	平成27年度決算額							
	節の内訳							金額
	01 報酬							3,426,429
	08 報償費							660,000
	09 旅費							18,497
	11 需用費							415,562
	12 役務費							84,000
	13 委託料							2,187,298
	14 使用料及び賃借料							813,800
	19 負担金補助及び交付金							1,800,000
計							9,405,586	
決算内訳							金額	
国庫支出金								
都支出金							2,138,000	
地方債								
その他							2,126,698	
次年度生産額							△7,000	
一般財源							5,147,888	
計							9,405,586	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	04	04	市民文化祭運営事業経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	1,349,000						1,349,000	1,256,640
26年度	1,328,000						1,328,000	1,242,600
増減額	21,000		0		0	0	21,000	14,040
【事業概要】							平成27年度決算額	
<p>市民まつりの一環として、公募による市民団体やサークルなど約120団体で市民文化祭運営委員会を組織し、中央公民館・秋川体育館・五日市地域交流センター・五日市会館・秋川キララホール・ふれあいセンターにおいて、10月から11月に市民文化祭(展示・催物)を行った。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>第21回あきる野市民まつり市民文化祭 参加者数 30,200人 展示の部 参加団体数 64団体 催し物の部 参加団体数 56団体 生涯学習活動や文化活動を行う、市民団体やサークルが協力し市民文化祭を行うことで、市民の生涯学習活動の推進に寄与できた。</p>							節の内訳	金額
							13 委託料	462,240
							14 使用料及び賃借料	434,400
							19 負担金補助及び交付金	360,000
							計	1,256,640
【事業実績及び評価】							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	1,256,640
							一般財源	
							計	1,256,640

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課	
	10	04	05	03	東部図書館運営管理経費		図書館	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	23,110,000					0	23,110,000	21,569,033
26年度	22,084,000					303,000	22,387,000	21,115,441
増減額	1,026,000		0		0	△ 303,000	723,000	453,592
【事業概要】							平成27年度決算額	
<p>市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるよう、図書館資料の収集・整理・保管、提供や情報発信等の事業を実施する。</p> <p>さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる施設として生涯学習を推進する。</p> <p>特に、市域東部地区の情報拠点として資料・情報提供を充実するとともに、安心・安全に利用できるよう施設、設備の適正な整備を推進する。また、司書有資格者の専門性を活かし、地域に密着した課題の解決支援を推進する。</p> <p>【事業実績及び評価】</p> <p>1 利用実績 入館者数 146,624人(1日平均 492人)、 個人貸出冊数 161,695冊、団体貸出数 180冊、 予約処理件数 5,829件、参考調査 37件、 簡易レファレンス 2,587件、 情報検索機利用 3,823件、協力貸出 637冊</p> <p>2 子ども読書活動推進事業 参加者数 901人(おはなし会、ひよこのおはなし会、わらべうた等)</p> <p>3 施設の利用状況 会議室等利用者数4,803人</p> <p>4 あきる野市制施行20周年記念事業 ・原画展「秋川渓谷観光ポスター」平成27年7月4日～7月19日 ・原画展及びギャラリートーク「秋川渓谷観光ポスター秋・冬」 平成27年12月5日～12月20日 ギャラリートーク参加者 11人</p> <p>5 開館10周年記念事業 ・軍道紙オリジナルしおり 500枚配布 ・オリジナルポケットティッシュ 660個配布 ・森っこサンちゃんシール配布</p> <p>資料収集等の充実を図り、利用者のニーズに応えられるよう努めた。 また、主催事業の内容を工夫し、参加者が昨年に比べ33.4%増加するなど、子どもたちに読書に親しむ機会を提供することができた。 さらに、修繕箇所の早期対応等施設設備の維持管理を行い、会議室等施設利用も23.9%増加しており、図書館としてはもとより生涯学習の場としての役割も果たすことができた。</p>							節の内訳	金額
							01 報酬	4,320,000
							07 賃金	4,342,033
							09 旅費	18,642
							11 需用費	5,960,703
12 役務費	209,280							
13 委託料	6,432,127							
14 使用料及び賃借料	258,264							
18 備品購入費	21,384							
27 公課費	6,600							
計	21,569,033							
【事業実績及び評価】							決算内訳	金額
							国庫支出金	
							都支出金	
							地方債	
							その他	306,103
							一般財源	21,262,930
							計	21,569,033

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	10	04	05	04		図書館		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	13,963,000		0			768,000	14,731,000	13,842,478
26年度	14,345,000		60,000			0	14,405,000	13,988,979
増減額	△ 382,000		△ 60,000		0	768,000	326,000	△ 146,501
〔事業概要〕 市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるように、図書館資料の収集・整理・保管、提供や情報発信等の事業を実施する。 さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる施設として生涯学習を推進する。 また、未読書率の高い中学生・高校生を対象として、平成26年2月に設置したYAコーナーについては、中学生参加によるPOPづくりなど、コーナーの充実を図り、読書率の向上を図る。平成25年度から開始した、図書館資料のIC化については、3か年計画の最終年として事業を進め、更なる図書館資料の適正管理、利便性の向上をする。						平成27年度決算額		
						節の内訳		金額
〔事業実績及び評価〕 1 利用実績 入館者数50,332人(1日平均170人)、 個人貸出冊数74,045冊、団体貸出数1,786冊、 予約処理件数3,584件、参考調査16件、 簡易レファレンス1,094件 2 子ども読書活動推進事業 参加者数391人(おはなし会、ひよこのおはなし会、映画会等) 3 あきる野市制施行20周年記念事業 原画展及びギャラリートーク「秋川溪谷観光ポスター」 原画展 平成27年7月25日～8月9日 平成27年10月24日～11月8日 ギャラリートーク 平成27年10月25日 参加者10人 4 施設・機器の利用状況 視聴覚室の利用 138件 情報検索機利用 228件 5 ハンディキャップサービス 対面朗読12回 録音資料の作成(新聞書評) 12か月分 6 所蔵資料ICタグ貼付事業 貼付数24,000点 YAコーナーを中心に資料の充実を図るとともに、テーマ展示を延べ25回行うなど、随時、市民の求める情報を提供した。主催事業は、昨年度と比較して参加者が9.5%増加し、子ども読書活動を推進することができた。また、あきる野市制施行20周年記念事業として、秋川溪谷観光ポスターの原画展とギャラリートークを実施し、地域で活躍する画家とその作品について知る機会を提供した。資料のIC化については、予定どおり24,000枚のIC貼付を行い、3か年計画のIC化が完了した。						01 報酬		2,160,000
						07 賃金		3,151,286
09 旅費		10,496						
11 需用費		5,890,295						
12 役務費		159,245						
13 委託料		1,367,820						
14 使用料及び賃借料		284,556						
15 工事請負費		767,880						
18 備品購入費		50,900						
		計	13,842,478					
決算内訳		金額						
国庫支出金								
都支出金		500,000						
地方債								
その他		78,908						
一般財源		13,263,570						
		計	13,842,478					

(単位：円)

科目	事業				事業名	主管課		
	10	04	05	05				
					中央図書館増戸分室運営管理経費	図書館		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	15,988,000						15,988,000	15,840,507
26年度	15,897,000						15,897,000	15,827,505
増減額	91,000		0		0	0	91,000	13,002
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
<p>市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるよう、図書館資料の収集・整理・保管、提供や情報発信等の事業を実施する。さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる施設として生涯学習を推進する。</p> <p>利用者サービスの向上を図るため、平成25年度から業務委託による運営を行っているが、さらに利用者のニーズの把握に努め、よりきめ細やかなサービス、地域に密着したサービスが展開できるよう取り組む。</p>							節の内訳	金額
							11 需用費	957,541
12 役務費	128,929							
13 委託料	14,695,650							
14 使用料及び賃借料	58,387							
	計	15,840,507						
〔事業実績及び評価〕							決算内訳	金額
<p>1 利用実績 入館者数42,089人(1日平均142人)、個人貸出冊数47,838点、団体貸出冊数839冊、予約処理数2,691件、参考調査129件、簡易レファレンス1,478件</p> <p>2 業務委託の継続            試行3年間で終了することから、利用実績、利用者アンケートによる評価を行い、良好であることから、継続して業務委託を行うことを決定した。また、次期の事業者についてはプロポーザル方式により選定した。            中央図書館の管理下で業務委託により運営してきた増戸分室については、安定した実績と高い利用者満足度を得ることができた。また、次期業務委託の期間が5年間となり、今まで以上に安定し、地域に根ざしたきめ細やかなサービスを提供するための体制を整えることができた。</p>							国庫支出金	
							都支出金	
地方債								
その他								
一般財源	15,840,507							
	計	15,840,507						

科目	事業				事業名	主管課		
	10	04	05	06				
					中央図書館運営管理経費	図書館		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額
27年度	89,540,000		15,000				89,555,000	88,973,493
26年度	90,926,000		△2,040,000				88,886,000	87,957,664
増減額	△1,386,000		2,055,000		0	0	669,000	1,015,829
〔事業概要〕							平成27年度決算額	
<p>市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるよう、図書館資料の収集・整理・保管、提供や情報発信等の事業を実施する。</p> <p>さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる施設として生涯学習を推進する。</p> <p>図書館4館の中央館として、全館の資料・サービスを統括するとともに、平成26年度に更新した図書館システムを活用し、自動貸出機や図書館HPの運用などにより、利用者サービスを向上する。</p>							節の内訳	金額
							01 報酬	19,440,000
04 共済費	3,746,082							
07 賃金	10,513,559							
08 報償費	165,000							
09 旅費	32,367							
11 需用費	5,034,732							
12 役務費	1,154,572							
13 委託料	3,925,746							
14 使用料及び賃借料	15,097,174							
18 備品購入費	29,864,261							
	計	88,973,493						
〔事業実績及び評価〕							決算内訳	金額
<p>1 利用実績 入館者数322,618人(1日平均1,094人)、個人貸出数414,685冊、団体貸出冊数3,556冊、予約処理件数66,915件、参考調査229件、簡易レファレンス14,304件、庁内レファレンス10件、情報検索機利用6,576件、協力貸出2,300冊</p> <p>2 自動貸出機での貸出実績 貸出人数2,944人、貸出冊数8,553人</p> <p>3 読書アルバム事業            当初予定した小学校3、4年生に加え5年生にも企業から提供を受けた広告入りの読書アルバムを配布することができた。            シール発行は1,866枚(全館)</p> <p>4 原画展及びギャラリートーク「秋川溪谷観光ポスター」            原画展 平成27年7月4日～7月19日            平成27年11月18日～11月29日            ギャラリートーク 平成27年11月29日 参加者18人</p> <p>市民に資料や情報の提供を行った。            自動貸出機は当初システムの不具合などから利用が少なかったが、利用者にならずつ使い方が浸透し、利用率が上がってきている。            新規事業の「読書アルバム」事業については、子どもの読書への関心が高まる時期に配布することができ、夏休みを中心に活用されている。            また、「秋川溪谷観光ポスター」の原画展とギャラリートークについては、あきる野市制施行20周年記念事業として実施し、地域で活躍する画家とその作品について知る機会を提供することができた。</p>							国庫支出金	
							都支出金	
地方債								
その他	102,672							
一般財源	88,870,821							
	計	88,973,493						

(単位：円)

科目	款 項 目			事業 事業名			主管課		
	10	04	05	10	子ども読書活動推進事業経費		図書館		
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	957,000					957,000	949,525		
26年度	700,000					700,000	674,944		
増減額	257,000		0	0	0	257,000	274,581		
〔事業概要〕						平成27年度決算額			
第二次あきる野市子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタート事業を実施する。 ブックスタート事業は、赤ちゃんと保護者が絵本を介して向き合い、ふれあいの時間を持つことを応援するもので、地域に生まれた全ての赤ちゃんの健やかな成長と地域の子育て支援環境の充実を図ることを目的に、健康課と協力して取り組む。 また、子どもの読書活動推進の環境整備に健康課、子育て支援課、保育園、幼稚園、学校、児童館など関係する部署と連携し、各種事業を行う。						節の内訳		金額	
						11 需用費		949,525	
						計		949,525	
						決算内訳		金額	
						国庫支出金			
						都支出金			
						地方債			
						その他			
						一般財源		949,525	
						計		949,525	
〔事業実績及び評価〕									
1 ブックスタートパック配布									
・3～4か月健診時(毎月2回)にブックスタートパックを577パック配布									
・司書が毎回健診会場に出向き、絵本の読み聞かせの大切さや親子のふれあいについて説明し、絵本をプレゼントすることで子育て支援を行った。									
2 子ども読書活動推進連絡会									
実施回数 2回									
健康課、子育て支援課、保育園、指導室、児童館など市内の関係部署の委員により情報交換と子ども読書活動推進計画の実績・評価をまとめた。									
子どもの読書活動を推進するための事業を、関連する各課と連携して実施することができた。									
3～4か月健診時に絵本のプレゼントがあることで保護者の関心が高まり、受診率のアップにも貢献することができた。									

科目	款 項 目			事業 事業名			主管課		
	10	04	05	24	地域資料デジタル化推進活用事業経費		図書館		
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	2,884,000					2,884,000	2,770,110		
26年度	3,230,000					3,230,000	3,029,810		
増減額	△ 346,000		0	0	0	△ 346,000	△ 259,700		
〔事業概要〕						平成27年度決算額			
五日市憲法草案の研究・保管を行うとともに、五日市憲法草案関連資料をはじめとする地域資料をデジタル化する。 また、あきる野市デジタルアーカイブに掲載することにより、市民がいつでも気軽に文化財に触れられるよう、貴重資料の公開・活用を進める。 平成26年度に実施した観光ポスターのデジタル化及びコンテンツ作成と連動し、原画展等を開催し多面的な展開を進める。						節の内訳		金額	
						01 報酬		1,580,000	
						11 需用費		61,344	
						12 役務費		15,400	
						13 委託料		842,178	
						14 使用料及び賃借料		271,188	
						計		2,770,110	
						決算内訳		金額	
						国庫支出金			
						都支出金			
						地方債			
						その他			
						一般財源		2,770,110	
						計		2,770,110	
〔事業実績及び評価〕									
1 五日市憲法草案特別展									
・「五日市憲法草案と深沢家の図書館」で五日市憲法草案及び関連資料を展示・紹介									
開催日 10月31日～11月8日(312人来場)									
・「ギャラリートーク」									
開催日 11月3日午前、午後各1回開催(述べ49人参加)									
NHKの取材が入り、市外からの来場も多く、大変盛況であった。									
2 あきる野市デジタルアーカイブ									
五日市憲法草案関連の事項について新たに2つのページを追加することができた。									
3 観光ポスター									
新規に作成されたポスターのデータをHP上に追加した。原画展等の開催により、サイトの周知を図ることができた。									
地域資料のデジタル化を進めるとともに、コンテンツの追加で情報発信の充実を図ることができた。また、特別展では実際の資料に触れる機会を提供するだけでなく、一般の方にも分かりやすい解説を加えて紹介することができた。									

(単位：円)

科目	款 項 目			事業	事業名		主管課		
	10	04	06		03	五日市郷土館運営管理経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	14,418,000		0		0	14,418,000	12,980,816		
26年度	37,610,000		60,000		26,000	37,696,000	37,110,020		
増減額	△ 23,192,000		△ 60,000	0	△ 26,000	△ 23,278,000	△ 24,129,204		
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
<p>民具、古文書等の各種文化財関係資料を収集し、清掃、修理、登録等を行い、収蔵して適正に保管するとともに、展示して公開する。また、収蔵している未調査、未整理の資料の調査・整理を行い、その内容、特質を明らかにする。古文書は、マイクロフィルム化による保存・活用、収蔵図書の見直しなどを進める。さらに市民の郷土学習を支援するため、収蔵資料等を活用した企画展、写真展、各種講座、体験教室等を開催する。「郷土あれこれ」等、文化財関係資料の編集・発行を行う。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「五日市鉄道創業時を振り返って～開業90周年～」</li> <li>・「あきる野市ゆかりの人」</li> </ul> <p>2 ミニ企画展「郷土の古文書」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「川除御普請願に付箇所書上」</li> <li>・「網代山作へ出された北条氏棟別銭赦免文書」</li> </ul> <p>3 体験教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民解説員による楽しい昔ばなし・語り(ヨルイチ)</li> <li>・旧市倉家住宅で親子餅つき体験</li> </ul> <p>4 キララホール共催事業</p> <p>ピアノとフルートのミニコンサート(ヨルイチ)</p> <p>5 旧市倉家住宅活用事業</p> <p>年中行事展示</p> <p>五月人形、鯉のぼり、七夕、十五夜、破魔矢・羽子板、満玉飾り、雛飾り</p> <p>6 「郷土あれこれ」第27号の発行 2,000部</p> <p>企画展・体験教室等を通じ、見学者および参加者に五日市郷土館に興味を持ってもらい、文化財を学ぶきっかけを作った。またヨルイチの際に旧市倉家を活用して、秋川キララホールと共催でイベントを開催したことにより、観光客に対し郷土館事業を周知することができた。</p>							節の内訳		金額
							01 報酬		
07 賃金							4,819,854		
08 報償費							60,000		
11 需用費							2,818,235		
12 役務費							154,226		
13 委託料							2,356,660		
14 使用料及び賃借料							1,630,841		
19 負担金補助及び交付金							25,000		
							計 12,980,816		
							決算内訳	金額	
							国庫支出金		
							都支出金	700,000	
							地方債		
							その他	279,650	
							一般財源	12,001,166	
							計	12,980,816	

科目	款 項 目			事業	事業名		主管課		
	10	04	06		04	二宮考古館運営管理経費		生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	5,970,000		0		0	5,970,000	5,627,232		
26年度	8,390,000		1,137,000		△ 26,000	9,501,000	9,268,289		
増減額	△ 2,420,000		△ 1,137,000	0	26,000	△ 3,531,000	△ 3,641,057		
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
<p>収蔵している未整理の考古遺物の洗浄、注記、登録等を行い、適正に保存するとともに展示公開して活用する。また、収蔵図書の整理、カード作成、登録を行い、収蔵図書の公開のためのデータ整理を行う。市民の郷土学習を支援するため、収蔵資料等を活用した企画展、写真展や体験教室等を開催する。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 企画展示「さわれる土曜日」 毎週土曜日(全37回)</p> <p>2 特別展示「全国地芝居サミットinあきる野」</p> <p>3 特別展示「あきる野市ゆかりの人」</p> <p>4 体験教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まが玉づくり 3回実施 参加者48人</li> <li>・アンギンでコースターづくり 1回実施 参加者7人</li> <li>・土器図鑑づくり 1回実施 参加者8人</li> <li>・文化財キーホルダーづくり 10回実施 参加者26人</li> </ul> <p>企画展や特別展示を通じ、文化財に興味を持ってもらうきっかけを作った。また、体験教室を開催したことにより、児童に対して考古館事業を周知することができた。</p>							節の内訳		金額
							07 賃金		
11 需用費							884,891		
12 役務費							65,923		
13 委託料							321,747		
14 使用料及び賃借料							1,448,826		
							計 5,627,232		
							決算内訳	金額	
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他	3,340	
							一般財源	5,623,892	
							計	5,627,232	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	04	07	02	秋川キララホール運営管理経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	78,518,000					0	78,518,000	74,950,533	
26年度	291,117,000					1,917,000	293,034,000	267,045,383	
増減額	△ 212,599,000		0		0	△ 1,917,000	△ 214,516,000	△ 192,094,850	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
<p>秋川キララホールは、市民文化の向上を図ることを目的として設置された施設であり、指定管理者制度を導入して管理運営を行っている。民間のノウハウを活用し、住民サービスの更なる向上を進める。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 開館日数 308日</p> <p>2 ホール貸出件数 平日 199件 土日祝日 224件</p> <p>3 リハーサル室貸出件数 274件</p> <p>4 施設使用料合計 24,070,700円</p> <p>5 入場者数 75,007人</p> <p>指定管理者制度により、施設の管理運営を行い市民等の利用を促進すると共に、各種公演事業の開催や、ヨルイチミニコンサートをはじめとするアウトリーチも行い、市民の文化向上を図った。</p>							節の内訳		金額
							09 旅費	948	
11 需用費	5,867,748								
12 役務費	108,837								
13 委託料	68,930,000								
19 負担金補助及び交付金	43,000								
	計 74,950,533								
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金	27,200,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	47,750,533	
							計	74,950,533	
科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	04	08	01	あきる野ルピア運営管理経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	40,142,000					0	40,142,000	39,435,255	
26年度	114,099,000					151,000	114,250,000	113,340,701	
増減額	△ 73,957,000		0		0	△ 151,000	△ 74,108,000	△ 73,905,446	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
<p>市民の生涯にわたる学習活動を振興するとともに、市民相互の交流を深め、豊かな地域社会の形成と住民福祉に寄与するため、指定管理者制度を導入して施設の管理運営を行っている。</p> <p>また、あきる野ルピア管理組合負担金として、51.508%の負担をする。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>1 開館日数 360日</p> <p>2 貸出件数 合計 3,076件</p> <p>3 施設使用料合計 12,849,570円</p> <p>4 入場者数 64,472人</p> <p>指定管理者制度により、施設の管理運営を行い市民等の利用を促進すると共に、「第1回あきる野ルピアアンサンブルコンサート」や「第4回ルピアjukuフェスタ」等主催事業を開催し、幅広い年齢層の市民に向けた生涯学習講座を行い、市民の生涯にわたる学習活動の推進を図った。</p>							節の内訳		金額
							12 役務費	44,769	
13 委託料	9,454,822								
18 備品購入費	1,112,400								
19 負担金補助及び交付金	28,823,264								
	計 39,435,255								
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金	11,900,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	27,535,255	
							計	39,435,255	



(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	05	01	02	スポーツ推進委員関係経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	3,497,000						3,497,000	3,115,510	
26年度	3,497,000						3,497,000	3,375,874	
増減額	0		0		0	0	0	△ 260,364	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員を委嘱し、市民へのスポーツに関する指導及び助言を行う。							節の内訳		金額
・委員数 18人							01 報酬	2,793,000	
〔事業実績及び評価〕							08 報償費	50,000	
1 年間活動回数 47回(うち雨天中止 5回)							09 旅費	51,084	
2 活動内容 ヘルシーウォーキング、ベタンク、ターゲットバードゴルフ、すもう派遣指導、各種事業への運営及びボランティア協力など							11 需用費	145,476	
3 延べ参加者数 18,961人							12 役務費	31,450	
4 延べ委員出席数 417人							19 負担金補助及び交付金	44,500	
講習会の実施や派遣指導、また、スポーツ事業の運営及びボランティア協力など、スタッフや参加者を問わず指導及びアドバイスを行い、広くスポーツの振興を推進した。							計	3,115,510	
							決算内訳		金額
							国庫支出金		
							都支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源	3,115,510	
							計	3,115,510	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	05	01	03	社会体育振興経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	15,459,000						15,459,000	14,827,399	
26年度	15,340,000						15,340,000	14,865,185	
増減額	119,000		0		0	0	119,000	△ 37,786	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
市民が、スポーツの場を通じ練習成果を競い合い技術と体力向上となるよう市民スポーツ大会の実施と体育協会加盟団体への助成を行うことでスポーツ振興を行う。							節の内訳		金額
〔事業実績及び評価〕							08 報償費	1,769,468	
1 あきる野市民スポーツ・レクリエーション大会(参加者14,500人)							09 旅費	20,350	
2 子どもすもう大会(参加者469人)							11 需用費	161,417	
3 総合スポーツ祭(参加者6,000人)							12 役務費	519,710	
4 綱引き大会(参加者191人)							13 委託料	2,524,300	
5 少年少女ドッジボール大会(参加者994人)							14 使用料及び賃借料	240,000	
6 あきる野市体育協会							19 負担金補助及び交付金	9,592,154	
団体数 29団体、会員数5,432人							計	14,827,399	
7 スポーツ少年団							決算内訳		金額
団体数 13団体、会員数1,311人							国庫支出金		
市民が自由に参加できるスポーツ大会を実施することで、市民の運動機会の増加と体力の向上を図った。また、体育協会及びスポーツ少年団への助成を行うことで、技術力の向上やジュニア世代の育成を図った。							都支出金	1,318,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	13,509,399	
							計	14,827,399	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	05	01	08	多摩・島しょスポーツ振興事業経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	2,300,000						2,300,000	2,135,983	
26年度	2,000,000						2,000,000	2,000,000	
増減額	300,000		0		0	0	300,000	135,983	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
市民の運動能力、技術の向上や競技人口を拡大するため、著名指導者による実技指導を実施する。小中学生を対象として技術の向上及び競技の底辺拡大を行う。							節の内訳	金額	
							19 負担金補助及び交付金	2,135,983	
〔事業実績及び評価〕							計	2,135,983	
1 バドミントン教室(参加者 市内小中学生40人) 講師 米倉加奈子(シドニー、アテネオリンピック出場)							決算内訳	金額	
2 柔道教室(参加者 市内小中学生66人) 講師 高井洋平(世界柔道選手権大会無差別級銅メダリスト)							国庫支出金		
3 ラジオ体操講習会とロコモ予防教室(参加者 250人) 講師 桜田敬子、藤元直美(元NHKテレビ・ラジオ体操アシスタント)							都支出金		
著名指導者による小中学生を対象とした教室の開催で、技術力の向上及び競技人口の拡大を図った。また、運動能力の低下を防止する教室の実施により、市民の健康の維持増進を図った。							地方債		
							その他	2,135,983	
							一般財源		
							計	2,135,983	

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課		
	10	05	02	02	五日市ファインブラザ運営管理経費		生涯学習スポーツ課		
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	104,198,000						104,198,000	103,664,259	
26年度	109,536,000						109,536,000	105,653,488	
増減額	△ 5,338,000		0		0	0	△ 5,338,000	△ 1,989,229	
〔事業概要〕							平成27年度決算額		
体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進し、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。 利用者のニーズに対応した、よりきめ細やかなサービスを行うため、指定管理者制度により運営する。							節の内訳	金額	
							12 役務費	161,542	
〔事業実績及び評価〕							13 委託料	100,285,829	
1 開館日数 335日							14 使用料及び賃借料	185,328	
2 指定管理者自主事業(32教室) 開催数1,142回、参加者11,996人							15 工事請負費	3,031,560	
3 障がい児水泳教室(小学生の部、中学生の部) 開催数22回、参加者301人							計	103,664,259	
4 体育の日スポーツフェスティバル無料開放利用者数 757人 利用者のニーズにあった教室の開催により、多くの市民がスポーツに触れることのできる機会の増加を図った。また、市民ふれあい交流としてファインフェスティバルを実施するなど、広く市民にスポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進している。							決算内訳	金額	
							国庫支出金		
							都支出金	32,200,000	
							地方債		
							その他		
							一般財源	71,464,259	
							計	103,664,259	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課	
	10	05	02	03	市民プール運営管理経費			生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	65,398,000					0	65,398,000	65,288,160	
26年度	67,759,000					543,000	68,302,000	68,062,170	
増減額	△ 2,361,000		0		0	△ 543,000	△ 2,904,000	△ 2,774,010	
【事業概要】 体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進し、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。 利用者のニーズに対応した、よりきめ細やかなサービスを行うため、指定管理者制度により運営する。  【事業実績及び評価】 1 開館日数〔屋内〕335日、〔屋外〕45日 2 指定管理者自主事業(27教室) 開催数906回、参加者11,566人 3 障がい者水泳教室 開催数7回、参加者114人 4 体育の日スポーツフェスティバル無料開放利用者数 180人 利用者のニーズにあった教室の開催により、多くの市民がスポーツに触れることのできる機会の増加を図った。また、夏季期間は屋外プールに多くの市民が賑わうなど、子どもからお年寄りまでの幅広い年代に、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進している。	平成27年度決算額								
	節の内訳							金額	
	12 役務費								59,184
	13 委託料								58,947,696
	14 使用料及び賃借料								5,417,280
	15 工事請負費								864,000
							計	65,288,160	
決算内訳							金額		
国庫支出金									
都支出金							600,000		
地方債									
その他									
一般財源							64,688,160		
							計	65,288,160	

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課	
	10	05	02	06	秋川体育館・中央公民館運営管理経費			生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	52,724,000						52,724,000	51,966,373	
26年度	49,020,000						49,020,000	48,702,583	
増減額	3,704,000		0		0	0	3,704,000	3,263,790	
【事業概要】 体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進し、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。 利用者のニーズに対応した、よりきめ細やかなサービスを行うため、指定管理者制度により運営する。  【事業実績及び評価】 1 開館日数 337日 2 指定管理者自主事業(20教室) 開催数786回、参加者6,734人 3 体育の日スポーツフェスティバル無料開放利用者数 652人 利用者のニーズにあった教室の開催により、多くの市民がスポーツに触れることのできる機会の増加を図った。また、市が主催するイベントの開催が多くある中、進んで運営に協力するなど、広く市民にスポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進している。	平成27年度決算額								
	節の内訳							金額	
	12 役務費								44,659
	13 委託料								45,982,794
	15 工事請負費								5,938,920
								計	51,966,373
決算内訳							金額		
国庫支出金									
都支出金							4,700,000		
地方債									
その他									
一般財源							47,266,373		
							計	51,966,373	

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課	
	10	05	02	07	いきいきセンター運営管理経費			生涯学習スポーツ課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	31,155,000		0				31,155,000	27,830,335	
26年度	31,805,000		712,000				32,517,000	29,333,883	
増減額	△ 650,000		△ 712,000		0	0	△ 1,362,000	△ 1,503,548	
〔事業概要〕								平成27年度決算額	
体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進し、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。 なお、12月から翌年2月までの3か月間は運営を休止する。								節の内訳	金額
								07 賃金	1,119,930
〔事業実績及び評価〕								08 報償費	115,200
								11 需用費	10,293,406
1 開館日数 305日 2 小学生水泳教室 開催数 6回、参加者 98人 3 水中ウォーキング 開催数 2回、参加者 14人 4 エンジョイ教室(腰痛予防) 開催数 2回、参加者 33人 5 体育の日スポーツフェスティバル無料開放利用者数 138人 水着リフレッシュゾーン(プール、サウナ、トレーニング室、小浴場)は高齢者の利用が多く見られるが、水泳教室には多くの小学生が参加するなど、子どもからお年寄りまでの幅広い年代に、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を推進している。								12 役務費	102,612
								13 委託料	16,019,260
								14 使用料及び 賃借料	80,567
								18 備品購入費	99,360
								計	27,830,335
								決算内訳	金額
								国庫支出金	
								都支出金	
								地方債	
								その他	2,163,494
								一般財源	
								計	2,163,494

科目	款	項	目	事業	事業名			主管課	
	10	06	02	01	学校給食事業経費(秋川)			学校給食課	
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び 繰越事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計(予算現額)	支出済額	
27年度	314,656,000						314,656,000	310,135,410	
26年度	312,264,000						312,264,000	310,435,533	
増減額	2,392,000		0		0	0	2,392,000	△ 300,123	
〔事業概要〕								平成27年度決算額	
円滑かつ効果的な学校給食の調理・配送作業等を行い、児童・生徒に提供することを目的に、JA秋川及びファーマーズセンターと連携し、地元農家に対し給食用の野菜の作付けを依頼するなど、地場産物の利用を拡大し、旬の食材を利用した給食の献立及び作成を行う。								節の内訳	金額
								11 需用費	291,553,090
〔事業実績及び評価〕								12 役務費	2,000
								13 委託料	18,580,320
								計	310,135,410
								決算内訳	金額
								国庫支出金	
								都支出金	
								地方債	
								その他	253,099,254
								一般財源	57,036,156
								計	310,135,410

(単位：円)

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課			
	10	06	02	02	学校給食事業経費(五日市)		学校給食課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	103,411,000						103,411,000	101,499,954		
26年度	106,654,000						106,654,000	105,739,082		
増減額	△ 3,243,000		0		0	0	△ 3,243,000	△ 4,239,128		
〔事業概要〕							平成27年度決算額			
<p>円滑かつ効果的な学校給食の調理・配送作業等を行い、児童・生徒に提供することを目的に、JA秋川及びファーマーズセンターと連携し、地元農家に対し給食用の野菜の作付けを依頼するなど、地場産物の利用を拡大し、旬の食材を利用した給食の献立及び作成を行う。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>五日市ファーマーズセンターと学校給食用賄材料購入単価契約や、地場農産物利用調整会議を開催し、野菜類納入規格の基準を作成した。これにより、のらぼう菜、玉ねぎ、じゃがいも、とうもろこし、かぼちゃ、キャベツ、さつまいも、ほうれん草、白菜、大根、キュウリ、ニラ、ピーマン、なす、セロリー、ゆず、ズッキーニ、トマト、とうがん、カリフラワー、小松菜及びブロッコリーの計22品目、3,760kgを購入し、地場農産物を使用した給食を提供した。</p> <p>野菜類納入規格の基準を作成することにより、調理しやすい規格、形状、品質が統一され、前年度と比較して、地場農産物6品目、27kgの増加が図られた。</p>							節の内訳		金額	
							11 需用費	90,960,747		
							13 委託料	10,539,207		
							計	101,499,954		
							決算内訳		金額	
							国庫支出金			
							都支出金			
							地方債			
その他	83,020,402									
一般財源	18,479,552									
計	101,499,954									

科目	款	項	目	事業	事業名		主管課			
	11	02	01	50	雨間鳥居場地区農地防災事業経費		農林課			
区分	当初予算額		補正予算額		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計(予算現額)	支出済額		
27年度	6,000,000						6,000,000	5,940,000		
26年度	0						0	0		
増減額	6,000,000		0		0	0	6,000,000	5,940,000		
〔事業概要〕							平成27年度決算額			
<p>経年劣化により崩落の恐れのある雨間鳥居場地区の法面の崩落防止事業を実施する。平成27年度は、土質調査やコンクリート部の耐久診断等を行い、事業化に向けた対策の比較検討及び工法の決定、施行計画、工事設計、事業の効用等について、実情に即した実施計画を策定する。</p> <p>〔事業実績及び評価〕</p> <p>平成27年度については、計画どおり、土質調査やコンクリート部の耐久診断等を行い、事業化に向けた対策の比較検討及び工法の決定、施行計画、工事設計、事業の効用等を実施した。</p> <p>設計委託 東京都土地改良事業団体連合会 5,940,000円</p>							節の内訳		金額	
							13 委託料	5,940,000		
							計	5,940,000		
国庫支出金	5,940,000									
都支出金										
地方債										
その他										
一般財源										
計	5,940,000									